

UNIVERSITY OF
F U K U I

U

F

Viewbook
2018

創造力、実践力。

未来を生き抜く「真

Contents

大学を超えた「つながり」が未来への可能性を広げる	4	工学部	40
学長メッセージ	8	ポリシー	41
3つのポリシー	9	工学部の学び	42
国際地域学部	10	機械・システム工学科	44
ポリシー	11	電気電子情報工学科	45
学びの特色	12	建築・都市環境工学科	46
カリキュラム	15	物質・生命化学科	47
ライフスタイル／取得可能な資格	16	応用物理学科	48
教員&在学生メッセージ	17	Laboratoryピックアップ研究室	49
教育学部	18	ライフスタイル	54
ポリシー	19	卒業生メッセージ	55
初等教育コース	20	附属国際原子力工学研究所 (敦賀キャンパス)	56
中等教育コース	21	Campus Life	58
学びの特色	22	文京キャンパス	60
教員&卒業生メッセージ	23	松岡キャンパス	64
ライフスタイル／附属学園	24	部&サークル活動	68
大学院／取得可能な教員免許状・資格	25	就職サポート	72
医学部	26	国際交流・留学	76
ポリシー	27	語学センター	80
医学科 学科のポイント	28	入試情報	82
医学科 カリキュラム	29	学費・生活費・住まい・奨学金制度	84
医学科 学びの特色／ライフスタイル	30	福井の魅力をご案内	86
医学科 教員&卒業生メッセージ	31	アクセス	87
看護学科 学科のポイント	32		
看護学科 カリキュラム	33		
看護学科 学びの特色／ライフスタイル	34		
看護学科 教員&卒業生メッセージ	35		
大学院医学系研究科	36		
附属病院	37		

の力」を身につける



※無人航空機（ドローン）で撮影（文京キャンパス）

大学を超えた「つながり」が未来への可能性を広げる

地域に根ざしながら、世界を舞台に輝く人材の育成を目指す福井大学
学部や大学の枠を超えた様々な連携や結びつきが拡大し
新たな教育、研究の開拓や社会貢献も進んでいます



医学、教育、工学、それぞれの立場から子どものこころの問題に迫る

子どものこころの発達研究センターでは、「こころ」に問題を抱える子どもが急増している原因の科学的究明と専門家の育成を目指し、イメージング技術を駆使した脳機能の解明などに取り組み、附属病院「子どものこころ診療部」では、診断・治療を通して、子どものこころの問題への対処法の開発や、子の養育者に目を向けた活動を推進しています。

連携

福井大学の教育、研究、社会貢献のあり方として、「連携」は大きなキーワードです。専門性の高い4つの学部間、地域の大学や自治体、さらには海外との連携まで、福井大学が結ぶフィールドはますます拡大しています。



学内外の教員や医療関係者らが参加した公開シンポジウム



原子力災害発生時にどう動くべきか 図上シミュレーションで訓練を重ねる

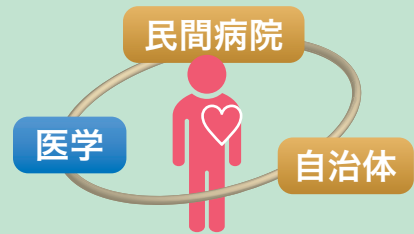
附属国際原子力工学研究所と医学部看護学科が協働し、原子力防災における学校や病院の対応に関する図上訓練などを進めています。2016年8月には異分野横断セミナー及び原子力防災関連報告会を開催し、原子力災害に備えた図上シミュレーションと、敦賀市内で実施している原子力防災研修について報告、今後の活動について活発な意見交換が行われました。



原子力災害に備えた図上シミュレーション



公開説明会でタブレット端末を使って新聞、テレビの記者に概要を説明



現場から病院へ患者さんのデータをリアルタイムで送信するシステムを開発

医学部附属病院では、救命率の向上を目的に心電図のデータと救急患者の画像を現場から病院にリアルタイムで送信できる「クラウド型救急医療連携システム」を構築。当初は救急車に装置を搭載していましたが、さらに小規模な自治体でも運用できる「タブレット携帯型12誘導心電図伝送端末」を開発、今後は災害時の利用や在宅医療、広域連携など様々な応用が期待されています。

福井県内5大学が連携した共同授業で「地方創生」を学び地域に貢献できる人材を育てる

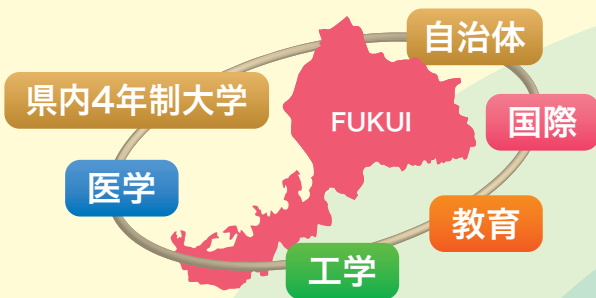
「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は、県内の4年制5大学(福井大学、福井県立大学、福井工業大学、仁愛大学、敦賀市立看護大学)が参加。福井県及び企業、商工会議所等と連携し、地域を志向する学生の育成、イノベーション創出人材・グローバル人材の育成、産業振興、「ふくい地域創生士」の認定制度等のプロジェクトに取り組んでいます。



現役の商社マンを講師に生きた経営学を学ぶ



福井駅東口にあるAOSSAのFスクエアで5大学の講義を開講しています



福井の教育、アフリカへ教職大学院の国際貢献

国際協力機構(JICA)と福井大学教職大学院の協働により、日本独自の「授業研究」のあり方を学ぶ研修を実施。教職大学院が長年取り組んできた「ラウンドテーブル」の手法を活用し、日本を含めた5カ国の教育現場の現状について情報交換しながら、教員の指導力向上、授業改善のためにできることを考え、アフリカ圏の教育の質向上を支援しています。

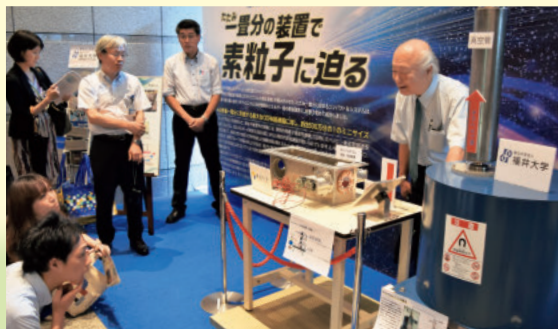


エチオピア、ナイジェリア、マラウイ、ウガンダから7名の教育行政官が参加

東京大学 × 福井大学

世界初の素粒子観測に成功 国立大学間の共同研究

素粒子物理学の実験には、欧州合同原子核研究機関（CERN）のような大型加速器を用いることが通例ですが、本学遠赤外領域開発研究センターと東京大学のコラボレーションにより「たたみ一畳分」の装置を開発しました。本装置によって、自然界で最も軽い原子「ポジトロニウム」の状態間のエネルギー差の直接測定に初めて成功し、世界的な成果につながりました。



文部科学省のエントランスで行われた企画展示

パナソニック × 福井大学

パナソニック医工学共同研究部門を設置 産学官共同研究を実践

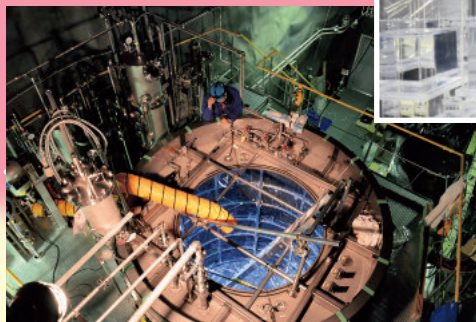
本学高エネルギー医学研究センターでは、複数の医療画像データを一元管理するマルチモダリティ・イメージングの臨床応用研究と、パナソニック社の高度な画像処理技術及び基礎工学研究の共同により、世界最先端医療技術・画像工学技術の開発と先進医療への応用を目指しています。医工連携により研究領域の拡充を図り、医師の生涯教育を視野に入れた医学教育コンテンツ・ライブラリーの形成や実践的医療工学研究を推進します。



研究のため増設した高エネルギー医学研究センター棟

共同研究

他大学や企業・自治体等との共同で最先端の研究や地域の課題解決に取り組み、成果を挙げています。



実験装置「CANDLES」の内部



実験装置「CANDLES」の心臓部

大阪大学など × 福井大学

ノーベル物理学賞の研究を支える スーパーカミオカンデ坑道内の 共同実験装置

宇宙誕生直後から自由に飛び回る素粒子「ニュートリノ」の観測に本学も参画しています。ノーベル物理学賞を2度受賞した研究を支える「スーパーカミオカンデ」と同じ坑道内に大阪大学と本学大学院工学研究科などが共同で運営する実験装置「CANDLES（キャンドルズ）」があり、カルシウム48原子核の「二重ベータ崩壊」という現象の測定を行っています。

地域 × 福井大学

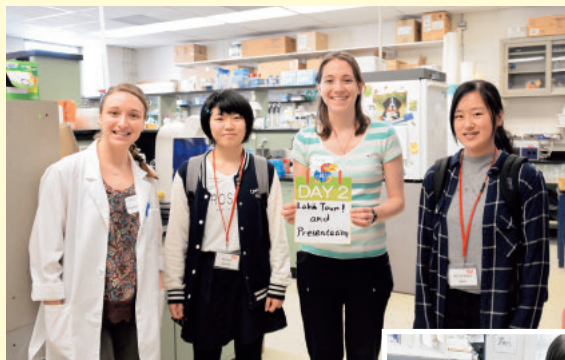
永平寺町の子どもたちに英語の魅力伝える 地域課題探求プロジェクト

本学と永平寺町は包括連携協定を結んでおり、地方創生加速化交付金を活用して、永平寺町における「特色ある教育」を実現する共同調査研究を行っています。平成28年度は国際地域学部が永平寺町内の施設や学校等を訪れ、海外語学研修（アメリカ）に参加する中学生への事前研修としての語学講座、夏休みを利用した小中学生向けの英語特別講座、幼稚園児に対する英語を活用したアクティビティを行いました。

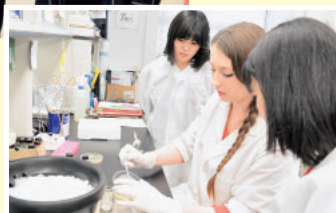


永平寺町立志比小学校で行われた小学生への特別講座

理数分野の将来を担う高校生を育成する Fukui Medical High Schoolの開講



米国カンザス大学の研究室で実験したり、これまでの研究成果を英語でプレゼンしました



院生のレクチャーを受けながら実験を進めました

生命医学をはじめとする理数分野の将来を担う研究者及び医学者などを目指す高校生を「フューチャーグローバルサイエンティスト」として育成することを目的に、“Fukui Medical High School (FMHS)”を開講しています。グローバル視点に基づき実践し、高校生のリーダーとしてのロールモデル創成の場とします。医学部の講義や実習で科学的好奇心に刺激を受け、高度な研究活動を目の当たりに。平成29年3月にはアメリカのカンザス大学を訪れました。本事業は国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) の「グローバルサイエンスキャンパス」に採択されています。

高校生に世界の魅力を伝える 語学センター主催イベント

語学センターでは、県内の高校生を対象に、グローバルな世界を体験してもらうイベントを開いています。留学生と留学経験のある大学生のプレゼンテーション、日本と外国の違いについて話し合うディスカッション、英語を使ったゲームなどプログラムは多数で、参加者からは、「他校の高校生や大学生、留学生と話をすることで視野が広がった」「海外に興味を持つきっかけになった」などの声が聞かれました。



学生によるプレゼンテーション



グループに分かれて自己紹介

高大接続

高校と大学が教育の目的や内容方法について互いに理解を深め教育の連携を推進する「高大接続」にいち早く取り組んでいます。



医師の指導を受けながら縫合に挑戦

医師を目指す高校生対象の 外科手術体験セミナー

医師を目指す高校1年生を対象に、最新の医療機器を使った外科手術などを模擬体験し、外科医の仕事を理解するセミナーを平成19年から開催しています。平成28年度は超音波メスの使用、手術用の糸を用いた縫合、内視鏡外科手術トレーニングを約50名の高校1年生が体験しました。



内視鏡外科手術トレーニング

地域を支え 世界で輝く人に

世界は今、第4次産業革命のまっただ中にあり、人工知能、IoT、ロボット、ビッグデータ等の革新的技術開発やその活用が進んでいます。同時に、グローバル化が進み、どの国も自国だけで成り立っていくことは出来ません。このような時代にあって、福井大学は、教育学部、医学部、工学部、国際地域学部の全ての学部及び大学院で、学生一人ひとりの力を最大限に延ばすためのきめ細やかな教育を実施し、社会で活躍できる力を身につけた、優れた専門人材を育成しています。その成果の表れとして、福井大学卒業生の就職率は複数学部を有する国立大学の中で9年連続1位となりました。

福井大学には、英語を母国語とする英語教育スペシャリストらによる英語力向上のプログラムや、留学生との交流の場である国際ラウンジ、外国語の自立的学習のための設備や教材を使って好きな時間に自由に学べる「言語開発センター」などの充実した学びの場があります。これらにより英語力を高めた学生が、留学プログラムや制度を利用して年間250名程度、海外での研修に参加しています。皆さんもこれらを十分に活用して語学力を高めると共に、異文化理解を深め、世界と共生できる人になってください。

世界が、これからも調和の取れた発展を続けていくには、社会が抱える課題を解決できるイノベーションの創出が必要です。なかでも、天然資源に乏しい我が国にあっては、人こそが未来を開く唯一の資源です。社会は、優れた才能の持ち主である皆さんが大学でその能力をさらに高め、イノベーションの創出に貢献することを期待しています。

また、福井大学での学びのフィールドは学内にとどまらず、学部や大学の枠を越えた新たな教育、研究活動も増えています。福井駅前のサテライトキャンパス「大学連携センター（Fスクエア）」では、本学が責任大学となり県内の4年制大学が連携し実施する共同開講科目を通じて、「地域創生」を学べます。地域の風土や文化、産業などの様々な課題に対し、フィールドワークやインターンシップを通して、座学だけでは得られない課題解決能力を身につけた地域に貢献できる人材を育成しています。

福井大学は“真の力をつけられる大学”です。みなさんがこの大学で内面を磨き、世界と共生するためのコミュニケーション力を高めて、社会に貢献できる人材に成長できるよう、教職員一同全力で支援します。

学長 眞弓 光文

MAYUMI, Mitsufumi



3つのポリシー

入学者受入の方針

Admission Policy

福井大学は、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的な水準の教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成を理念・目標に掲げています。この理念・目標を達成するため、本学では以下の能力を有する人を入学生として受け入れます。

求める学生像

- ① 高度専門職業人として地域社会や国際社会に貢献する強い意欲を有する人
- ② 高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において、専門分野の基礎となる知識・技能を修得している人
- ③ 正確な文章読解、論理的な記述、適切な表現などの基本的な言語運用能力を有する人
- ④ 豊かな人間性、周囲との協調性、奉仕の精神を有する人

入学者選抜の基本方針

各学部においては、個々の特性およびアドミッション・ポリシーに応じて以上の観点を適切に選択し、かつ組み合わせられた入学者選抜を実施します。そして、各学部が求める能力・適性等を、多様な選抜方法・区分によって、公平かつ多面的・総合的に評価します。

教育課程の編成・実施の方針

Curriculum Policy

福井大学は、学位授与の方針で示す能力を確実に修得させるため、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

① 体系的な教育課程

国際通用性のある教育課程を編成し、学位の質を確保します。職業人の素養となる芯の通った学びと学生の関心に基づく多様性のある学びを両立するため、学内外の教育資源を有効に活用した必修科目・選択必修科目・選択科目を配置します。また、成長の道筋を明瞭にするため、意図の明確な科目区分を構成します。

② 効果的な教育方法

それぞれの知識や技能の修得に適した授業形態を採用するとともに、他者と協働しながら主体的に課題解決に取り組む学習活動をバランスよく実施します。事前・事後学習を支援し、学修時間の確保にともなう単位の実質化に取り組みます。

③ 厳格な学修評価

明確な到達目標と透明性のある評価方法に基づき、各科目の成績評価を行います。カリキュラム全体を通じた達成度の評価についても、予め定められた基準を用いて多面的かつ厳格な評価を行います。

④ 改善のための教育評価

本学で実施する教育をより良いものとしていくため、教育の内容・方法・成果に対する組織的な評価と検証を行い、継続的な改善に努めます。

学位授与の方針

Diploma Policy

福井大学は、所定の年限在籍し、各学部の体系的な教育課程により学業を修め、地域、国及び国際社会に貢献し得る高度専門職業人として備えるべき以下の能力を修得した者に対し、学士の学位を授与します。

- ① 確かな専門能力に裏打ちされた実践力
- ② 実践的な言語運用能力を備えたコミュニケーション力
- ③ 地域から世界までを視野に入れて自ら行動できる人間力

国際地域学部

School of
Global and Community Studies

未来への道は、ここからはじまる

少子高齢化やコミュニティの危機等の進行は、地域の中で深刻な課題となっています。また、経済のグローバル化は地域にも浸透し、企業のグローバルな展開が進むとともに、地方経済の活性化は急務の課題となっています。今日のグローバル化された社会の抱える課題の多くは、地域・国内・国際という異なるレベルに共通するものであり、それぞれにおいて相互に関わりながら分かちがたく展開しているという性格を持っています。本学部では、地域の抱える諸課題を、構造的・重層的に捉え、地域が最も必要とする課題の解決とそれを担う人材育成を、国際水準の教育で実現します。



入学者受入の方針

Admission Policy

教育目標

地域や国際社会の抱える複雑な課題を探究し、課題解決をしていくための実践的・総合的な能力を身につけ、地域の創生を担いグローバル化した社会の発展に寄与する人材を育成。

求める学生像

- ① グローバル化によって地域から国際社会にまで起こっている複雑な諸問題について関心をもち、それについての探究を深め課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲のある者。
- ② 課題の探究と解決に向けて、必要な専門的な分野の学習を学ぶ意欲を持つとともに、問題解決の方法や他の人と協働で実践的に取り組んでいくことに積極性のある者。
- ③ 世界共通語的性格をもつ英語はもちろん、多文化的なグローバル社会の中で活躍できるコミュニケーション能力を身につけることに意欲を持ち、他の人との対話を通して、活動を広げ深めようとする者。

教育課程の編成・実施の方針

Curriculum Policy

- ① 現代の地域社会や国際社会の抱えている諸課題を理解、分析するために政治学・経済学・経営学・社会学、歴史学、宗教、哲学、文化研究をはじめとする人文社会科学分野に関わる幅広い学識と自然科学分野の基礎的知識を身につける。
- ② 地域や社会の抱える現実の課題について、専門的な学習と併せ、地域や企業等との参加・協働を通して、探究と解決に取り組むことのできる能力を身につける。また、そのために必要な、分析ツールとしての統計、データ処理、調査法等で求められる能力を身につける。
- ③ グローバル化が進行する社会・地域の中で、広く世界を知り、多文化の中で主体的に生きていけるために必要な多文化共生を支える異文化理解力とコミュニケーション能力を身につける。

学位授与の方針

Diploma Policy

- ① 幅広い教養と専門的な知識・能力を有している。
- ② 地域や国際社会の抱える課題と発展可能性を探り、リサーチすることができ、その問題の解決と可能性の実現を通して、グローバル社会の発展と地域創生に貢献することができる。
- ③ グローバル化する社会において求められる国際的な視野や批判的思考力を身につけ、英語を中心とする外国語能力も含めた多文化共生を支える異文化理解力とコミュニケーション能力をもち、行政・企業・地域等に対応し、活躍することができる。

学びの特色

① グローバルに考える力を身につける

世界と地域を繋ぐ徹底した英語教育と 海外留学を通じた異文化理解教育



「英語IV」の授業。海外のゲームを用い英語でコミュニケーションを図る

◆ 徹底した英語教育

グローバル社会で活躍できる人材を育成するために、海外留学を含めた多様な経験の機会を提供します。留学先で通常の科目を英語で学べる能力獲得を目指し、1年次の学生は全員、集中的に英語を学習します。特に最初の半年、ICTを活用した言語開発センターでの学習を含め徹底的に英語を学び、まずは留学資格TOEFL (ITP) 530以上、目標550以上を目指します。



実践力をつける英語授業風景



語学学習に役立つDVD等を視聴できるDVDステーション

◆ 海外留学

海外留学を通して世界を知り、異文化の中で実際に生活することで、異なったものの見方、価値観、社会の在り方等について理解を深めます。海外留学は、学生に“global thinker”（グローバルに考える人）となる契機を与え、同時に、世界に対する幅広い理解と、自己に対する理解を深めます。

Voice

1年次の英語教育でレベルアップを実感 ケリー・キング 准教授

入学後は、まず、Reading、Writing、Speaking、Listening、Self-Directed Learning (SDL) の授業で英語の基礎力を高めます。SDLは課題を決めてグループで自主学習をする科目です。海外ではディスカッションの機会が多いので、10月からはグループディスカッションの授業もスタートし、留学に備えます。外国語の習得は時間がかかるものです。苦労や戸惑いもありますが、徐々に自分のやり方を見つけられると思います。1年間でTOEFL (ITP)の平均スコアが30点以上上昇。授業でも学生の英語力が上がっていることを実感しています。



② 地域の課題と向き合う4年間

地域の企業・自治体等と連携した 地域密着型の課題探求プロジェクト



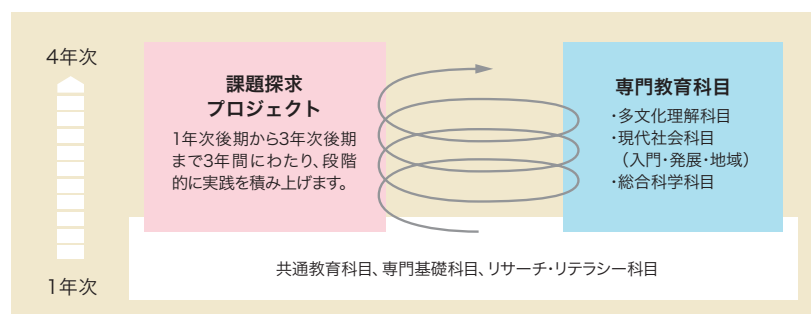
「課題探求プロジェクト基礎A」の最終報告会

「課題探求プロジェクト」は、企業や自治体等に出向いて様々な課題を知り、調査し、課題解決の一端を担う実践的な科目群です。実践的な学びと、課題を理解し分析する幅広い専門分野の学習を有機的に結び付ける形でカリキュラムを構成しています。プロジェクトは、越前漆器や和紙等の「伝統工芸産業の課題」「福井の企業の海外事業展開」などのテーマから決定し、学年

進行に伴い到達目標を高度化させ、最終的には専門的な学問分野に即して調査・研究し、卒業研究につなげます。こうした「課題探求プロジェクト」を中核に据えたカリキュラムを通じて、それぞれのテーマに内在する問題の探究とその解決、意思決定や批判的な思考を育むとともに、リアルな現場としての社会を理解し、自分の進路への意識とそれに適応する能力を身につけます。

◆ 課題探求プロジェクトと専門教育科目の結びつき

実践的なプロジェクト学習を継続的に深めながら、それと関わる専門教育科目の知識と方法を、らせん的なサイクルで習得します。



■ 課題探求プロジェクトの参加企業等

【製造業】

セーレン株式会社
前田工織株式会社
フクビ化学工業株式会社
日華化学株式会社 など

【報道機関】

福井テレビジョン放送株式会社
福井放送株式会社
株式会社福井新聞社

【卸・小売業】

福井キャノン事務機株式会社
三谷商事株式会社
福井県民生活協同組合 など

【金融・保険業】

株式会社福井銀行
【電気・ガス・水道業】
北陸電力株式会社 福井支店

【運輸業】

京福バス株式会社
えちぜん鉄道株式会社

【サービス業】

芦原温泉旅館協同組合加盟旅館
近畿日本ツーリスト株式会社 福井支店 など

【その他】

福井商工会議所
福井県経営者協会 など

2017年3月10日現在

【自治体】

福井県
福井市
勝山市
鯖江市
越前市
永平寺町 など

学びの特色

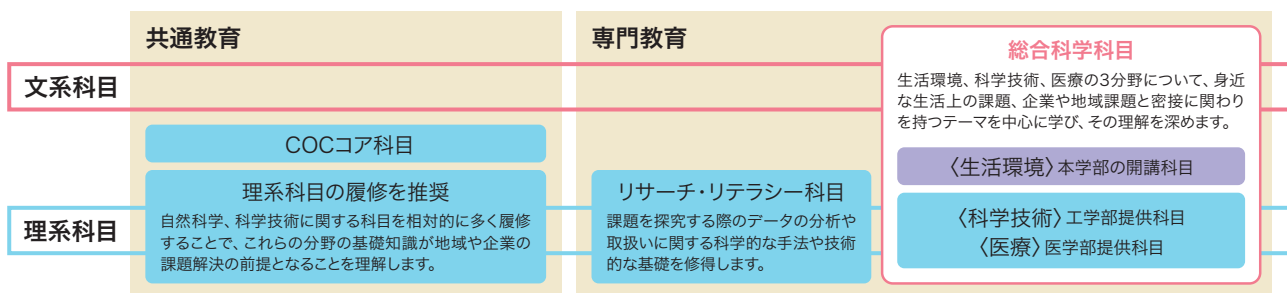
③ 文系・理系を超えた多様な学び

医学部・工学部との連携による幅広い学識を培う文理融合型教育

共通教育では、数学や自然科学、科学技術に関する科目を履修することで、これらの分野の知識が、地域や企業の課題解決の前提となることを理解します。

課題を探究する際のデータの分析や取り扱いに関する科学的な手法や技術的な基礎を「リサーチ・リテラシー科目」として受講します。

医学部・工学部との連携により、地域の複合的な諸課題や、課題探求プロジェクト、専門科目等と関連性をもつ自然科学系の専門科目を「総合科学科目」として受講します。

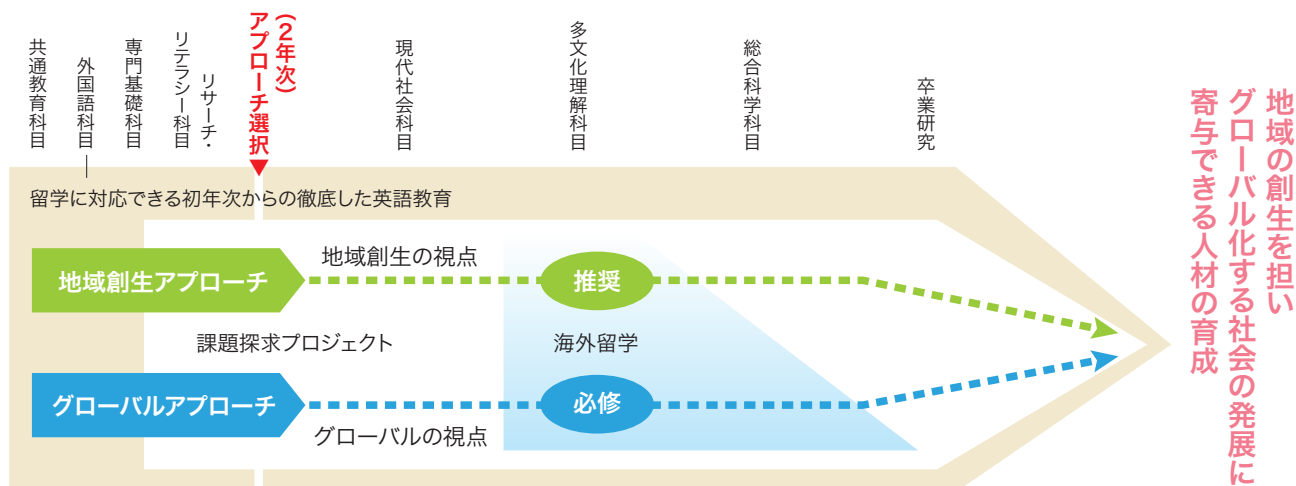


注)「COCコア科目」とは、地域の課題を体系的に学習する科目を言います。(COC=Center of Community)

◆ 2つのアプローチ

学習のプロセスにおいては、履修内容を固定化せず、共通の基本と柔軟な選択履修という仕組みを設けることによって、学生の主体的な学びと国際水準での教育を実現します。主にグローバルな視点から入る学び方(グローバルアプローチ)と主に地域創生の視点から入る学び方(地域創生アプローチ)の2つのアプローチを用意し、学生の興味に応じた柔軟な対応を行います。2つのアプローチの特徴は、海外留学につ

いて、グローバルアプローチは1学期間又は2学期間の海外留学を必修とし、地域創生アプローチでは1学期間の海外留学を推奨します。課題探求プロジェクトについて、中長期の海外留学を伴うグローバルアプローチでは留学期間に応じて弾力的に取り扱います。専門科目についても、アプローチに応じて履修の幅を持たせ、主体的な学びを可能にします。



カリキュラム

Q=クォーター、【 】内は開講科目数

区分	1年次				2年次				3年次				4年次			
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
専門教育科目	卒業研究 【2科目】															
	課題探求プロジェクト 【7科目】															
	多文化理解科目 【39科目】															
	現代社会科目 【41科目】															
	総合科学科目 【20科目】															
	リサーチ・リテラシー科目 【11科目】															
	専門基礎科目【1科目】				日本理解科目 【5科目】											
外国語科目 【21科目】																
共通教育科目	共通教育科目 入門科目、基礎教育科目、共通教養科目 【168科目】												【合計 315科目】			

※国際地域学部で開講される科目には、第1から第4クォーター（1クォーターは8週）からなる「クォーター制（4学期制）」と、前期と後期からなる「セメスター制（2学期制）」で開講されるものがあります。

履修モデル

地域創生アプローチ

4年次	課題探求プロジェクト科目	まちづくり論 (2)	日本海地域の自然と環境 (2)	資源エネルギー概論 (2)	卒業セミナー (1)	卒業研究 (6)										
3年次	課題探求プロジェクトIII B (2)	エネルギーと環境 (2)	日本の学校教育 (2)	ものづくり基礎工学 (2)	地域情報システム (2)	福井地域の歴史 (2)	地域文化マネジメント (2)	国際コミュニケーション論 (2)	(例) 10単位を認定※							
2年次	課題探求プロジェクトII (2)	東洋史B (2)	中国語IV (1) 中国語III (1)	地域データ分析 (2)	社会調査論 (2)	地域計画論 (2)	地方自治法 (2)	産業地理学 (2)	経済政策論 (2)	国際政策 (2)	留学セミナー (1)					
1年次	課題探求プロジェクトI (2)	東洋史A (2)	コミュニティと住民組織 (2)	中国語II (1) 中国語I (1)	データサイエンスI (2)	コミュニケーションのための日本語教育論 (2)	経済理論 (マクロ) (2)	経営学概論 (2)	民法 (総則) (2)	行政法I (総論) (2)	比較文化論 (2)					
1年次	課題探求プロジェクト基礎B (2) 課題探求プロジェクト基礎A (2)	国際地域概論 (2)	English Reading IV (1) English Reading III (1)	English Writing IV (1) English Writing III (1)	統計入門 (2)	法学概論 (2)	政治学概論 (2)	経済理論 (ミクロ) (2)	弁論法 (2)	異文化コミュニケーション (2)						
1年次		大学教育入門セミナー (2)	情報処理基礎 (2)	英語V (1), VI (1) 英語I (1), II (1)	英語VII (1), VIII (1) 英語III (1), IV (1)	TOEFL 対策講座 (1)	リサーチ入門 (J) (2)	スピーキングI (2)	ジェンダー論 (2)							

グローバルアプローチ

4年次	課題探求プロジェクト科目	フロントランナー (2)	文学にみられる女性 (2)	卒業研究 (6)												
3年次	課題探求プロジェクトIII C (2)	コミュニティと住民組織 (2)	まちづくり論 (2)	科学技術と環境 (2)	卒業セミナー (1)	(例) 20単位を認定※										
2年次	課題探求プロジェクトII (2)	経済学C (2)	アメリカの文化 (2)	ヨーロッパの映画 (2)	ドイツ語IV (1) ドイツ語III (1)	Academic English Writing II (1) Academic English Writing I (1)	日本の近代文学 (2)	知的財産の基礎知識 (2)	経済政策論 (2)	留学セミナー (1)	教育における社会正義の問題 (2)					
1年次	課題探求プロジェクトI (2)	ドイツ語II (1) ドイツ語I (1)	英文文II (1) 英文文I (1)	Academic English Reading II (1) Academic English Reading I (1)	日本史概説 (2)	コミュニケーションのための日本語教育論 (2)	経営学概論 (2)	民法 (総則) (2)	国際政治学 (2)	比較文化論 (2)	言語学入門 (2)					
1年次	課題探求プロジェクト基礎B (2) 課題探求プロジェクト基礎A (2)	国際地域概論 (2)	English Reading IV (1) English Reading III (1)	English Writing IV (1) English Writing III (1)	統計入門 (2)	情報技術基礎 (2)	政治学概論 (2)	経済理論 (ミクロ) (2)	弁論法 (2)	異文化コミュニケーション (2)						
1年次		大学教育入門セミナー (2)	情報処理基礎 (2)	英語V (1), VI (1) 英語I (1), II (1)	英語VII (1), VIII (1) 英語III (1), IV (1)	TOEFL 対策講座 (1)	リサーチ入門 (E) (2)	ライティングI (2)	現代社会とビジネス (2)							

※留学先の大学で履修した科目のうち、本学の既存の科目と内容、教育目標等が合致する科目について、最大36単位まで単位認定。

ライフスタイル 国際地域学部編



久末 麻梨乃さん
国際地域学部1年次
福井県立金津高等学校出身

時間割 (1年次後期)

	月	火	水	木	金
1限		統計入門			国際地域概論
2限	弁論法			English Reading III / IV	情報技術基礎
3限	政治学概論	English Writing III / IV		課題探求プロジェクト基礎A / 基礎B	English Writing III / IV
4限	異文化コミュニケーション	English Reading III / IV			
5限					

11:00



情報技術基礎の授業。プログラミングの基礎を学びます

野菜もたっぷり美味しい!

12:30



ランチは友だちと国際地域学部の自習室で。今日は売店で買ったお弁当です

13:00



Writingの授業では、いろいろなエッセイを書きます

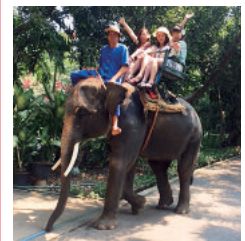
今日はこれを観ようかな

16:30



空き時間には図書館やLDCへ。LDCにはいろいろな映画のDVDが揃っています

タイで行われた海外研修に参加しました



バドミントンサークルに入っています。運動不足解消にぴったり!

スケジュール帳は必需品! エッセイを書く日はPCも入っています



日常的に外国語学習に触れられる「語学センター」(詳細はP80、81参照)

学生が日常的に利用できる魅力的な施設が揃っています。図書館にある言語開発センター (Language Development Center : LDC) では、e-learningシステム等、充実した教材や設備が整っており、自主学習の場として積極的に活用されています。また、グローバル・ハブを拠点として、世界につながる各種の取り組みを行っています。

言語開発センター (LDC)

外国語を個人やグループで自立的に学習するための演習室やDVDステーション等の設備、教材が揃っています。国際地域学部では授業にも利用しています。



グローバル・ハブ

海外留学経験者・外国人留学生の学生スタッフが、海外留学や英語学習の疑問、質問にお答えします。また、日本人学生と外国人留学生の交流や、海外留学に関する情報提供などを目的に、各種のイベントを実施しています。



国際地域学部で取得可能な資格など

取得可能な資格

- 社会調査士

想定される卒業後の進路

- 国、地方自治体、関連諸団体
- グローバルに展開する企業
- 商業・金融・観光・サービス業・マスコミ等の企業
- 観光業
- 国際交流団体、国際機関
- シンクタンク
- 大学院進学 など

教員 & 在学生メッセージ

教員メッセージ

グローバル化の中で、地域の諸課題に立ち向かう実践的な人材を育てる



木村 亮 教授

グローバル化の急速な進展は、世界各国で地域の産業や住民の生活環境、慣習に大きな変動をもたらしています。国際地域学部はそうした中で生じるさまざまな課題に立ち向かう力を持った実践的な人材を育てる学部です。国際と地域を別々に捉えるのではなく、共通の課題として一体と考えていくのが大きな特徴です。学生の皆さんは、社会科学系の分野、多様な文化や価値観に関する分野、さらに科学技術という具合に、幅広い学問分野の理解を深めながら、海外留学や地域の企業・自治体等の現場での実践を積み重ねます。授業では、課題探求型学修「PBL (Project-Based Learning)」を積極的に取り入れ、多様なアプローチから考えることで、理論を実践に結びます。本学部での学びにより、目の前の課題への取り組みや新たな着想の発見のために必要な知識や獲得すべき経験は何なのかを自分の頭で考え、それをもとに行動できる人間として成長するはずですよ。

在学生メッセージ

英語学習を通して自分の成長が実感できる

代田 絢也さん 国際地域学部1年次
福井県立武生東高等学校出身

1年次から英語の授業がほとんどで、説明なども英語で行われることに圧倒されました。外国人の先生も多く戸惑いましたが、気軽に相談にも乗ってくれますし、今は身近な存在になりました。最初は聞き取れなかったことも徐々に理解できるようになり、自分でも成長したと感じています。1年次の授業ではゲームや映画などを通して、Reading、Writing、Speaking、Listeningを学ぶSelf-Directed Learning (SDL) が楽しかったです。課題探求プロジェクトでは、第3Qには県内の企業を訪問した後、グループ発表を行いました。第4Qは、英語で絵本の読みきかせをする「Storytelling」という活動に取り組んでいます。将来は福井県の魅力を世界に発信できる仕事に就きたいと思っています。



教育学部

School of
Education

学校教育の多様な課題に対し 専門性をもって取り組むことのできる 人材を育成する

教育学部には、小学校、特別支援学校、幼稚園などの教員を養成する「初等教育コース」と、中学校、高等学校などの教員を養成する「中等教育コース」の2つのコースがあります。初等教育コースでは、教科の専門性を横断的、系統的に身につけ、幼児・児童の成長や学習に対する専門的理解を深め、地域と連携できる能力を備えた小学校教員、特別支援学校教員の養成を行います。また、中等教育コースでは、青年期の特徴を理解し、生徒の知的好奇心や自己実現に応えるための高い専門知識を持ち、主体的で協働的な学習を構想し実践することのできる教科指導力を身につけた中学校、高等学校教員の養成を行います。



教育理念

学校教育の様々な課題に対して高い専門性をもって積極的に取り組む人を育てる学部、それが教育学部です。

本学部には、小学校、特別支援学校、幼稚園などの教員を養成する「初等教育コース」と中学校、高等学校などの教員を養成する「中等教育コース」の2つのコースがあります。それぞれのコースでは、教科・領域の専門性を横断的、系統的に身につけ、学習者の成長や学習に対する専門的理解を深め、地域と連携できる能力を備えた教員の養成を通じて広く社会の発展に寄与することを目指しています。

求める学生像

- ① 高等学校などで身につけた基礎学力の上に立って、主体的・協働的に学ぶことができる人
- ② 人間の教育や心理に興味を持ち、初等・中等教育における各教科の教育に強い関心を抱いている人
- ③ 子どもの成長を支えられる豊かな人間性と優れたコミュニケーション能力を有している人
- ④ 教育への情熱や探究心を持ち、学校を中心とする地域・社会の諸課題に積極的に取り組んでいこうとする人

教育課程の編成・実施の方針

学校教育課程では、公教育の担い手として多様な人々と協働しながら、学識に支えられた指導力により子どもたちの学習・発達を支援し、生涯にわたって学び続ける教師を育てるために、以下のような特徴を有する教育課程を編成し、実施する。

① 幅広い専門領域を担う教員組織と新しいカリキュラム開発

多様な教科や領域の教員が協働し、地域・社会の諸課題を視野に入れた授業やカリキュラムを開発する。また、地域との連携やグローバル社会を視野に入れた学校教育の重要性を考えることのできる人材を育成する。

② 実践と省察を繰り返す協働的な学習

子どもたちの成長と発達を促す実践への参加と省察を繰り返す学習経験を積ませる。全学年の学生が協働して探究することにより、専門職としての教師に求められる学習を積み重ねる。

③ 教科・領域の専門性を高めるための科目配置

教科・領域が成立する根拠や意義、歴史的背景への理解をベースに、教科・領域の目的・目標・内容・方法に関する専門性を培う。さらに各教科・領域のカリキュラム・単元・授業・教材・活動内容の提案、事例研究を行いながら、教科横断的、系統的な視野に基づいた学習を組織することができる実践的力量を形成する。

④ 深い人間理解を促すための科目配置

人間の教育・心理に対する専門的理解を深めながら、就学前段階にある幼児や特別な教育的ニーズをもった児童・生徒の成長も視野に入れ、多様な視点から子どもの成長や発達を支援することができる力量を形成する。

⑤ 学び続けることのできる教師の育成

学識形成の足跡を示す学びの履歴・成果をまとめることにより、世代継承サイクルを組み込んだ学習コミュニティを形成する。専門職としての総合的な能力を評価するために、協働探究のプロセスやそこで育まれた能力を把握し、学習個人誌を作成・公開する。

学位授与の方針

教育学部では、修業年限以上在学し、かつ教育課程編成の方針に基づいて編成された科目を履修し、共通教育規程および教育学部規程において定められた単位数を取得することにより、教科や教職の専門的・実践的力量ならびに公教育の担い手としての自覚と責任感を備え、以下のような能力を身につけたと認められる者に対して学位を授与する。

① 生涯にわたって学び続ける基盤

地域や学校における実践コミュニティの一員として、また学びの専門職として、地域に参画し、他者と協働し、生涯にわたって学び続ける基盤を有する。

② 協働的な学習や探究的な学習の指導と評価

子どもたちが主体的・協働的に学習できるように、また教科・領域の特性に応じた探究的な学習を行うことができるように、教育の目的・目標・内容、および子どもの発達や地域・グローバル社会に関する知識に基づいて指導と評価の計画を立てることができる。

③ 教科・領域における重要な概念と探究の方法に関する理解

子どもたちの知的・社会的・個性的な発達を支援するために、各教科・領域における重要な概念と固有の探究方法、およびそれらを子どもたちが学習していくプロセスに関して深い理解を有する。

④ 民主的な集団活動の指導

学校や教室の社会的・文化的文脈を認識したうえで、子どもたちが平和で民主的な社会のあり方と人間らしい生き方について理解を深められるように、集団活動の運営方法を指導することができる。

⑤ 子どもたちの個性に応じた成長と発達の支援

人間の成長・発達について深い理解を形成し、子どもたち一人ひとりの個性に応じた成長と発達を支援することができる。

⑥ 学識形成の足跡を示す学習成果の公開

上記①から⑤の能力を裏付けるために、学識が形成された足跡を示す学習成果をまとめて、公開することができる。

初等教育コース

小学校、特別支援学校(学級)、幼稚園などの教員を目指す人



小中一貫教育や幼小連携教育、地域と連携した教育、特別支援教育など現在の学校教育の課題を解決していく能力を備えた小学校教員、特別支援学校教員を養成します。実践的で協働的な課題探究型の授業を中心に、小学校英語やICT教育、インクルーシブ教育など新しい教育内容に対応したカリキュラムを充実させています。

- 教科内容の専門性を横断的、系統的に身につけたい
- 幼児・児童の成長や学習に対する専門的理解を深めたい
- 地域と連携できる能力を備えたい



教育学部

サブコース	小学校教育 サブコース			特別支援教育 サブコース			
系	1系 (教科探究系)		2系 (子ども理解系)	3系 (学校・地域連携系)			
系・コース 共通科目	小中 カリキュラム 研究A	小中 カリキュラム 研究B	子どもと 人間関係 子どもと 環境 子どもと 表現 (2科目選択)	地域連携教育 研究A	地域連携教育 研究B	障害の判別・診断 とアセスメント	発達障害教育総論
希望する 校種や 教科	小中連携・一貫教育を担う教科の専門性を身につけた小学校教員		子どもの発達や学習に関する高い専門性を身につけた小学校・幼稚園教員	地域社会と連携した教育を展開し、地域の中で主体的に生きる力を育成できる小学校教員		多様なニーズのある子どもへの専門的な対応ができる教員	

4年間の学び

サブコース・系選択(2年前期)

2年目以降については、選択科目として履修することで継続可能。



中等教育コース

中学校、高等学校の教員を目指す人



中高一貫教育などを見据え、高度で体系的な専門知識を持って、主体的で協働的な学習を構想し実践することのできる中学校、高等学校教員を養成します。課題探究型学習やアクティブ・ラーニングに関する指導方法を学ぶとともに、各教科の教育内容に関する専門性を高めるカリキュラムを充実させています。

- 青年期の特徴を理解したい
- 生徒の知的好奇心や自己実現に応えるための高い専門知識を持ちたい
- 主体的で協働的な学習を構想し実践することのできる教科指導力を身につけたい



サブコース	人文社会教育 サブコース	理数・生活教育 サブコース	芸術・スポーツ教育 サブコース
コース 共通科目	人文社会科学 概論A 人文社会科学 概論B	理数基礎A・B 生活科学概論A・B・C (2科目選択)	身体と 創作表現A 身体と 創作表現B 身体と 創作表現C (2科目選択)
希望する 校種や 教科	「国語」、「英語」または「社会科」の中学校・高等学校教員	「理科」、「数学」、「技術」または「家庭」の中学校・高等学校教員	「音楽」、「美術」または「保健体育」の中学校・高等学校教員



4年次

教職実践演習

副免教育実習

卒業研究

卒業研究

学生Voice

中嶋 勇貴さん

学校教育課程 理数教育コース2年次
福井県立大野高等学校出身

教育学部では、1、2年次のころから子どもと接する機会がたくさんあります。実際の教育現場を見学することも多く、特別支援学校を訪問する授業もありました。子どもの相手は慣れていないつもりでしたが、「先生」として接するのは全く違いました。子どもの成長を第一に考えて、すぐに教えるのではなく、気づくまで待つことも重要なのです。教師には授業以外にも様々な仕事があることも知りました。3年次からは、教育実習がはじまります。板書の方法や指導案の書き方など、実習が始まる前に準備していきたいと思っています。



学びの特色

探求ネットワーク (学習過程研究 / 組織学習研究)

子どもと楽しく関わりながら組織の動かし方を学ぶ



河端 尚輝さん

学校教育課程 理数教育コース3年次
福井県立高志高等学校出身

探求ネットワークは9つのブロックに分かれ、地域の子もたちと8ヵ月の活動を行います。私は「ひらめき☆理科ブロック」で、理科の実験や植物の観察などを行いました。子どもたちが喜んでくれると、それまでの苦労も吹き飛びます。子どもと接する体験は教育実習でも生かされたと思います。希望すれば、1年次から3年次まで継続して履修可能です。私は3年次まで継続し、全体の運営にも携わりました。危機管理や事前準備、時間通りに進行させることなど、組織運営の仕方も学ぶことができました。

ライフパートナー (学校教育相談研究)

子どもの言葉に耳を傾け、思いを引き出す



宮下 胡桃さん

学校教育課程 臨床教育科学コース3年次
福井県立高志高等学校出身

ライフパートナーは、悩みや問題を抱える子どもをサポートするプログラムです。私が担当したのは、学校へなかなか来られない小学6年生の男の子。まずは学校を楽しく感じてもらうために、その子がやることに対して、オーバーなぐらい肯定的なりアクションを心がけたところ、喜んでくれ、私が来るのを楽しみにしてくれました。1月には卒業文集の作文作りを手助けし、できるだけ自分の言葉で書けるように、たくさん質問しました。すぐに口出しせずに、書けるまでじっと待つ。待つ時間が大事なのだと気づきました。

CST



地域の理科教育を支えるスペシャリスト(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)を目指して、様々な研修に取り組むことができます。

OEC (Overnight English Camp)



毎年英語科の1~3年生全員が学外施設において英語のみを使用しながら2泊3日の合宿を行い、英語運用力を鍛えています。

教員 & 卒業生メッセージ

教員メッセージ

即戦力のある教師を育てる実践的なカリキュラム



橋本 康弘 教授

教育学部ではまず、各教科ごとの専門的な学習、授業を作っていくための教科教育法のほか、教育実習、長期インターンシップや探求ネットワーク、ライフパートナーなど、実践的なコアカリキュラムで、教員になるための基礎を身につけます。授業力をつけるために、新たに授業研究という科目も立ち上げました。学問の体系を学ぶことも大切ですが、即戦力になれる教師には、「授業がうまい」ことも重要であると考えています。ICTを使った授業づくりやアクティブ・ラーニングなど、現場のニーズに即したカリキュラムも取り入れており、多くの学生が受講しています。卒業して教員になれば、すぐに現場に立つことになります。様々な問題に直面したときに向き合える力を大学で身につけて欲しいと考えています。

卒業生メッセージ

英語の楽しさを伝え、生徒の世界を広げていきたい

山本 由貴さん

2012年卒業

敦賀市立角鹿中学校教諭

大学4年次に1年間休学し、福井県の奨学生として米国オハイオ州のフィンドレー大学に留学しました。現地の小中学校で日本語クラスを担当したり、寮のようなシェアハウスでの生活はまたとない実践の場で、「自分の考えや思いは、きちんと言葉にして相手に伝えるべき」と強く感じました。現在は、中学校で英語を教えています。授業を通じ、英語の楽しさを生徒に伝えたいと思っています。私は英語と出会い、自分の新たな一面を知り、世界が広がりました。音楽やスポーツと同じように自己表現の一つとして身につけてほしいですね。今でも大学時代の恩師に相談することがあります。教職大学院も充実し、語学センターなどの設備もうらやましいですね。教員になってからも学べる制度や施設があるところも福井大学の魅力だと思います。



ライフスタイル

教育学部編



畑中 結衣さん

学校教育課程

芸術・保健体育教育コース3年次
福井県立高志高等学校出身

時間割 (3年次後期)

	月	火	水	木	金
1限					
2限	体育教材研究			図画工作 教材研究	教育実践研究A-III (教育実習事前・事後学習)
3限	病弱教育II (精神疾患)		世界音楽概論		
4限	ピアノ演習I		声楽演習I	知的障害教育I (指導法)	
5限			作曲基礎II (編曲法を含む)		

教育学部

どれにしようかな

11:00



レポート作成や試験前には
図書館を利用します

12:00



今日のランチは売店のおにぎり。種類が豊富で美味しいです

15:30



声楽の授業。マンツーマン
で指導してもらいます

16:30



空き時間に音楽教室サブ
コースの自習室で友だちと
おしゃべり

17:00



作曲基礎IIの授業で作品を
披露

10:00



ピアノ練習室で予習。練習
環境は充実しています

個室なので
集中できます

アルバイトは
福井駅前の塾で
国語、数学、英語の
講師をしています。



附属学園

少子化に伴う学校の統廃合やグローバル化等、校種を超えた21世紀の諸課題に立ち向かう教育研究開発校としての役割を果たすべく、全国に先駆けて、それまでの4校園を統合した附属学園となりました。また、平成29年4月には、義務教育として行われる普通教育を、基礎から応用まで一貫して施すことを目的に、附属小学校及び中学校を統合して9年制の義務教育学校を設置しました。附属学園のもう一つの使命は、教員研修学校の役割を果たすことです。教育実習校から、教員の生涯にわたる職能成長を支える教員研修学校へと舵を切り、ますます大学・大学院との一体化を図ります。

幼稚園・義務教育学校・特別支援学校

子どもたちとともに活動することでたくさんのことを学び、成長する

附属学園には、幼稚園・義務教育学校・特別支援学校があります。幼稚園では、幼児教育と子育て支援における地域の中核として、協同的な遊びを中心とした総合的な保育活動を展開しています。義務教育学校は、前期課程6年と後期課程3年の9ヵ年の一貫した教育方針の下で学べる学校です。これまでの「知識伝達型」の教育から、課題に対応する力を育てる「資質能力育成型」の教育への転換を図り、「自主協同」の校訓のもと、教科での学びを最大限に活用した課題解決型の学習を全教科及び領域

(特別活動等)で展開します。1学年から外国語活動を実施し、卒業までに実生活で使える英語の習得も目指します。特別支援学校には、小学部、中学部、高等部があり、知的障害児が、将来の社会参加のために自分の特性を見つけ、伸ばしていく12年一貫の総合的教育を行っています。それぞれの学校園で、役割に応じた特徴のあるカリキュラムを実施。子どもたちと創造的な活動をともにすることで、教育実習生は多くのことを学び、人間として大きく成長します。



附属幼稚園



附属義務教育学校



附属義務教育学校の開校式の様子



附属特別支援学校のシンボル大壁画

大学院 教育学研究科／連合教職開発研究科 (教職大学院)

教育学研究科学校教育専攻

新たな学校教育の課題に見合う教職専門の資質と能力を身につけるに加え、高い教科専門性に基づいた実践的な授業づくりの能力と指導力を身につけ、学校教育における今日的な諸課題に包括的かつ柔軟に対応できる教員の養成を目指します。

4つのコース(小学校教育コース、人文社会教育コース、理数・生活教育コース、芸術・スポーツ教育コース)には、コース別専門科目と課題研究、修士論文に加えて、必修科目「協働実践研究プロジェクト」を設けています。

協働実践研究プロジェクト

所属するコースを超え、大学院生と教員が附属学園や地域の小・中・高校の現職教員と協働して、現場指導に取り組む実践的な研究、活動のプロジェクトです。定期的、継続的な2年間の研究活動で、授業を想定した教科内容に関する知識を身につけること、授業計画力、授業実践力、教員としての協働性や課題探究力を身につけることを目的としています。大学院生は、基本的に、自分の専門に近い領域のプロジェクトを履修し、豊富な実践事例を組み込んだ包括的なカリキュラム提案にまとめて報告します。

福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科 (教職大学院)

子どもたちが自主的に学び合い成長できる学校教育の実現には、子ども一人ひとりの学びと協働を支える教員の力量と実践力が不可欠です。そのため、本学が基幹校となり、特色ある3つの大学が協働し教職大学院を設置(平成30年4月設置予定)し、各々の実践研究を共有しながら、高度な専門的能力と優れた資質を有し、学び続けることのできる教員の養成を目指します。

ここでは、本学が生み出した教育スタイル「学校拠点方式」を採用し、小・中・高・特別支援学校などの現場を学びの場としています。大学院生は拠点校のサイクルに合わせた長期のインターン

シップを行います。また、現職教員の大学院生は勤務校を離れることなく学ぶことができます。学校が抱える課題に教員や大学院生が協働して取り組むことで、教員としての実践力やマネジメント力、専門職としての技量を培います。

若い世代の教員を養成する「授業研究・教職専門性開発コース」、現職教員を対象とした学校での核となる教員を養成する「ミドルリーダー養成コース」、改革期の学校を支える管理職のための「学校改革マネジメントコース」の3つのコースがあり、世代を超えて学び合います。



学 位: 教職修士(専門職)

修 業 年 限: 原則として2年(1年を許可する場合もある)

必要修得単位: 学校における実習(10単位)、共通科目(20単位)、コース別選択科目(15単位) 計45単位以上

平成30年4月設置に向け、文部科学省と協議中の内容です。今後、変更の可能性もあります。

取得可能な教員免許状・資格

◆ 教員免許状

コース	サブコース	小学校		中学校		高等学校	特別支援学校		幼稚園教諭			
		1種	2種	1種	2種		1種	2種	1種	2種		
初等教育	小学校教育(1~3系)	◎		○*	○*	国語、社会 数学、理科 音楽、美術 保健体育	○*	国語、地理歴史	○	○	○	○
	特別支援教育	◎		○*	○*		○*	公民、数学 理科、音楽	◎		○	○
中等教育	人文社会教育	○	○	◎	○*	保健体育 保健、技術 家庭、英語	○*	美術、工芸	○	○		
	理数・生活教育	○	○	◎	○*		○*	保健体育 保健、家庭	○	○		
	芸術・スポーツ教育	○	○	◎	○*		○*	工業、英語	○	○		

- ◎ …… 卒業要件となっている免許
- …… 必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。
- * …… 免許教科に係る必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。

(注)所属するサブコースによって取得できる免許状の種類・教科の数には制限があります。

◆ 資格

■ 学校図書館司書教諭

教員免許状に加え、必要な単位(10単位)を修得することで、資格が取得できます。

医学部

School of Medical Sciences

〈福井大学医学部理念〉

愛と医術で人と社会を健やかに

真理を探究する知への愛 —

それは、古代ギリシャの哲学者プラトンや医学の父ヒポクラテスが最も信頼を寄せた愛、すなわち、自分自身の「無知」を自覚し、つねに真理の側へと身を置き、それを不断に求め続けることを自らに課す、極めて厳しい愛です。私たちは、最新の医学・看護学知識や技術を学び、修練すると共に、次世代の医学・看護学を開拓する研究を推進します。

人命を尊重し人間に共感する人への愛 —

それは、病に臥していようが無かろうが、日々の生活を営む人々のために自らの知識と知恵を捧げようと志す、徹底した無私の愛です。私たちはその具体的な姿を、福井藩蘭方医、笠原良策（白翁）（1809-1880）に見出します。笠原は、幕末まで死病として恐れられた天然痘の流行を食い止めるため、既存の医学や因習に囚われることなく、常に最先端の医学を探求し続けた「知への愛」の実践者であると同時に、自らの命を賭して種痘の普及と実施に尽力し、人と社会の健康に一生を捧げた人物に他なりません。私たちは、旧福井医科大学学歌に謳われた“杏林愛に芳しき”医療従事者や研究者を育成、輩出し、人と社会を健やかにする事に貢献します。



医学部の理念

愛と芸術で人と社会を健やかに

真理を探究する知への愛 —

人命を尊重し人間に共感する人への愛 —

教育目的・人材育成目標

【医学部の教育目的】

・福井大学医学部は、理念に基づき、人間形成を基盤に生命尊重を第一義とする医の倫理を体得するとともに、高度に発展した世界水準の医学および看護学の知識を修得し、グローバル社会で活躍できる医療人および研究者を育成する。

○医学科

・質の高い臨床能力と生命尊重を第一義とする医の倫理を有し、根拠に立脚した患者中心の医療を実践できる医師や、医学の進展に貢献する高い資質を身につけた医学研究者を育成し、医学・医療の進歩を通じて社会に貢献することを目的とする。

○看護学科

・人間理解と倫理性を基盤とし、豊かな人間性と創造性を備え、高度な知識と技術をもち患者中心の看護を実践できる看護専門職および将来看護の分野で指導的役割を担うことができる人材を育成し、地域の保健医療の向上に貢献するとともに、看護学の発展につながる看護学研究を推進することを目的とする。

【学部教育の人材育成目標】

医学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 21世紀のグローバル社会において高度専門職業人として活躍できる医師・医学研究者を育成する。 ② 優れたコミュニケーション能力と高い倫理観を備え、患者中心の医療を実践する臨床医を育成する。 ③ 世界水準の能力と地域を見る目を養い、地域に根差した活動のできる臨床医を育成する。
看護学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 看護の対象となる人間を総合的に理解できる。 ② 高い倫理観をもち、看護の対象となる人間の権利を守る。 ③ 健康に関わる諸問題の解決に必要な知識・技術を主体的に学び、創造する。 ④ 関連領域の専門家と協力し、必要に応じて調整的な役割を果たす。 ⑤ 看護を批判的に吟味し、建設的・創造的に発展させる。

特色

医学科	<p>医学への学修意欲・医療へのモチベーションを高めるため、早期から人体解剖学などの基礎医学、早期体験実習などを導入しています。また、地方大学としての地域医療教育、プロ意識涵養のためのメディカルプロフェッショナルイズム教育、さらに、問題解決能力を高めるための自学自習を導入するなど、医学教育の質の向上に常に取り組んでいます。</p>
看護学科	<p>将来の職業選択に生かせるよう、選択科目の多い、ゆとりある教育を実施しています。また、医学部附属病院が主な実習病院であることから、最新の医療現場で充実した看護を学べます。</p>

求める学生像

医学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 医師となるにふさわしい豊かな人間性、周囲との協調性、奉仕の精神を持ち、 ② 医学教育内容を十分理解するために必要な幅広い基礎学力と応用能力に富み、 ③ 医学・医療を通じて広くグローバル社会に貢献しようとする強い情熱と意欲を持った人を求めます。 <p>そして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 先端的生命科学に強い関心をもち医学研究者になることを希望する人や、 ⑤ 医師として地域医療に貢献したいという人も求めています。
看護学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 看護に関心を持ち、将来看護職として、地域医療に貢献したいと考える人 ② 基礎学力の上になって、人と地域社会に関心をもって学習に臨める人 ③ 協調性がありコミュニケーション能力が高い人 ④ 倫理的感性が高く、人間の尊厳と権利を重んじることができる人 ⑤ 誠実な心を持ち、主体的で意欲のある人 ⑥ グローバル化が進展する社会に対応できる幅広い視野をもつことができる人

教育課程の編成・実施の方針

医学部の教育目標である「人間形成を基盤に、生命尊重を第一義とする医の倫理を体得するとともに、高度に発展した世界水準の医学および看護学の知識を修得し、グローバル社会で活躍できる医療人および研究者を育成する」ことを達成するため、医学科および看護学科で定めた人材像に沿った、本学医学部の特性等を積極的に活用しつつ、医学・看護学教育指針に準拠した教育課程を編成・実施します。

学位授与の方針

所定の期間在学し、カリキュラムポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位・時間数を修得し、医師・看護師等に必要医学・看護学の知識・技能・態度を有するとともに、医学科および看護学科で定めた卒業時まで修得すべき具体的な能力・技能等を備えた者に学位を授与します。

医学科

高度な臨床能力・研究能力を身につけた人間性豊かな医師に

急速に発展し続ける医学領域では、学生が身につけなければならない知識量が膨大になり、医師に求められることも多様化しています。社会のニーズに対応できる質の高い医師を養成するために、本学科では、文部科学省によるガイドライン「医学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠した統合カリキュラムを実施しています。さらに平成28年度から世界医学教育連盟の定めるグローバルスタンダードに準拠するために策定された医学教育分野別評価基準日本版に沿ったカリキュラム編成を行っています。医学導入から準備教育と基礎医科学、基礎臨床医学と臨床研修までの一連を学ぶ6年一貫教育を実施。1年次から病棟看護体験実習や人体解剖学、メディカルプロフェッショナリズム教育で高度専門職業人としての意識を醸成します。また、研究マインドを涵養するための、医科学研究研修を1年次から取り入れています。研究に興味を持つ学生には、早期にかつ継続して研究に参加する機会を提供します。



学科のポイント

謙虚な心と豊かな人間性を育む

医学部は「生命」を学ぶ学部であり、第一に求められるのは人間性です。周囲との協調性や奉仕の精神、幅広い基礎学力と応用能力、医療に従事する覚悟が必要です。生命を尊ぶ謙虚な心と豊かな人間性を育み、社会に貢献できる医師を養成します。

臨床を見据えた効果的な学習

医師としての社会的責任を1年次から自覚し、医学準備教育、基礎医科学を取り入れ、臨床を見据えた6年一貫教育を行います。全教員が参加して講義を行い、それぞれの専門領域の基本から最新の動向を効率的に学びます。

周囲と連携し行動する力を養う

臨床において欠かすことのできない多職種連携について、看護学生との合同講義や合同実習を通してコミュニケーション能力と社会性を養い、常に問題を提起し、広く意見を求めて、探究、解決する能力を身につけます。

医学科

カリキュラム

文部科学省のガイドラインに沿って、カリキュラムを効率的に編成。1年次から医学導入、準備教育と基礎医科学を並行して学び、医師としての自覚、責任感を醸成します。また、医学教育分野別評価基準日本版に沿って、講義時間数を減らし、自学・自修と臨床実習の時間を増やします。

区分		1年次	2年次	3年次	4年次(前期)	4年次(後期)	5年次	6年次
共通教育科目	入門科目	大学教育入門セミナー						
	基礎教育科目	外国語科目	英語I、英語II、英語III、英語IV					
		保健体育科目	スポーツ健康科学					
		情報処理基礎科目	情報処理基礎					
	共通教養科目	地域コア科目群	地域コア科目I・II・III					
教養教育科目群		生命倫理学I、心理行動科学など						
専門教育科目	医学準備教育		医学入門 医学のための物理学入門 基礎生物学 人の行動と心理など	医療統計学				
	医学外国語			医学英語I、II	医学英語III、IV		実用医学英語I	実用医学英語II
	メディカルプロフェッショナリズム	医学基本	コミュニケーションとチーム医療		医の原則、死と法	医療における安全性への配慮と危機管理		メディアP総合演習
		地域医療	地域医療フェトリアル	地域医療学	地域医療学実習 医学・医療と社会I		医学・医療と社会II	
	基礎医科学		生命現象の科学I・II 生体物質の代謝 遺伝と遺伝子 人体解剖学	細胞の基本構造と機能 組織・各臓器の構成・機能 画像解剖総合演習 個体の調節機構とホメオスタシス 中枢神経系の機能と構造 個体の発生、生体と微生物 生体と動物 免疫と生体防御 生体と放射線・電磁波・超音波	生体と薬物、原因と病態			
	基礎臨床医学1				血液・造血系・リンパ系 神経系、皮膚系 運動器(筋骨格)系 循環器系、呼吸器系 消化器系、腎臓内科 泌尿器系 女性生殖機能・乳房 内分泌・栄養・代謝系 眼・視覚系、精神系	耳鼻咽喉・口腔系		
	基礎臨床医学2					感染症、腫瘍 免疫・アレルギー疾患 救急、成長と発達 加齢と老化		
	診療の基本					症候・病態からのアプローチ 基本的診療知識 画像・放射線を用いた診断と治療	基本的診療技能	
	臨床研修						診療参加型臨床実習I	診療参加型臨床実習II 実践臨床病態学 臨床推論学
	医科学研究研修		研究実践初級コース・ 上級コース		研究室配属 アドバンスト医科学研究コースI・II			

科目紹介

メディカルプロフェッショナリズム教育

医学基本と地域医療の区分で、医師として要求される社会的責任や地域、他職種との連携について1年次から6年次にわたって学びます。医師は社会から何を求められ、どのように応えていくのかをプロフェッショナリズム(専門職業意識)の観点から考察します。

医科学研究研修

アドバンスト医科学研究コースでは、講師による講義と、学生が積極的に議論に参加するセミナーを通して、最新の医科学研究が進められる過程を体験します。また、最新の実験結果を理解する力を養い、医科学分野の論文理解を促し、研究への興味を引き出します。さらに3年次の研究室配属と研究実践初級、上級コースで、早期に、かつ継続して研究に参加する機会を提供し、学生の研究マインドを涵養します。

CBT・OSCE

4年次に行われる共用試験。後期から始まる臨床実習で必要となる知識、技能、態度が身についているかを評価し、合格者はStudent Doctorに認定されます。CBTでは、多肢選択型試験で医学知識の理解度を評価し、OSCEでは、実技試験により臨床技能が試されます。

臨床研修

これまでのクリニカル・クラークシップを診療参加型とし、学生の患者さんへの関与をより促します。また、臨床推論学において、患者さんの主訴や検査結果をテーマに、どのような診断や治療を行うかを学生が考察することにより、学生の医学知識を整理し、総まとめを行います。臨床対応学では、卒業後の研修に向けて、知識のみならず、診療技能などの習熟度を医療面接や診療を通して確認します。

医学科

学びの特色

クリニカル・クラークシップ

4年次後期から6年次にかけて、医療チームの一員として診療に参加する診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ)を順次導入しています。実習時間を増やし、より多くの実践経験を積みます。

患者さんが心を寄せられる優しい医師になりたい



品川 夏子さん

医学科5年次

栃木県立宇都宮女子高等学校出身

診療はどの科でもまずは患者さんへの問診から始まります。先生方はいともたやすく行っていますが、自分がするととても難しく、経験が必要だと思いましたし、患者さんの立場でゆっくりきちんと話を聞くことが大切だと気づきました。国際医学生連盟(IFMSA)の福井大学の代表を務め、留学生の受け入れの手伝いや、私自身もスペインへの留学を経験しました。福井の静かでのんびりした雰囲気は私にとっては勉強しやすい環境ですし、地方であっても、自分から求めれば、学ぶチャンスはいくらでもあると思います。



医学部

医学科

ライフスタイル

医学科編



内藤 豊智さん

医学科2年次

東大寺学園高等学校出身

時間割(2年次後期11月度)

	月	火	水	木	金
1限	生体と微生物	免疫と生体防御	組織・各臓器の構成、機能と位置関係(実習)	生体と微生物	組織・各臓器の構成、機能と位置関係(講義)
2限					
3限	人体解剖学(1年次)*	組織・各臓器の構成、機能と位置関係(実習)	人体解剖学(1年次)*	組織・各臓器の構成、機能と位置関係(実習)	人体解剖学(1年次)*
4限					

*人体解剖学は1年次の授業で、2年次は希望者のみ受講可

8:30



大学の近くで一人暮らしなので通学は楽です

9:00



講義棟はまだ新しくピカピカです

14:00



顕微鏡を使う人体解剖学実習

16:00



言語開発センター(LDC)のスタッフをしています

17:00



部活は陸上部。空き時間にはトレーニングも

医師は体力も重要!

今日の部活来る?

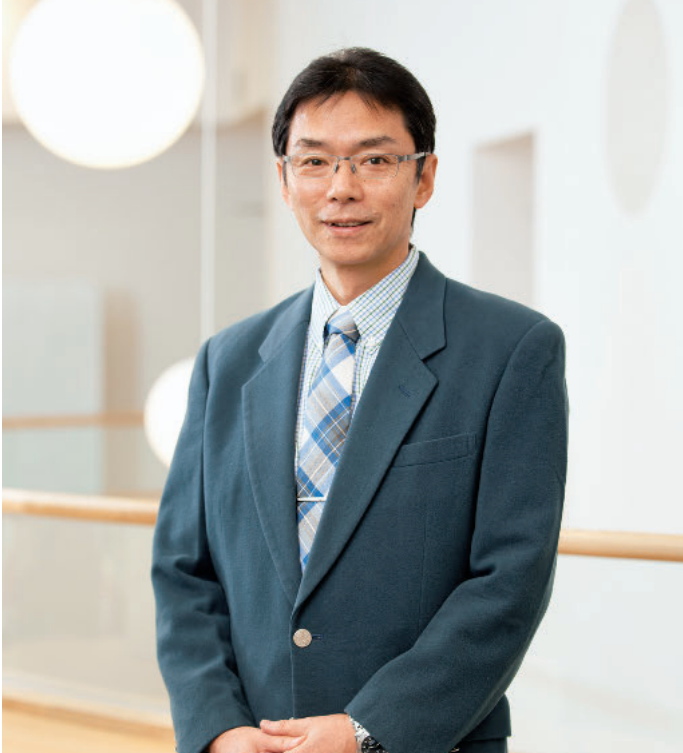
手帳とスマホの両方でスケジュール管理しています!



教員 & 卒業生メッセージ

教員メッセージ

教職員が一体となって優れた医療人の育成を目指しています



安倍 博 教授

行動科学 / 教育担当副学部長・医学部附属教育支援センター長

◆
 本学は医師を目指す皆さんにとって非常に恵まれた環境であると自負しています。医学科ではグローバルスタンダードに準拠したカリキュラムで、入学後の早い段階から基礎医学をスタートします。国際的に通用する実践に近いプログラムで、医学へのモチベーションの維持・向上を図ります。また、本学の特徴である緊急被ばく医療と、地域医療人育成のための教育の充実にも力を注いでいます。教職員一人ひとりが、修学面はもちろん、生活面やメンタル面まで、親身になって学生の皆さんをサポートします。学生は全国各地から集まっており、大学の周辺で仲良く生活しています。豊かな自然に囲まれたキャンパスは、勉強と部活に集中できる環境です。キャンパス内の附属病院では高度医療から地域に密着した医療まで多様な医療に対応しており、ここで経験を積んで地域医療のエキスパートになることも世界へ飛び出す実力をつけることも可能です。

卒業生メッセージ

患者さんの心を第一に考えた治療をしていきたい

細野 奈穂子さん

福井医科大学医学部(現:福井大学医学部)医学科 1999年卒業
福井大学附属病院 がん診療推進センター 助教

◆
 福井赤十字病院に出向した際、がん患者の方の苦しみを目のあたりにし、その辛さを受け止めて患者さんとしっかり向き合う治療をしたいと思い、血液腫瘍内科を選びました。大学院へ進んだ後、最先端の医療を学ぶためにアメリカ・オハイオ州の研究所へ留学。がんは遺伝子の異常により起こりますが、血液がんの場合、白血病になる人とリンパ腫になる人がいるのはなぜなのかを遺伝子上で研究しました。今の仕事は、臨床が7割、研究が3割ぐらいです。人と関わるのが好きで医師の道に進んだので、臨床はずっと続けていきたいですが、より多くの人を救う可能性がある研究にもやりがいを感じています。医学と科学の両方に携わる今のバランスが私には合っているのではないかと思います。



看護学科

多様化する社会のニーズに応える専門的な看護力を

自らの資質向上を目指し、学び続けるために必要な基礎的能力と、多様化する社会のニーズに応えるための専門的な看護力と実践力を養成します。学生が地域への理解を深め、「臨床」と「地域」の多職種連携によるチーム医療において看護実践能力を発揮するため、効率的かつ充実したカリキュラム編成を行っています。大学教育入門セミナーでは、高校から大学での学びの変化を学習し、社会人としてのマナーも学びます。また看護師や保健師、助産師として社会へ出た後もスペシャリストとして学び続け、高度で実践的な看護能力を身につけるための基礎教育を強化しています。



学科のポイント

多彩な教員陣と 多様なカリキュラム

医学科を加えた多彩な教員陣が講義や実習を担当し、それぞれが目指す看護職を明確にできる多様なカリキュラム編成となっています。実習機関である附属病院では最新の医療について、経験豊富な現場スタッフから学ぶことができます。

成長し続けるための 基礎的能力の育成

「看護とは？」との視点から、コミュニケーションの取り方や看護の展開方法など基本的な技術を学びます。また、学年主任に加え、アドバイザー教員と先輩学生が小グループを編成し、大学での学びを支え、今後、社会に出ても学び続ける基礎力を養います。

様々なフィールドで 活躍する

病院での中心的存在として、また企業や地域においては従業員や住民の健康管理の担い手として、様々な役割が求められています。卒業後は、看護師、保健師、助産師として多様なフィールドでの活躍が期待されています。

看護学科

カリキュラム

学生が地域への理解を深め、臨床において必要な看護実践能力を効率的に身につけることができるカリキュラムを編成しています。医療現場でのチーム医療を見据え、講義、実習においては医学科との共修を実施しています。また、社会のニーズに応え、高度実践看護の基礎教育の強化を図るため、「災害看護学」「がん看護学」を学びます。また、患者の機能障害別に急性期から回復、慢性期へと一連の流れの中で患者理解を図り、効率的に学ぶことのできるカリキュラム構成となっています。また、海外での学びを支える、専門的な看護英語を学ぶこともできます。

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	
共通教育科目	入門科目	大学教育入門セミナー				
	基礎教育科目	情報処理基礎科目	情報処理基礎			
			統計学、医療経済学入門など			
	外国語科目	英語I、英語II、英語III、英語IV				
	保健体育科目	スポーツ健康科学				
	共通教養科目	地域コア科目群	地域コア科目I・II・III			
		教養教育科目群	心理行動科学、生命倫理学Iなど			
哲学の人間学、法学(日本国憲法)、生命倫理学II、教育学、社会学など						
		芸術学、歴史学、教養特別講義など				
専門基礎科目	看護外国語			看護英語I、看護英語II		
	生命基礎科学	生命基礎科学 (化学、生命科学、物理学、生物学入門) 生命基礎科学実験(化学、物理学)				
	健康科学	健康科学論、形態機能論I・II・実習 生体反応論I・II・実習	薬理作用論、疾病論I・II 健康管理論、成長発達論	心理測定論		
	環境科学	環境科学論	疫学、保健統計論	保健医療福祉論I・II		
専門科目	基礎看護	看護学概論、日常生活援助論など	看護過程論 看護コミュニケーション論など	看護倫理など	看護管理	
	健康時の看護		公衆衛生看護学概論	公衆衛生看護展開論I・II 公衆衛生看護管理論など	学校保健論、産業保健論 助産学I・IIなど	
	健康障害時の看護		成人看護学概論、老年看護学概論 母子看護学概論、精神看護学概論など	災害看護学		
	臨地実習	基礎看護学実習I	基礎看護学実習II	がん看護学、小児看護活動論 母性看護活動論、精神看護活動論など	各論実習(公衆衛生看護学実習含)	助産学実習
卒業研究					卒業研究	

科目紹介

大学教育入門セミナー

高校までの受け身で「覚える」学習から、自ら学ぶ意欲や疑問を持つ「考える」学習への転換を目的に行い、演習やグループワークを通して看護職に就くことへの心構えを持ち、主体的に取り組むことを目指します。

地域ケア実習

社会的ニーズが高まっている多職種連携の在宅医療を担う看護師教育を充実させるため、プライマリケア、地域医療を実践している施設で医学科学生と共修で実習を行います。学生時代から学科を超えてともに学ぶことで「チーム医療」に対する意識を養います。

臨地実習

附属病院をはじめ県内各病院や診療所、地域の施設で臨地実習を行います。実際の現場での患者さんの一日の活動を、実習を通して学び、看護理論の理解を深め、チームの一員として連携・協働する能力を身につけます。また、海外病院の見学、研修を選択することもできます。

看護学科

学びの特色

臨地実習

3年次9月から4年次7月までの約11カ月間、病院や自治体、医療・介護施設で実習を行います。実際に患者さんを受け持ち、看護師の仕事を間近に見ることで看護ケアに必要なスキルと心を養います。

患者さんを思いやる気持ちを大切にしたい



青木 彩夏さん

看護学科3年次
福井県立武生高等学校出身

子どもの頃から看護師に憧れていました。今もその気持ちに変わりはありません。3年になって本格的に実習が始まり、自分の知識不足や力不足をととも感じています。辛いこともあります。先生が丁寧に指導して下さいますし、看護師さんもいろいろとアドバイスしてくれるのでとても感謝しています。1日が本当にあつという間に過ぎますね。部活動はサッカー部でマネージャーをやっています。部活を通じて他の学年や医学科にも知り合いがたくさん出来たことは財産だと思います。



医学部

看護学科

ライフスタイル

看護学科編



村井 加奈さん

看護学科2年次
福井県立藤島高等学校出身

時間割(2年次後期)

	月	火	水	木	金
1限		英語V	在宅看護論	精神看護学概論	疫学
2限	疾病論II	母子看護学概論		老年看護活動論	保健統計論
3限	ヘルス アセスメント論	慢性期 看護活動論	急性期 看護活動論	英語VI	リハビリテーション 看護活動論
4限	人間行動論				

9:30



授業ではグループでディスカッションすることも

10:30



コミュニティスペースで友だちと予習中

かわいいイスがたくさんあります!

12:00



学食メニューは栄養バランスもバッチリ

14:00



医学図書館は24時間オープンでとても便利

17:00



夕方から附属病院で看護のアルバイトをしています

勉強になります!

大学向かいのカフェ「ダモンデ」が気に入り、味噌かつプレートがオススメです!



看護学科

教員 & 卒業生メッセージ

教員メッセージ

社会全体を見通せる、視野の広い学生を育てたい



波崎 由美子 教授
母子看護学・助産学

◆
これからの医療は様々な専門領域のスタッフが力を合わせてチームで取り組むことが必要です。いくつかの科目は、医学科・看護学科の学生と一緒に授業を受けるので、そこで横のつながりができています。附属病院スタッフと教員が連携してカリキュラムや実習メニュー作りも進めています。4年次には、新たに「看護技術実習」というこれまでの実習を総括する科目をカリキュラムに取り入れました。実習場所は自分で選び、実習内容も自分で組み立てます。初めての試みで苦労もあると思いますが、どんな成果が生まれるか楽しみです。

看護師の活躍の場は病院だけではなく、地域や災害の現場など多岐に渡ります。学生の皆さんには4年間の学びの中で、様々な人と関わり、広い視野を持ち、何かを成し遂げられる力を身に付けて欲しいですね。

医学部

看護学科

卒業生メッセージ

目の前の患者さんと向き合うことで自覚が生まれ、やりがいが出てきます

村田 美穂さん

福井医科大学医学部(現:福井大学医学部)看護学科 2002年卒業
福井大学附属病院 南5病棟 看護師長

◆
大学院で地域看護を専攻し、地域の事情や介護保険、老老介護など、地域における問題と将来の医療福祉の在り方などを学びました。修了後、附属病院で看護師になりましたが、地域の事情を知る医療従事者が附属病院にいれば、もっと患者さんをうまく地域に返すことができるのではないかと気づき、地域と附属病院をつなぐ存在を目指してきました。現在は師長として、スタッフの働きやすさも大切に考えた環境づくりを進めています。看護の仕事は辛いこともありますし、決して楽ではありませんが、必ず喜びもついてきます。患者さんのために何かができたといいこともありますし、自分自身の成長が客観的に感じられることも大きな喜びです。変革の時代にあって、将来も見据えながら、その場で何が良いかを見極められる判断力も求められています。



大学院

医学系研究科

統合先進医学専攻(博士課程)

世界レベルで活躍できる 優れた創造性と研究・開発能力を育む

「医科学」「先端応用医学」「地域総合医療学」の3コースで、高度な知識及び科学的・論理的思考に基づき、獨創性・創造性に優れた研究を遂行し、国際的にも活躍できる自立した研究者、各診療分野で優れた臨床研究能力と先端的で高度な医療技能を備え、高い倫理観と研究マインドを持った臨床医、及び地域に貢献できる臨床研究能力や教育的指導力を備えた質の高い総合診療医、ER救急医、家庭医を養成します。



看護学専攻(修士課程)

看護学の基盤となる幅広い知識と 技術の修得と実践、研究能力を育む

幅広く高度な看護理論、技術を持ち、看護職のリーダーとなる人材や、指導的役割を担う優れた教育・研究者、および国際社会に貢献できる人材を育成します。看護大学卒業者、および3年以上の経験を持つ看護師・保健師・助産師を対象に、専門看護師(CNS)の教育課程を選択することのできる「災害看護学」コース、「がん看護学」コースを設置しています。平成30年度からは「老年看護学」コースも設置予定です。



看護キャリアアップセンター

大学院医学系研究科に附属する看護キャリアアップセンターは、変動する社会環境の中で、高度に専門化する医療・看護の社会的ニーズに応え、より質の高い看護ケアを提供するため、看護職のキャリアアップ支援に向けた教育を目指しています。看護師の生涯学習の支援と看護実践能力の開発を目的とした「人材育成担当」、高度化、専門分化する現場で必要な熟練した看護知識・技術の提供を目的とした「認定看護師担当」の2部門体制でそれぞれ教育を行っています。



5大学大学院連合小児発達学研究所 福井校

福井大学では、平成23年度に開設した「子どものこころの発達研究センター」と附属病院の「子どものこころ診療部」を中心に、平成24年度に大阪大学を基幹校とする「連合小児発達学研究所」に参画し、大阪大学大学院「大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所」福井校を開校しました。「教育」「研究」「診療」を3つの柱として、自閉スペクトラム症など、子どものこころの問題に対して専門的に取り組む体制が整っています。



附属病院

最先端の医療を実践し地域医療の充実と優れた人材育成への貢献を目指す

附属病院は600床を有し、28の診療科、4つの中央診療施設、12の特殊診療施設、13の部・センターからなる県内唯一の特定機能病院です。併設する高エネルギー医学研究センターとともに、一般の医療機関では実施することが難しい専門的な診療や先進医療について、研究・実践しています。また、基本理念である「最高・最新の医療を安心と信頼の下で」を実現するために、平成22年度から病院再整備事業が始まり、平成26年9月に新病棟がオープンしました。病院再整備事業は、基本理念「優れた地域医療人を輩出するハイクオリティメディカルセンター」のもと工事が進められ、平成30年夏頃の完成を目指しています。



病院再整備の基本理念

【病院の理念】最高・最新の医療を安心と信頼の下で

診療

優れた地域医療人を輩出する ハイクオリティメディカルセンター

充実した医療環境の下で、医療従事者が最先端の機器や技術を駆使しながら、診療、教育、研究を実践し、そこで磨かれた先端医療技術や研究成果を、地元はもとより広く国内外に発信することを強力に後押しします。

研究

教育

快適・安全な医療空間の提供

プライバシーに配慮した療養環境の構築、患者・家族ニーズに対応したサービスの提供、医療事故・院内感染防止体制の強化を図り、患者さんには今まで以上に快適・安心な入院生活を提供します。

揺るぎなき地域診療拠点の構築

病棟は、フロアごとの臓器・疾患機能別センターとし、集学的診療体制による治療効果の向上、急性期医療やがん拠点病院として、機能・連携強化、災害に対する強化を図り、地域医療の中核として診療機能の充実を図ります。

福井ブランドの先進医療の 開発・実践

高度画像診断や低侵襲医療の開発・実践、がん・生活習慣病・生活機能病の先進的臨床研究を推進。厚生労働大臣が承認する先進医療の承認拡大を目指します。

堅固な経営基盤の構築

物流や医療従事者の職場環境を整え、経営基盤を確立し、患者さんによりよい医療を提供します。

実践重視型教育環境の充実

専門医や学生の研修・実習スペースや電子カルテを活用できる環境などを整備し、教育・研究の充実を図ります。

附属病院

福井メディカルシミュレーションセンター

地域・在宅医療から先進医療まで 様々な医療ニーズに対応できる医療者を養成

「福井メディカルシミュレーションセンター」を臨床教育研修センターに併設。最新のシミュレーターを用い、地域・在宅医療から先端医療まで様々な医療ニーズに対応できる医療者を養成することを理念としています。各種シミュレーターを活用

して、大学病院としての高度先進医療を繰り返し学ぶことができ、かつ地域の病院として在宅医療を学ぶことも可能です。多職種が連携したトレーニングを行うこともできます。



内視鏡的外科手術のトレーニング



気道確保のトレーニング(ビデオ咽頭鏡)

地域医療を支える救急総合医の育成

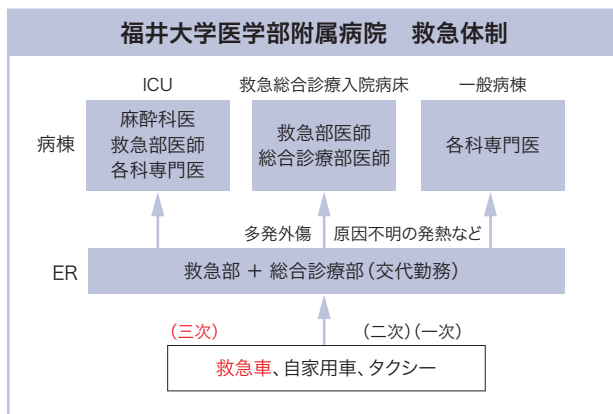
地域医療のリーダーを育て 積極的な全国発信で人材育成に貢献

全国に先駆けて救急部と総合診療部を一体化し、全国で稀な一次救急から三次救急まで全ての救急患者を受け入れる北米型(ER型)救急体制を平成12年に導入しました。救急部では初期研修医や看護師が実践的な教育を受けることができ、研修医の場合、子どもから老人まで、精神疾患から外傷まで、軽症から重症まで多種多様な患者さんを診療することで、

総合的な診断力を養えます。また、消防、警察、行政などさまざまな職種の人たちとも連携するため、医療の知識や技術だけでなく社会性を培う訓練にもなり、人間としての成熟を促します。これは看護師も同じです。当院で実践的な研修を積んだ医師や看護師が各医療機関で活躍すれば、地域の救急医療体制も自ずと充実します。



救急搬送口



パートナーシップ・ナーシング・システム (PNS) による看護体制

入院患者さんへの安全で 質の高い看護と看護師教育のために

附属病院では、本院看護部職員が自ら開発した最新の看護方式「パートナーシップ・ナーシング・システム (PNS)」を平成21年度にスタートしました。副看護部長を中心としたグループを構成し、パートナーとなった看護師同士が対等な立場で相互に補完・協力し合い、質の高い看護を患者さんに提供して

います。その成果と責任をチームで共有することにより、「気づく力と自発性」「迅速・適切」「看護品質の維持・管理」の追求を、「協働」「強い組織づくり」「やりがい」につなげ、「人にやさしい看護」「パートナーを思いやる心」を育てています。



2人1組での看護体制



医療職を目指す高校生のための外科手術体験セミナー

高校生が最先端の外科医療を体験し、医療への関心や理解を深めるための試みとして、平成19年度から毎年開催しています。最新の内視鏡外科手術シミュレーター操作による胆嚢摘出の模擬手術や超音波凝固切開装置（超音波メス）による鶏肉の切開など7種類のプ

ログラムを用意。高校生には外科医師の仕事を体験する機会となり、指導した医療従事者には、初心に帰り、知識や技術を体系的に教えることの大切さを再確認する貴重な場となっています。



参加した高校生たち



手術用の縫合糸を用いた縫合と結紮（けっさつ）体験

工学部

School of
Engineering

安全・安心社会の創造のための モノづくり、コトづくり、ヒトづくり

私たちの暮らしを支える科学技術はすべて工学に基づいています。工学は人類の豊かな暮らしを創造するための学問です。本学部は安全・安心な社会の実現に向けて、「モノづくり、コトづくり、ヒトづくり」を進めます。最先端の専門知識や技術に加え、分野を横断した総合的な実践力と高い倫理観を身に付ける教育を行います。世界の人々と協働して夢を描き、夢を実現する高度専門技術者「GLOBAL IMAGINEER」を育成し、地域と世界の発展に貢献します。



入学者受入の方針

Admission Policy

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

工学は、人間社会の持続的発展を可能にするための学問体系です。工学部では、基礎的な知識・教養と高度な専門能力に加えて、創造力、評価力、自己学習力およびコミュニケーション能力を併せた総合能力を持つ技術者・研究者を養成します。また、地域社会と国際社会の豊かな発展に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元します。

求める学生像

- ① 基礎学力があり、チャレンジ精神にあふれる人
- ② 科学技術を通して国際社会で活躍したい人

教育課程の編成・実施の方針

Curriculum Policy

専門的知識・能力に加え、工学で求められる総合力と資質を有する高度専門技術者を育成するため、以下の方針に沿って教育を行います。

- ① 工学の基礎となる数学や自然科学にかかわる知識を身に付けさせる。
- ② 工学の各分野における専門的知識・能力を身に付けさせる。
- ③ 多様な学問分野にかかわる幅広い視野を獲得させる。
- ④ 創造力、自己学習力、問題解決能力、およびコミュニケーション能力を併せた総合力を身に付けさせる。
- ⑤ 技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解させる。

学位授与の方針

Diploma Policy

工学部では以下のような卒業生を社会に送り出します。

- ① 基礎的な知識・教養、および専門的知識・能力を有している。
- ② 創造力、自己学習力、問題解決能力、およびコミュニケーション能力を有している。
- ③ 高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解し、幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。

未来の社会を支える「工学」の世界



工学部

ピックアップ

分野横断型で学び
柔軟で幅広い視野を持った
GLOBAL IMAGINEERへ

5 学科

GLOBAL IMAGINEER
(グローバルイマジニア)とは

心に夢を描き (Imagine)
かたちにできる技術者 (Engineer) を
「GLOBAL IMAGINEER」という
言葉で表現しています。

機械・システム工学科

安全・安心な社会の創造および革新的
ものづくりに貢献できる技術者

機械工学コース

ロボティクスコース

原子力安全工学コース

電気電子情報工学科

持続可能な低炭素社会や安全・安心な情
報社会という未来社会の基盤を築く技術者

電子物性工学コース

電気通信システム工学コース

情報工学コース

10年後はグローバル社会で活躍する技術者に

ケース 1

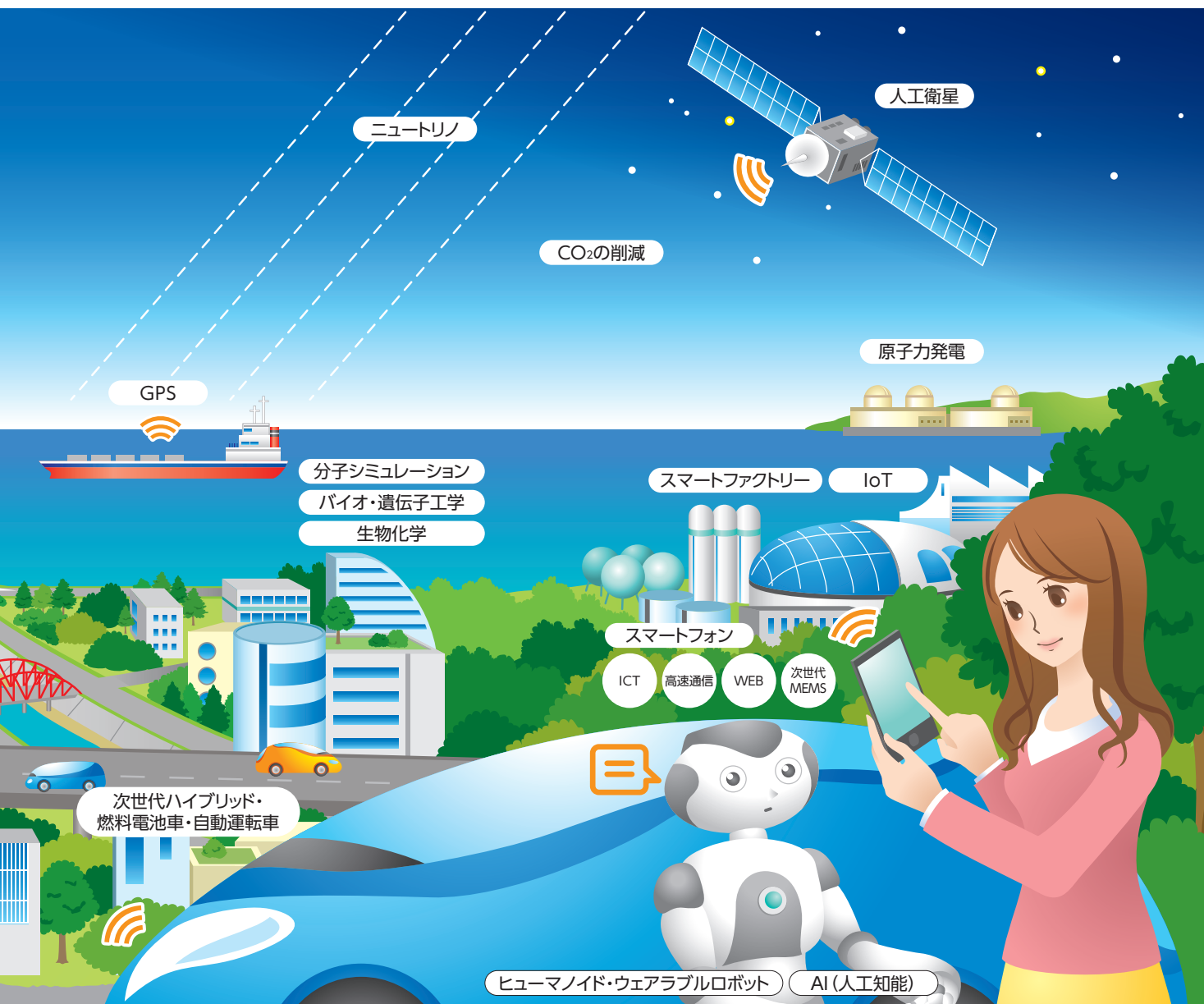
- ・地元企業に勤務
- ・海外現地法人に勤務経験
- ・海外へ月1回出張
- ・毎日現地工場と英語でメール



ケース 2

- ・大手企業に勤務
- ・設計開発者
- ・スタッフは外国人
- ・コミュニケーションの指示は英語





建築・都市環境工学科

安全・安心な社会生活環境の実現に貢献する実践力のある技術者

建築学コース

都市環境工学コース

物質・生命化学科

安全・安心で持続可能な社会の創造に貢献する実践的の化学系技術者

繊維・機能性材料工学コース

物質化学コース

バイオ・応用医工学コース

応用物理学科

物理の世界を探索し、次世代の技術発展へとつなげる技術者

- ・自然科学の基礎を学び、工学への応用を考えます
- ・物理学を中心に広範な自然科学分野を扱います

工学部

ピックアップ

ケース 3

- ・企業で研究開発者として従事
- ・情報収集、発信のため国際学会に参加
- ・研究成果を海外での生産へ
- ・海外現地ニーズ調査



ケース 4

- ・外国系企業勤務
- ・海外ランチ責任者
- ・市場調査
- ・新規事業開拓



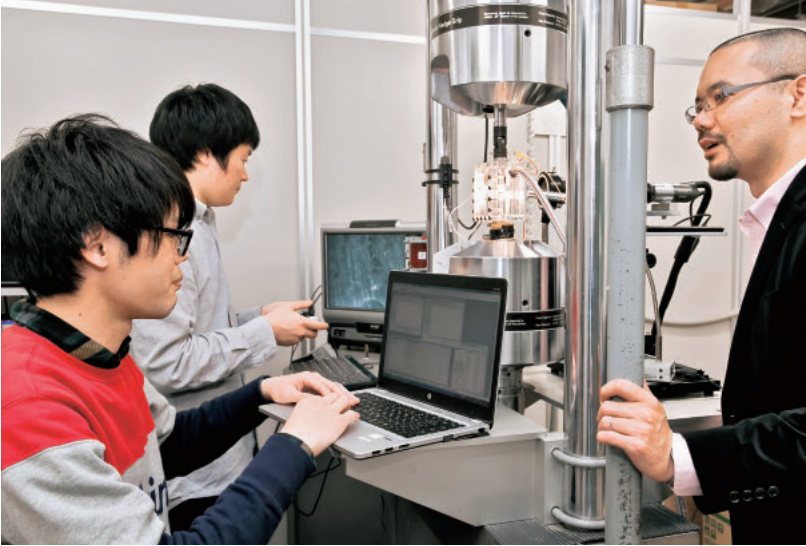
ケース 5

- ・博士号取得
- ・企業で高度専門職として従事
- ・企業研究者としてだけでなく国際的な事業展開にも関与
- ・新産業創出



機械・システム工学科

未来の暮らしを創造する機械・システムの領域は、高度化、知能化、精密化が進み、多種多様な分野の融合で技術革新が続いています。機械工学を中心にエネルギー、材料物性、ロボット、計算機など幅広い分野を横断した専門知識を身につけ、安全・安心な社会を持続的に構築できる人材を育成します。また、3年次からは「原子力安全工学コース」にて原子力工学を学ぶこともできます。



コース紹介

機械工学コース

環境と調和した社会を実現するために、ものづくりのキーテクノロジーにハードとソフトの両面からアプローチします。

- 「材料」「設計加工」「熱・流体システム」「計測制御」を幅広い基礎から学習

ロボティクスコース

人工知能 (AI) やヒューマノイドを創り出す人材を育成します。

- 機械・電子・情報などの基礎から応用までを統合した未来志向の「ロボット学」
- コンピュータ演習や「ロボット工房」で技術を磨き、最先端のソフトやハードを研究

原子力安全工学コース

原子力技術だけでなく幅広い工学分野に通用する知識が身につきます。

- 原子力エネルギーと放射線の基礎を学習
- 県内の原子力施設を活用し、安全・安心に基づく基礎研究 (3年次: 敦賀キャンパス)

1年～2年

基礎科目を共通化し、3コース共通の分野横断的な専門導入科目を必修化します。

共通必修

3コース共通専門導入教育、創成実習、プログラミング基礎、数学、物理、外国語

指定必修、選択必修

メカトロ系科目、計測・制御系科目、構造・エネルギー系科目

2年～3年

2年終了時にコースを選択、他コースの科目も履修できます。

機械工学系専門科目

加工学、機械要素設計、エネルギー変換、流体機械、生産システム工学、メカトロニクス

ロボティクス系専門科目

ロボットメカニズム、ロボットビジョン、プレインマシンインターフェース、自律システム、ロボット制御論

原子力安全工学系専門科目

原子力防災論、廃止措置工学、原子炉物理学、原子炉制御工学、原子力プラント工学、核燃料サイクル工学、放射線化学・生物学

4年

研究室に配属となり、専門性を高めます。異分野の知識も取り入れて卒業研究を行います。

機械工学コース

ロボティクスコース

原子力安全工学コース

安全性の確保には、高い専門性だけでなく、広い視野が必要です。柔軟な思考力と確かな専門性を持った技術者を輩出します。

卒業後の進路

■大学院進学

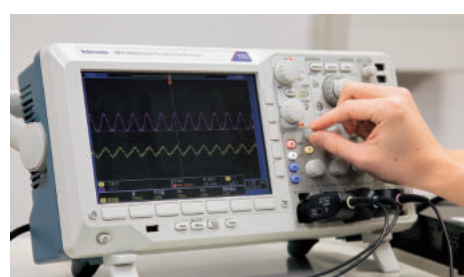
- 福井大学大学院 工学研究科 (博士前期課程 / 博士後期課程)
- その他工学系大学院

■想定される就職先

- 電力会社 ●機械系・電気系メーカー ●ソフトウェア系企業
- メカトロニクス系企業 ●自動車産業 ●重工業系企業
- 研究機関 ●官公庁 ●電気電子系企業 など

電気電子情報工学科

電気工学に始まり、歴史とともに分化・発展してきた通信工学、半導体工学、計算機工学、情報工学。本学科は、現代社会を支えるこれらの分野をカバーし、サイバー空間でモノ・コト・ヒトがネットワーク化される「第4次産業革命」をけん引する先駆的な研究者・技術者を養成します。安全・安心な社会を創造するための「電気・通信設備、情報セキュリティ技術」、持続可能な低炭素社会を実現するための「デバイス技術や制御・伝送システム」などを体系的に学ぶことで、分野横断的な技術力と高い専門性を身につけることができます。



コース紹介

電子物性工学コース

電磁気学や物理学を基盤とした研究を行います。

- 量子エレクトロニクス、固体電子論、半導体工学
- 先端的な電子材料・デバイス、量子エレクトロニクス、光エレクトロニクス分野

電気通信システム工学コース

電磁気学や物理学を基盤とした研究を行います。

- 情報通信工学、システム制御工学
- エネルギー変換に関する新材料・デバイス開発
- 自然エネルギー利用による電力系統の高効率なネットワーク構築

情報工学コース

アルゴリズムを基盤とした「情報工学」と「メディア工学」を横断して学び、研究を行います。

- 情報・通信に関するハードウェアならびに基本ソフトウェア
- コンピュータグラフィックスやデータベースなどの応用ソフトウェア
- 映像・音声などのマルチメディア情報処理

1年～2年

基礎科目を共通化し、3コース共通の分野横断的な専門導入科目を必修化します。

共通必修

3コース共通専門導入教育、数学、プログラミング基礎、離散数学、英語、電磁気学基礎

専門基礎および学科・コース共通科目

電磁気学・物理学を基盤：電気回路、電子回路、電磁気学、量子力学
アルゴリズムを基盤：論理回路、コンピュータアーキテクチャ、データ構造とアルゴリズム
両者にまたがる：フーリエ解析、情報理論

2年後期～3年

2年後期終了時にコースを選択他コースの科目も履修できます。

電子物性工学系専門科目

固体電子論、半導体工学、量子エレクトロニクスなど

電気通信システム工学系専門科目

コンピュータネットワーク、制御理論、電気エネルギー発生など

情報工学系専門科目

データベース、コンピュータグラフィックス、オペレーティングシステムなど

4年

研究室に配属となり、専門性を高めます。異分野の知識も取り入れて卒業研究を行います。

電子物性工学コース

電気通信システム工学コース

情報工学コース

電気・電子、情報分野の急速な発展に対応するには、狭い領域における高い専門性だけでなく、分野横断的な知識が必要です。

卒業後の進路

■大学院進学

- 福井大学大学院 工学研究科 (博士前期課程/博士後期課程)
- その他工学系大学院

■想定される就職先

- 電気機器・部品 ●電力・鉄道 ●機械
- 情報通信 ●情報サービス ●設備工事
- 建設 ●官公庁 など

建築・都市環境工学科

東日本大震災からの復興、続発する豪雨等の自然災害、社会インフラの老朽化、人口構造の変化など社会が直面している課題を踏まえ、地球環境や社会の変化による新たなニーズに柔軟、適切に対応した教育・研究を進めます。「安全・安心なインフラとまちづくり」、「快適に住み続けられる地域社会の創生」を基本に、建築と土木の専門性に根ざして、社会基盤の維持管理と保全、国土の強靱化、建築デザインやまちづくりなど新しい価値の創造、少子高齢社会への対応、環境調和型の住空間の構築を学びます。



コース紹介

専門性を身につける2つのコース

2年後期に「建築学コース」と「都市環境工学コース」のいずれかを選択し、建築・都市環境に関わる最先端の研究・設計を通じて、高い専門性を身につけます。4年次には、建築構造工学、建築設計、地域都市計画、環境防災工学分野のいずれかの研究室に所属します。

建築学コース

生活空間を構築するための関連分野の専門知識を習得し、建築計画・設計・施工・維持・管理技術を学びます。

- 建築学と構造
- 材料・施工
- 環境・設備
- 計画・設計
- 歴史・意匠

都市環境工学コース

社会のインフラに直結する関連分野の専門知識を習得し、計画・設計・施工・維持管理を学びます。

- 土木工学と構造工学
- 水理学
- 地盤工学
- 土木計画学
- 材料学
- 環境工学

1年～2年前期

基礎科目を共通化し、2コース共通の分野横断的な専門導入科目を必修化します。

共通必修

構造力学、建築一般構造、材料学、測量、計画基礎、図学・製図基礎、都市計画、2コース共通専門導入教育、情報処理基礎、数学、物理、外国語

2年後期～3年

2年後期にコースを選択
他コースの科目も履修できます。

建築学系専門科目

建築構造・材料、建築計画・意匠、建築環境・設備

都市環境工学系専門科目

社会基盤・土木環境、地盤・防災、地域都市計画

4年

研究室に配属となり、専門性を高めます。
異分野の知識も取り入れて卒業研究・卒業設計を行います。

建築構造工学系

建築設計系

環境防災工学系

地域都市計画系

建築学と都市環境工学を横断的に学ぶことで広い視野を持つことができ、建築・都市環境に関わる最先端の研究・設計を実施し、高い専門性を身につけます。基礎学力、広い視野、高い専門性によって、新たに生じる社会生活環境の課題に対応できるような実践力を習得します。

卒業後の進路

■大学院進学

- 福井大学大学院 工学研究科
(博士前期課程/博士後期課程)
- その他工学系大学院

■想定される就職先

- 建設会社
- 住宅関連会社
- 設計事務所
- コンサルティング会社
- 総合エンジニアリング会社
- 設備関連企業
- 建設資材関連会社
- 官公庁、旧公団系企業 など

物質・生命化学科

物質の構造や性質、その反応に関わる法則などを探究する物質化学、生命科学の基盤である生物化学、物理法則を基礎として材料を取り扱う材料工学に関する専門知識を学びます。繊維をはじめとする高性能・高機能材料の創製や関連科学技術の開拓、医学・工学の融合分野へのバイオテクノロジーの展開などを通じて身につけたスキルや知識、高い倫理観を駆使し、人類の健やかな生活と持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる研究者および専門技術者を養成します。



コース紹介

繊維・機能性材料工学コース

基礎研究と産業の両面に応用できる最先端の繊維・材料研究を行います。

- 有機化学、無機化学、高分子工学、生物工学
- 航空機の部材に使用される炭素繊維
- 様々な高分子材料に高い性能と機能をもたせる分子材料の設計

物質化学コース

ナノテクノロジーなどの新しい技術開発を行います。

- 有機化学、無機化学、分析化学、高分子化学
- 物質の構造や性質、その反応に関わる法則を探究

バイオ・応用医工学コース

化学と生命科学の領域を横断しながら、医学と工学の連携に貢献する研究を行います。

- 遺伝子工学、酵素工学、細胞生物学、生物工学、微生物学
- 遺伝子レベルでの生命現象の解析から有用物質の工業生産まで、バイオテクノロジーに関する知識と技術を習得

1年～2年

基礎科目を共通化し、3コース共通の分野横断的な専門導入科目を必修化します。

共通必修

3コース共通専門導入教育、創成実習、基礎実験、基礎化学、有機化学、無機化学、物理化学、分析化学、化学工学、生物化学、数学、物理、外国語、情報処理基礎

2年後期～3年

学科内の複数のコースにまたがる科目を設定。他コースの科目も履修できます。

繊維・機能性材料工学系専門科目

繊維科学概論、繊維機能加工学、固体物理学、先端複合材料

物質化学系専門科目

有機化学、無機材料化学、高分子化学、高分子合成、反応工学

バイオ・応用医工学系専門科目

遺伝子工学、酵素工学、細胞生物学、生物工学、微生物学

4年

研究室に配属となり、専門性を高めます。異分野の知識も取り入れて卒業研究を行います。

繊維・機能性材料工学コース

物質化学コース

バイオ・応用医工学コース

化学を中心として、材料系と生物系を融合した広い視野と確かな専門性を持った実践力ある技術者を育成します。

卒業後の進路

■大学院進学

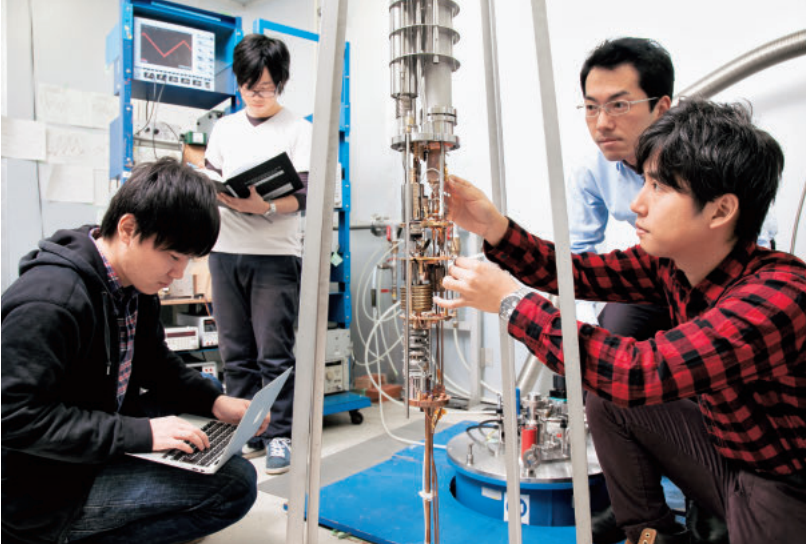
- 福井大学大学院 工学研究科
(博士前期課程/博士後期課程)
- その他工学系大学院

■想定される就職先

- 化学・材料系企業 ●繊維系企業
- 食品系企業 ●医薬品・医療系企業 など

応用物理学科

近年の技術革新の進展により、基本原理に立ち返って科学を理解し、応用できる能力がますます重要になっています。応用物理学科では、物理学とともに、数学や化学、計算科学を中心とした理工学を総合的に学習し、その基礎を固めた上で、実践科目や卒業研究において理工学の応用・先端領域や物理学の最新理論を学びます。こうして物理学を身につけた技術者の強みである、「物事を根本から考える力、数理的思考力、物理的思考方法に基づく判断力」が養われます。本学科ではこのような教育を通して、新しいものづくりに挑戦できる人材、安全・安心社会の構築に必要とされる人材、ものづくりのわかる理科教員を養成します。



学科のポイント

自然科学の基礎を学び、工学への応用を考える

この学科ではコースを設置せず、物理学、数学、化学といった自然科学の基礎を幅広く学び、論理的な思考力を身につけ、理論に基づいた実験も行います。

- 1年次から3年次にかけて、力学、電磁気学など物理学の基盤を学習
- シミュレーションや応用物理学実験などの演習を重ね、工学への応用を探究

物理学を中心に、広範な自然科学分野を扱う

素粒子の構造説明や宇宙線の探索に関する基礎科学の成果なども新たな工業技術に結びつけ、イノベーションを目指します。

- 4年次には「数理・量子科学(理論物理・数学)」「物性・電磁物理(実験物理)」「分子科学(化学)」の3講座と「遠赤外領域」、「附属国際原子力工学研究所」のいずれかで卒業研究を行います

1年～3年

基礎科目を共通化、専門を学ぶための基礎必修科目群を履修します。工学的実践応用教育を実施します。

共通必修

数学、コンピュータ入門、化学基礎、基礎物理実験、外国語

基盤〈物理学〉

力学、電磁気学、量子力学、統計力学

実践〈実践応用教育〉

物性物理学、電気電子回路、シミュレーション、応用物理学実験、演習、講究

4年

物理学を基盤とした基礎力に基づき、モノづくり/コトづくり/ヒトづくりといった応用力を身につけた理工系人材を育成

卒業研究

応用物理、基礎物理、分子科学(理論分野、実験分野)

卒業後の進路

■大学院進学

- 福井大学大学院 工学研究科 (博士前期課程/博士後期課程)
- その他工学系大学院

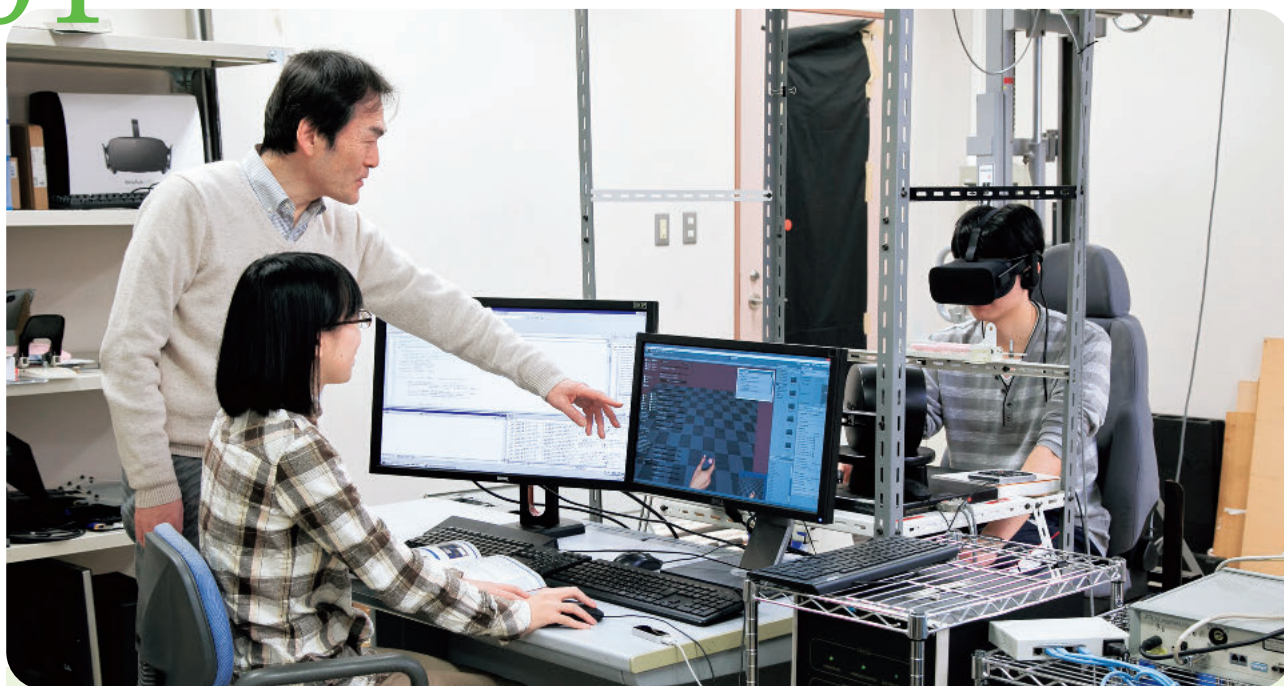
■想定される就職先

- 物理系企業 ● 化学・材料系企業 ● 情報通信企業
- 中学校・高校教諭 など

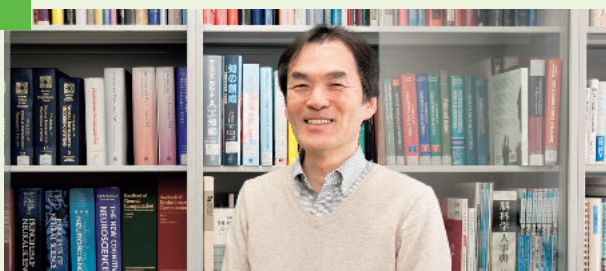
01

機械・システム工学科

研究室紹介



Welcome to My Lab ● 人間学習システム研究室

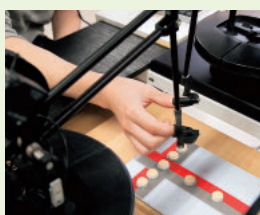


人間の到達する仕組み

人間が新しい環境に適応できるのは、「学習する」能力を備えているからです。この優れた脳の学習メカニズムを解明することができれば、人間と同じように「到達する」ロボット、より人間らしいヒューマノイドが実現できるのではないのでしょうか。私たちのアプローチでは、人間の認知と運動やその学習過程の計測に始まり、次の段階にはそれらの仕組みを説明するモデルや計算理論を構築し、これらの妥当性を確かめることにより脳の学習メカニズムを明らかにしています。このように、人間の脳も一定の原理や理論に基づいて働いているのです。これらの研究が進んでいけば、患者さんのリハビリテーションなどへの支援、医療や介護などで活躍するロボットの実現、脳と機械をつなぐブレイン・マシン・インタフェース (BMI) など、応用の道が広がっていくと確信しています。

片山 正純 准教授

専門分野: 計算論的神経科学、認知科学



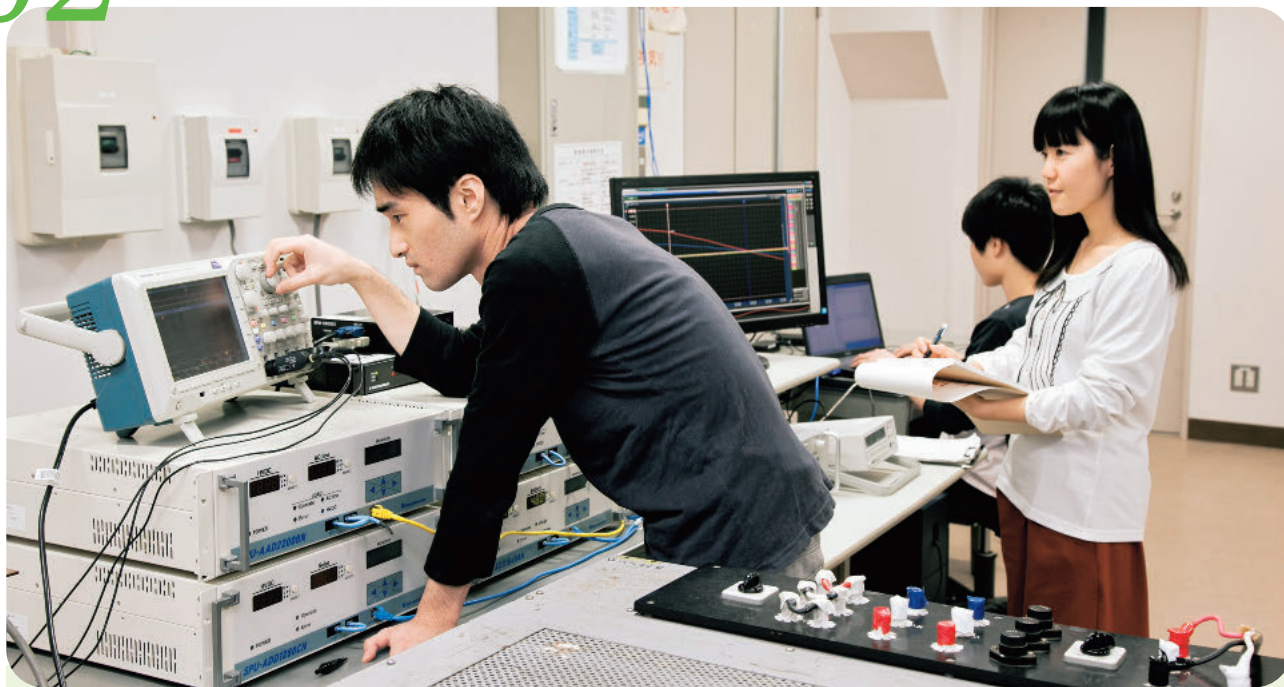
My Reserch

秋丸 雄祐さん

博士前期課程1年 / 宮崎県立宮崎北高等学校出身

私達は初めて見たコップでもすぐに“コップ”だと分かります。これは、小さい頃から繰り返しコップを使っているうちに、コップとはどういう物なのかを学習しているからです。この学習メカニズムにおいて、私たちは、脳の中に存在している身体の実現が重要な役割を果たしていると考えています。手・指の運動を計測するグローブを身につけ、変形した手を画面に表示して繰り返し手を動かすことにより、変形した手の表現を学習します。学習した後はより大きな物を“コップ”として認識するように変化します。このように、行動だけでなく認知においても脳内の身体表現が重要な役割を果たしています。こうした脳の学習メカニズムが解明できれば、病気などで失われた機能の回復などにも活用できるのではないかと考えています。





Welcome to My Lab ● 電力システム研究室



最適な電力マネジメントを広い視点で追究

再生可能エネルギーの普及など電力を取り巻く環境が変化する中で、電力の需給バランスを維持しつつ運用コストを低減する次世代の電力マネジメントシステムが求められています。研究室では、模擬的な電力系統設備を用いた実験とコンピュータによるシミュレーションを通じてこれらの課題について研究を進めています。私自身のテーマは最適化理論の適用です。例えば、国内のどの発電所のどの発電機をいつ立ち上げてどれだけ出力するか、技術的な条件や社会的な制約を考慮してモデル化し、最適な解法(アルゴリズム)の選択によって解くことができれば、燃料消費量を「国全体として」最小にする運転計画が得られます。理論だけで発電所を動かせるわけではありませんが、方針を決めたり、説明するときの裏付けになります。

高野 浩貴 講師

専門分野:電気電子工学、電力マネジメント

My Reserch

奥村 明日香さん

電気・電子工学科4年次/豊田工業高等専門学校出身

現在の電気料金は過去のデータに基づき、様々な事情を考慮して決められています。このような経験的な事情ではなく、「理論」に基づいて電気料金を算出できれば、ステークホルダーがより納得できる料金システムの提案ができるのではないかと思います。私は、電力会社や消費者など電気に関わる社会全体の満足度を関数化し、これが最大になるような電気料金の算出法を研究しています。電気料金のようにたくさんの人がそれぞれの事情で関わっているものに、現実の場面により近いパラメータ(変数)を設定し、関数化して最適な答えを導く、話し合いだけでは解決できないことを解決する手法を探ることは面白い作業です。



03

建築・都市環境工学科

研究室紹介



Welcome to My Lab ●都市建築設計研究室



人口減時代の環境デザインを考える

日本の多くの地方都市の中心市街地では駐車場や空き店舗が増加しています。郊外の住宅地でも空き地や空き家の増加が顕著です。私たちはこうした状況に対し、有効活用されていない「低未利用地」に焦点を当てた研究を行っています。研究室の外に飛び出して、福井市の中心部「新栄地区」の駐車場にウッドデッキを敷き、「新栄テラス」という賑わいの場を創出しました。2年間の社会実験の中でまちなかの回遊性向上や賑わい創出のための様々な企画を実施し、現在は地元店主などを中心に活動が継続されています。空き地や空き家・空き店舗の増加は否定的に捉えられがちですが、工夫次第では住環境や都市をより良くする資源にもなり得ると思います。福井から新たなまちづくりのモデルを発信できればと思っています。



原田 陽子 准教授

専門分野: 居住地計画、環境デザイン

My Reserch

堀次 宏暢さん

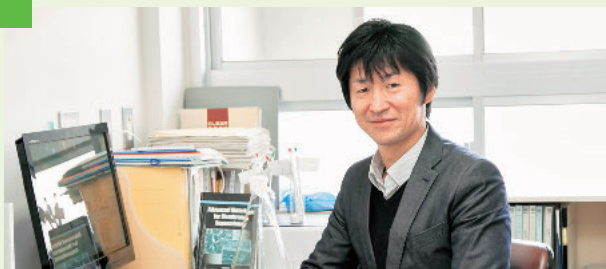
建築建設工学科4年次/姫路市立姫路高等学校出身

昔ながらの路地や長屋が残る大阪・空堀地区のまちなみの調査研究に取り組みました。こうした活動を通して、建物単体ではなく立地や社会的背景を含めた複合的な視点で建築を追求することに魅力を感じました。私自身はこの4年間で、建築設計や空間造形デザイン関連のコンペに挑戦し、第21回ユニオン造形デザイン賞・優秀賞などを獲得しました。現在は空堀地区をモデルにした卒業設計に取り組んでいます。住民が所有地を少しずつ分け合って形成している路地空間などを活用した集合住宅を計画しています。





Welcome to My Lab ● 高分子合成化学研究室



優れた機能の新たな高分子を創る

世の中にあるほとんどの材料は金属か高分子か無機物です。高分子は小さな有機化合物が多く結合してできる大きな分子で、プラスチックやビニールなどが代表的なものです。当初は安価で軽い材料という位置付けでしたが、近年は合成の技術が進歩し、優れた機能を持つ高分子が作られるようになりました。私の研究室では、低分子の有機物をつなげる重合(じゅうごう)反応という方法で「気体を分離する」「光を発する」などの機能を持つ高分子を合成しています。元となる小さな分子から設計できるのが特徴です。気体を分離する高分子は、分子と分子の間に微細な隙間をつくるのが重要で、うまく分子設計することでCO₂を優先的に透過させる特殊なポリアセチレン膜を開発することに成功しました。工場や火力発電所から出る排ガス中のCO₂を分離・回収し、温暖化防止に役立てることが出来ます。

阪口 壽一 准教授

専門分野: 複合化学、高分子化学



研究室で開発したポリアセチレン膜

My Research

稲垣 美紀さん

博士前期課程1年 / 愛知県立西尾東高等学校出身

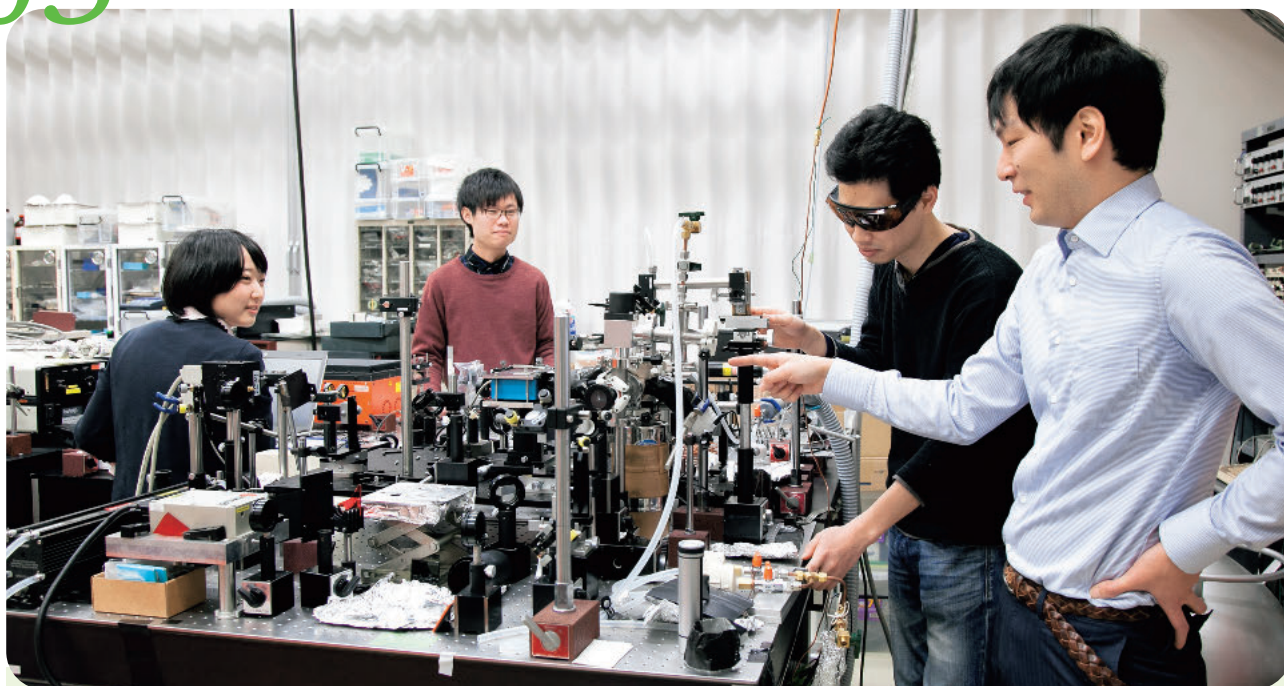
発光する高分子の材料を目指してポリ置換アセチレンの合成を行っています。ポリ置換アセチレンは、単結合と二重結合が交互に連なる「共役系高分子」で、高分子内を電子が移動することで発光します。合成方法に工夫を重ね、うまく反応させて望み通りの構造をつくることにトライする毎日です。発光する高分子はディスプレイへの応用が期待できます。現在の有機EL材料は薄膜化に真空プロセスが必要であるため高コストですが、発光する高分子材料を使うと真空設備は不要で、ウェアラブル端末に絵の具のように塗るだけで極薄のディスプレイが作れます。



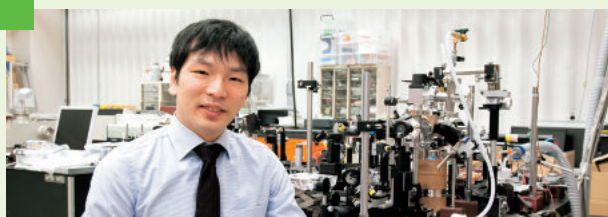
05

応用物理学科

研究室紹介



Welcome to My Lab ● 量子光学・レーザー分光グループ



光の圧力で探る量子の世界

光が物質に及ぼす力「光圧」は、非常に小さな力であるために普通の生活で感じることはありませんがマイクロサイズ以下の物質は、小さいためにこの光圧による影響を無視することができません。この力をうまく使うことによって、マイクロサイズの物質を捕捉、操作することが可能になります。近年、さらに小さなナノメートルサイズの物質の捕捉、操作に挑戦しようとする機運が高まってきています。物質が「量子ドット」と呼ばれる数10ナノメートルのサイズまで小さくなると、粒子と波の性質を併せ持つ量子性があらわれ、粒子が小さくなるにつれて虹のように赤から紫へと発光色が変わっていくなど、おおよそ普通の生活している世界では起こらないようなことが起こり始めます。通常、ナノ物質の観測や捕捉・操作は基盤の上や溶液中で行われますが、これらの手法ではナノ物質が接する環境の影響を大きく受け、量子ドット本来のもつ性質とは異なってしまいます。そこで私たちはナノ粒子を含む微量の液体を噴霧器で分散・蒸発させて、粒子が空気中に浮かんでいるような孤立した状態を作り、外的な影響を全く受けない状態にして、粒子本来の性質や振る舞いを調べたり、光圧を用いて粒子サイズを選別したりする実験に挑戦しています。光圧を用いてナノ物質を操る「光マニピュレーション」と呼ばれる手法で、物理や化学・生物・材料といった分野を横断して挑む、新しい学術領域です。

守安 毅 助教

専門分野：量子エレクトロニクス、テラヘルツ分光、光物性

My Reserch

木南 安寿花さん

博士前期課程2年 / 京都共栄学園高等学校出身

マイクロな物質領域で起こる現象を扱う量子力学は現代科学技術を支えており、これから人類の更なる技術発展を目指すためには、この学問の理解が求められます。私自身は、目に見えない世界で起こる現象の仕組みを知りたいという好奇心から、この研究室を選びました。現在は、粒子表面の環境の影響を排除した場合の半導体ナノ粒子の固有の物性を調べるために、気相中へナノ粒子を長時間分散・浮遊させるために実験装置の開発を行っています。



ライフスタイル

工学部編



畑谷 凜さん
建築・都市工学科1年次
和歌山県立向陽高等学校出身

時間割(1年次後期)

	月	火	水	木	金
1限	共通教養科目	建築計画理論		共通教養科目	科学技術と倫理
2限	英語	共通教養科目	英語	応用線形代数	微分積分II
3限	建築構造基礎 第二	日本語	応用地質学	構造力学第一 及び演習	
4限	確率・統計	設計演習 基礎1			
5限	微分積分ステップ アップ演習1		創成活動	微分積分ステップ アップ演習3	
6限					

8:30

同じ学科の友だちと一緒に通学しています

9:00

数学関連の授業が多いです

11:00

空き時間は図書館へ。1階スペースがお気に入り

15:00

設計演習は熱が入ります

17:00

図書館2階のLDCは英語の本やDVDが豊富です

カバンの中身

コンパクトにまとめています

今日も一日がんばろう!



清長 遼太さん
物質・生命化学科1年次
近江高等学校出身

時間割(1年次後期)

	月	火	水	木	金
1限	共通教養科目	線形代数II		共通教養科目	微分積分II
2限	コンピュータ演習	共通教養科目	生物化学I	無機化学I	物理学A(力学)
3限	有機化学I	日本語	基礎化学実験	科学技術と倫理	
4限		英語		英語	
5限		微分積分ステップ アップ演習2	創成活動	微分積分ステップ アップ演習3	
6限					

8:30

大学近くで一人暮らしをしているのでゆっくり通学できます

9:00

大教室での大人数の授業もあります

12:00

ランチは学食で。メニューが豊富でボリュームもたっぷり

14:00

試験前などは工学部の自習室を利用しています

15:00

授業ではプレゼンをすることももあります

18:00

家庭教師のアルバイトをしています

緊張しました!

お気に入りのカバンです。たっぷり入ります!

卒業生メッセージ

「マツダの走り」を決定づける
制御システムの開発に従事しています。



谷本 拓己さん



田中 義裕さん

幅広く工学を学び、技術を拓く力にする

谷本 拓己さん 工学部 機械工学科(現:機械・システム工学科) 2003年度卒業

田中 義裕さん 工学研究科 博士前期課程 物理工学専攻 2014年度修了

マツダ株式会社パワートレイン開発本部

PT制御システム開発部 第2制御システム開発グループ勤務

広島県にあるマツダ本社のパワートレイン開発本部で、車の心臓部であるエンジンやモーターの制御システムを開発しています。制御システムの開発とは、「エンジンやモーターをどのように動かすか」を決めることです。走行性能や燃費性能といった車のキャラクターを決定付ける重要な仕事であり、お客様の評価にも直結しやすい領域ですので、とてもやりがいを感じています。また、エンジンシステムは多くの領域に影響しているので、自動車全体の広い範囲に関われることが魅力です。

制御システムの開発には、数学、物理学、化学、電気、工学といった幅広い知識が求められます。その中でも、エンジンやモーターで起きている事象を物理現象として捉え、メカニズムを把握することが非常に重要です。大学で習得してきた知識が、日々の仕事のベースになっています。また、工学分野を横断した学びや研究を通じ、様々な視点から物事を考えられるようになったことが、多くの専門分野と関わる自動車開発の第一線で活着していると感じています。

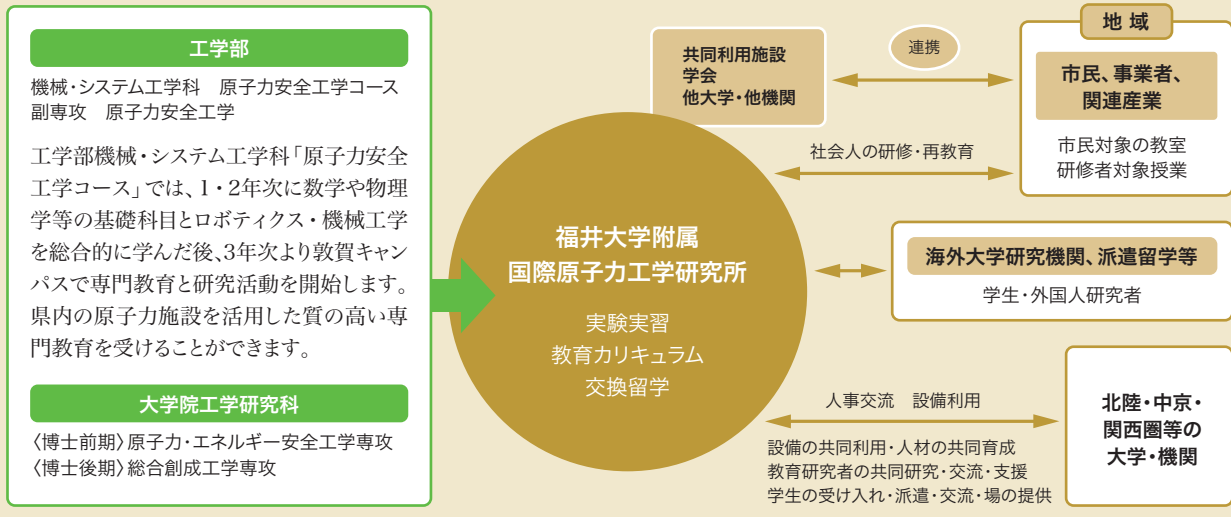
附属国際原子力工学研究所

敦賀キャンパス

Research Institute of Nuclear Engineering



教育・研究環境



敦賀キャンパスでの学び

ここでしか出来ない
経験がたくさん
あります!



研究環境

1年を通じ外国人の研修生や研究者を受け入れており、英語を話すことが日常です。



異分野横断セミナー

各分野で活躍中の国内外の研究者や先輩、民間企業の方が最先端の講演をします。



福島でのフィールドワーク

医学部と連携し福島県川内村で住民への聴き取り、施設見学、放射線測定などを行います。



留学・インターンシップ

国内外の関連施設・研究所や国際機関で経験を積むためのプログラムがあります。



テレビ会議による研究機関交流

テレビ会議で国内外の研究機関と研究の進捗、国際学会での発表の打合せなどをします。



各種研修プログラム

国際機関との連携によるアジア人材育成研修、廃止措置関連の研修などに参加します。



地域との連携

様々な地域の方々と原子力防災について一緒に考える機会が豊富にあります。



奥出 陽香さん
博士前期課程2年

世界トップレベルの原子力研究開発と人材育成

◆ 研究

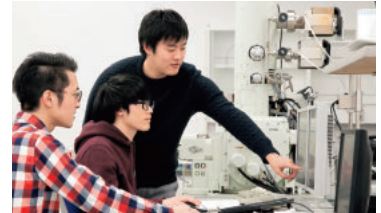
- 福井県嶺南地域の研究機関、民間企業等との共同・協力による、実炉を活用した原子力の基礎・基盤研究
- フランス、アメリカをはじめとする海外の研究機関との活かな学術交流、国際的な原子力安全基盤研究
- 原子力の安全性向上、防災危機管理の向上に役立つ研究

◆ 人材育成

- 原子力に関する学部基礎教育(工学部 機械・システム工学科 原子力安全工学コース)(工学部 副専攻 原子力安全工学)
- 大学院における原子力安全高等教育・研究(工学研究科 原子力・エネルギー安全工学専攻)
- 国内外からの研究者・研究員の受け入れ、県内の原子力施設を活用した質の高い国際的人材育成

◆ 連携・拠点化

- 北陸・中京・関西圏の大学、研究機関との連携
- 原子力施設を核とした研究拠点の形成促進
- 若狭湾エネルギー研究センターや各種ネットワークとの連携
- 地域に開かれた研究所として、講演会、セミナー等を通じた地域貢献



原子炉物理学部門

原子炉プラントの核特性研究を実施する。原子炉内での核分裂分布を理解するために、中性子に対する核データ、輸送方程式の解法、炉物理実験、さらに計算法の検証、不確かさ評価等の研究を行う。安全性に係る炉物理研究により、安全性をより向上させた原子炉プラントの構築に寄与する。

原子炉燃材料部門

核燃料サイクルで用いられる燃料および材料の材料科学的研究や放射性廃棄物の処分処理に関する研究を実施する。様々な原子力システムの燃料、材料および放射性廃棄物の諸特性、それらの機構論的な議論を通して、通常時や事故時の挙動の予測手法の開発を目指す。そのような研究を通じて、より安全で経済的な核燃料サイクルの構築に寄与する。

原子力防災・危機管理部門

原子力の防災・危機管理を進展させ、新たな防災・危機管理技術を開発するため、事故の防止・緩和対策や、災害に強い原子力システムの開発、事故対応策の立案、防災対策の最適化、適切かつ迅速な放射線防護対策、被曝管理の適正化に関する研究を行う。

シビアアクシデント評価	放射線計測・防護
危機管理	基準・規則国際化

Voice

吉村 紘一さん 博士前期課程1年

地元出身で原子力発電の研究は将来の福井に欠かせないと思進路を決めました。次の世代の原子炉として「高速炉」に興味があります。ここでは「もんじゅ」や他の発電所も近く、現場で学べるのが魅力です。将来は今、勉強している原子力の安全解析に関する業務に就きたいです。



熱水力部門

原子炉の安全性に関連する熱水力現象を明らかにするとともに、安全解析手法や二相流シミュレーション手法の高精度化を進めることにより、信頼性の高いプラントシステムや最適なアクシデント・マネジメントの確立を目指し、安全評価と事故の防止・緩和対策に関する研究を進める。

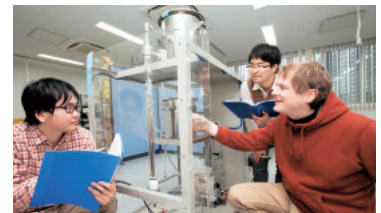
原子炉構造システム・廃止措置部門

原子炉プラントの安全性向上・環境負荷低減を進展させるため、「ふげん」等の廃止措置に関する研究やそこで得られる知見等の体系化、地震や津波による構造システムへの影響解析等、システム設計に生かす研究を行う。

廃止措置	耐震・耐津波
廃棄物処理・処分	システム設計

国際交流・人材育成推進部門

国際的な共同研究を推進するとともに、原子力新興国に対する人材育成・交流を通じて、世界的な原子力の安全性向上に寄与する。



佐藤 優美さん 博士前期課程1年

原子力の研究と言っても、パソコンでシミュレーションをするものや実験が主なものなど様々です。私は学部で材料工学を学び、現在は「燃料デブリ」と呼ばれる核燃料が溶けた後に冷えて固まったものの物性や固さ、強度などを研究しています。留学生も多くグローバルな環境です。



University of FUKUI

Campus Life

文京キャンパス <教育学部・工学部・国際地域学部>

松岡キャンパス <医学部>



新入生オリエンテーション
 入学式
 新入生歓迎行事
 定期健康診断(文京キャンパス)
前期授業開始
 球技大会(松岡キャンパス)
 新入生合宿研修(文京キャンパス)
 留学生オリエンテーション



国際地域学部第1クォーター試験
 小学校・中学校教育実習



前期試験(全学部)
国際地域学部第2クォーター試験
夏季休業
 オープンキャンパス
 インターンシップ
 小学校・中学校教育実習(～9月)
 西日本医科学生総合体育大会

4月

5月

6月

7月

8月

9月

大学祭(文京キャンパス)
 新入生合宿研修(松岡キャンパス)
 定期健康診断(松岡キャンパス)
 御遺骨返還式(松岡キャンパス)

北陸地区国立大学体育大会

サークルリーダーシップ
トレーニング





開学記念日(1日)
後期授業開始
 きてみてフェア
 医学部暁祭(松岡キャンパス)
 合同慰霊祭(松岡キャンパス)
 北陸三県大学学生交歓芸術祭
 留学生オリエンテーション
 就職ガイダンス
 キャンパスイルミネーション
 (文京キャンパス、松岡キャンパス)

冬季休業

学内合同企業説明会
 学位記授与式

10月

11月

12月

1月

2月

3月

国際地域学部第3クォーター試験

後期試験(全学部)
 国際地域学部第4クォーター試験
 春季休業
 医師国家試験
 看護師・保健師・助産師国家試験



福井市中心部に位置します。近くには県立美術館や市立図書館があり県内有数の文教地区です。



**12 学生支援センター/
学生総合相談室**



11 掲示板

授業や課外活動についての大切な連絡が
掲示されます。見落とさないように1日1回
は確認。



2 総合研究棟V(教育学系1号館)

教育学部と国際地域学部がメインで使
用。講義室やホールは、「探求ネットワ
ーク」や「ライフパートナー」の活動場所とし
ても利用。



8 総合図書館 / LDC

→詳細はP.62、P.81参照

専門書のほか、DVDや雑誌も豊富な図書
館。LDCは学生が自立的に語学を学習す
るための施設。



1 正門

大通りを挟んで両側に様々な施設が並ん
でいます。緑豊かなキャンパスです。



9 大学会館

飲食スペースもあり、講義の空き時間の活
用に便利。グローバル・ハブ、キャリア支援
室、国際課、語学センターがあります。



16 総合研究棟III(工学系1号館)

工学部がメインに使う講義室と研究室。
広い敷地に1号棟から3号棟まであります。



15 保健管理センター

福大前西福井駅

えちぜん鉄道



14 課外活動共用棟

部・サークルの活動拠点。学生たちの自由で楽しい活動がここから生まれます。



22 総合研究棟 I

文京キャンパスのシンボリック建物。文理融合による、学部を超えた教育研究の場です。



10 学生食堂 / 売店 / 書店

→詳細はP.63参照

毎日たくさんの学生で賑わう食堂。一部は自習スペースとして、夜10時まで延長して利用することが可能。

- 1 正門
- 2 総合研究棟V(教育系1号館)
- 3 共用講義棟
- 4 総合研究棟VI(教育系3号館)
- 5 教育実践総合センター
- 6 北門
- 7 通用門
- 8 総合図書館/LDC
- 9 大会館/キャリア支援室/国際言語学センター/グローバル・ハブ
- 10 学生食堂/売店/書店
- 11 掲示板
- 12 学生支援センター/学生総合相談室
- 13 総合情報基盤センター
- 14 課外活動共用棟
- 15 保健管理センター
- 16 総合研究棟III(工学系1号館)
- 17 工学部売店
- 18 総合研究棟IV-1(工学系2号館)
- 19 総合研究棟IV-2(工学系実験棟)
- 20 総合研究棟VII(工学系3号館)
- 21 総合研究棟VIII(工学系4号館)
- 22 総合研究棟 I
- 23 総合研究棟II(遠赤外線領域開発研究センター)
- 24 アドミッションセンター/国際センター入試課
- 25 産学官連携本部
- 26 東門
- 27 超低温物性実験施設
- 28 先端科学技術育成センター
- 29 第1体育館/プール
- 30 第2体育館
- 31 多目的ホール
- 32 グラウンド

学生生活のサポートが充実



12 学生支援センター

履修の相談や各種証明書の発行など、学生生活の悩みごとをサポートします。



12 学生総合相談室

学業、将来、人間関係など、あらゆる悩みごと、相談に応えます。



15 保健管理センター

健康相談やカウンセリングなど、こころとからだの悩みをサポートします。

頼りになる学生支援体制

全学での連携体制

学部、学生支援センター、保健管理センター、学生総合相談室が連携し、学業、学生生活、経済面の悩みやさまざまな相談に対応し、快適で充実したキャンパスライフを支援します。

オフィスアワー

全ての教員が学生の相談に応じるための時間(オフィスアワー)を設定しています。たとえば、授業の内容について質問したい先生のオフィスアワーを確認して研究室を訪ねることができます。

助言教員制度

キャンパスライフル全般的学生のさまざまな悩みを、教員が相談相手となり指導し、助言します。



Pick up

⑧ 総合図書館/ LDC

Point
1

居心地の良い空間で 新しい学びのスタイルを提案



主に文京キャンパスの学生が利用する総合図書館は、社会や自然科学、工学分野を中心に、人文・社会系から理工系まで幅広い分野の図書を52万冊所蔵しています。グループで学習するためのスペース、講習会が行える研修室、語学学習用スペースや飲食できるスペースなど設備も充実しています。

閲覧室・書庫

蔵書の他にも、過去の新聞や雑誌のバックナンバー、視聴覚資料などが揃う。県内大学や全国の図書館からの取り寄せもできます。



ラウンジ

庭園を眺めながらくつろげる飲食スペース。新聞、雑誌、自動販売機があり、勉強の合間のひと息つきたい時に便利。



グループ学習室

少人数で話し合いながらの学習に適しています。貸出用PCを使っての学習も可能です。

Point
2

困ったら学生同士 気軽に相談

ラーニング・アドバイザー

大学院生が図書館資料の探し方や勉強の仕方、学生生活の疑問、就職活動の悩みなどについてアドバイスをしています。



「高校で習った微分積分がわからない」「研究室配属が近づいたけど、自分に合っているのはどこだろう？」など、どんな質問にも答えます。気軽に相談してください。学生同士だから、相談しやすいと思います。

Point
3

自主学習環境の充実



DVDの試聴や
外国語を学習するための
環境も最高

LDC (言語開発センター)

→詳細はP.81参照

外国語を個人やグループで自立的に学習するためのさまざまな設備、教材が揃っています。



Communication Area

Pick up

⑩ 学生食堂/
売店/書店

Point
1

忙しい学生の味方!!
朝も、夜も満足度100%

学生食堂

味菜
Ajisai

●営業時間 / 月～金曜 8:10～19:30
●定休日 / 土曜・日曜・祝日



座席数704席の食堂は、
休憩時のコミュニケーションスペースとしても学生で賑わっています。
夕食時にはグラムバーが登場!

人気
単品メニュー



林檎キャラメルケーキ
194円



温玉ねぎとろ丼
430円



おすすめ
学食メニュー

好きなメニューを組み合わせると
栄養バランスのとれた定食に
602円

トマトチキンカツ 216円
ほうれん草巣ごもり 82円
キャベツスープ煮 172円
味噌汁 30円、ライスM 102円

売店

Shop
Manten

●営業時間 / 月～金曜 8:15～19:30
土曜 10:00～14:00
●定休日 / 日曜・祝日

福井大学オリジナル商品

ファイル(75円)
ボールペン(140円)
シャープペン(86円)



福井大学No.1カレー
(540円)

福井銘菓
「五月ヶ瀬」
(1,250円)



書店

ブックショップ
明日輪
Book Shop Asuwa

教科書や専門書から雑誌、小説まで取り揃えています。

●営業時間 / 月～金曜 9:30～17:30
●定休日 / 土曜・日曜・祝日



工学部売店

Satellite
Shop
Comet



工学部1号館で弁当、スナック類を販売しています。

●営業時間 / 月～金曜 10:00～19:00
試験期間は最長22:00まで
●定休日 / 土曜・日曜・祝日・休講期間

近くを九頭竜川が流れる風光明媚な環境です。広々としたキャンパスで、充実した学生生活が送れます。



8 スチューデント・アクティビティ・プラザ

トレーニング論や運動処方論の講義の演習場として使用。ミーティング室を備えています。



1 講義棟

省エネと快適性が評価され、照明学会の照明普及賞を受賞しました。講義や演習などが行われます。

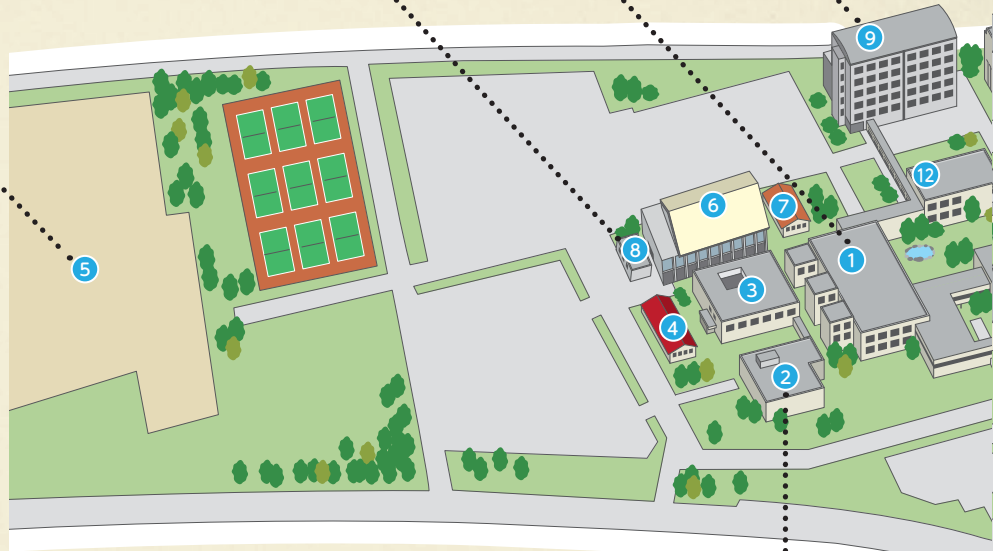


9 看護学科棟

看護学科の教員研究室をはじめ、講義室や演習室があります。

5 松岡キャンパスグラウンド

サッカーやラグビーなど部活動にも利用される広大なグラウンドです。



- 1 講義棟
- 2 学生食堂・売店
- 3 福利施設/売店・書店
- 4 武道場
- 5 松岡キャンパスグラウンド
- 6 体育館
- 7 弓道場
- 8 スチューデント・アクティビティ・プラザ
- 9 看護学科棟
- 10 医学図書館
- 11 学務室/学生総合相談室/保健センター
- 12 基礎実習棟
- 13 研究棟
- 14 生物資源棟
- 15 RI実験施設
- 16 院生研究棟
- 17 病理解剖棟
- 18 医学部附属臨床教育研修センター/メディカルシミュレーションセンター
- 19 高エネルギー医学研究センター

2 学生食堂・売店

→詳細はP.67参照

ボリュームたっぷりで栄養バランスのとれたメニュー、学生生活の必需品が揃っています。



医学部附属病院

- 20 外来・中央診療棟
- 21 A棟
- 22 B棟
- 23 RI治療棟
- 24 MRI棟
- 25 放射線治療棟





10 医学図書館 →詳細はP.66参照

24時間利用できる図書館。グループでの活動が可能な情報工房と英語の自主学習ができるLDCを併設しています。



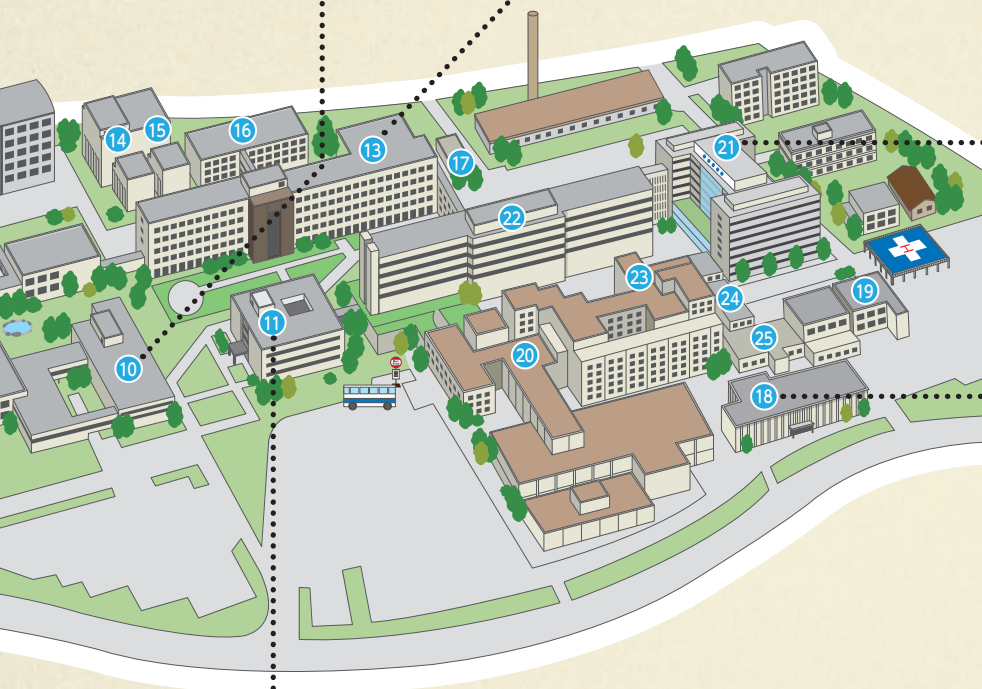
13 研究棟

附属病院に隣接し、各診療科の医局をはじめ、子どものこころの発達研究センターや最先端の医学を研究する施設があります。



21 附属病院 A棟 →詳細はP.37参照

地域を支える基幹病院として高度な先進医療を提供。医学部の病院実習を行っています。



18 メディカルシミュレーションセンター

最新の医療シミュレーターを設置、臨床研修や技術向上に活用しています。

学生生活のサポートが充実

心身ともに健康な大学生活が送れるように、あらゆる相談に応えます。



11 学務室

履修の相談や各種証明書の発行など、学生生活の全般をサポートします。



11 学生総合相談室

学業、将来、人間関係など、あらゆる悩みごと、相談に応えます。



11 保健センター

健康相談やカウンセリングなど、こころとからだの悩みの解決に当たります。

頼りになる学生支援体制

全学での連携体制

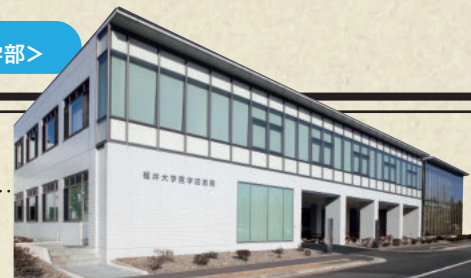
学科、学務室、保健センター、学生総合相談室が連携し、学業、学生生活、経済面の悩みや様々な相談に対応し、快適で充実したキャンパスライフを支援します。

オフィスアワー

全ての教員が学生の相談に応じるための時間（オフィスアワー）を設定しています。たとえば、授業の内容について質問したい先生のオフィスアワーを確認して研究室を訪ねることができます。

学年主任

キャンパスライフ全般の学生の様々な悩みに、教員が相談相手となり、指導、助言します。



Pick up

⑩ 医学図書館

Point
1

最先端の医学情報と 充実した設備を提供



医学・看護系の専門図書館として、生命科学を中心に13万冊を所蔵。医学部のある松岡地区の学生・教職員へのサービスを主に行っています。専門分野の資料は、図書・雑誌のほか、電子ジャーナルやデータベースも充実しています。24時間利用できるのも、試験前には多くの学生が利用しています。

閲覧室

国家試験前の混雑時にも対応したゆとりのスペース。最適な学習環境で学生をサポートします。



メディアルーム

パソコン、プロジェクター等の設備があり、図書館主催の研修会や講習会なども開催します。福井県内の医学関連資料も揃っています。



情報工房グループラボ

全14室ある情報工房グループラボ。ディスカッションを行ったり、勉強会の様子を学外へ配信し意見交換を行うなど、自由な発想でアクティブな学習ができるよう機器を揃えています。



休憩コーナー

2階の閲覧室を仕切って設けた休憩コーナーからは、白山連峰が望め、勉強の合間の息抜きにぴったりです。

Point
2

自主学習環境の充実



DVDステーション リーディングラウンジ

→詳細はP.81参照

外国語を個人やグループで自立的に学習するためのさまざまな設備、教材が揃っています。

DVDの視聴や
外国語を学習するための
環境も最高

Point
3

電子ジャーナルも 充実



図書や雑誌に加え、電子ジャーナルが充実しています。初心者も利用できるようにガイダンスや専任トレーナーによる講習会を開催しています。

Pick up

② 学生食堂・売店

Communication Area

Point
1

バランスの良い食事で
学業をサポート!!

学生食堂

Cafeteria
PLUM

- 営業時間 / 月～金曜 11:00～13:30
- 定休日 / 土曜・日曜・祝日



おいしさはもちろん栄養面も考慮したメニューを低価格で提供しています。忙しい医学生、看護学生を栄養バランスの良い食事でサポートします。200席。

栄養面バッチリ!
価格もグッド!な食堂です



ヌーベルショコラ
194円

人気
単品メニュー



豚塩カルビ丼
378円



おすすめ
学食メニュー

時間がない時もさっと食べられる
栄養満点のランチ
643円

- 鶏からおろしポン酢 257円
- 肉じゃが 172円
- ブロッコリーピーナッツ 82円
- 味噌汁 30円
- ライスM 102円

売店

Shop
PLUM

- 営業時間 / 月～金曜 8:30～17:00
- 定休日 / 土曜・日曜・祝日



弁当、パン、飲み物、お菓子や文房具が揃っています。

体育系

- 合気道部
- アメリカンフットボール部
- FC Soleil
- FSDC (福大ストリートダンスクルー)
- カヌー部
- 弓道サークル
- 弓道部
- 車椅子バスケットボールサークル
- 剣道部
- 航空部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- サイクリングクラブ
- サッカー部
- さる部
- シーズンスポーツクラブ
- ジャグリング同好会 acRue
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 少林寺拳法部
- 女子サッカー部
- 女子ソフトボール部
- 女子バスケットボール部
- 女子ラグビー部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 体操同好会
- 男子ソフトボール部
- 男子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- テニス愛好会
- テニス同好会
- トータルフットボールズ
- 軟式野球サークル
- バドミントン部
- ハンドボール部
- フィッシングサークルNBNF
- フォーミュラカー製作プロジェクト (FRC)
- 福井大学 空手道部
- 福井大学 スキー部
- 福井大学 卓球部
- 福井大学 バレーボール同好会
- よっしゃこい
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部



Pick up 体育系

■ カヌー部

「カヌーポロ」という水面上で行うハンドボールとバスケットボールを合わせたような競技をしています。「水上の格闘技」とも呼ばれる激しいスポーツです。2016年夏に行われた世界カヌーポロ選手権大会に出場しました。



■ 女子ラグビー部

2016年6月に創設されたばかりの新しいクラブです。ひとつのボールをトライライン(ゴール)まで運ぶためにチームのみんなが全力を出しきるの爽快感たっぷり。新しいスポーツを始めたい人にピッタリです。



文化系



- Arts
- アイラダー
- アカペラサークル ふれんど
- 囲碁部
- 映画部
- SF研&ゲーマーズクラブ
- 演劇部
- OSA & SPIE Student Chapter
- お笑いサークルおわらぼ
- からくり工房I.Sys
- 口笛音楽サークル ハッピーバード
- ゲーム製作サークルCre-one
- 茶道部
- 児童文化研究会
- 写真部
- 将棋部
- 吹奏楽部
- 電子工学研究会
- 天文部
- 農業村応援し隊
- ピース・クリエイターズ・クラブ
- BBS
- (Big Brothers and Sisters movement)
- 福井大学 グリーンエコー合唱団
- 福井大学 書道部
- 福井大学 日赤青年奉仕団ココロ
- 福井大学 フィルハーモニー管弦楽団
- 福井大学 漫画研究会
- Fukui Play-Studio 遊房
- 福大コンピューター部
- Free Music Club (FMC)
- 邦楽部
- Popular Music Laboratory
- ボランティアサークルTOGETHER
- 麻雀サークルMFC
- Music Life
- leggiero (レッジーエーロ)
- ロック研究所
- ワールドミュージックサークル「ONE LOVE」

Pick up 文化系

■ 農業村応援し隊

農村の人たちと連携し、イベントの参加や企画を通して地域の活性化を目指しています。野菜作り、田植えなどの農業体験も実施中。他大学の農業系サークルと一緒に石川県輪島市の白米千枚田の稲刈りも行いました。



■ アカペラサークルふれんど

アカペラは楽器を使わず、歌声だけでハーモニーを奏でること。メロディはもちろん、打楽器パートも自分たちの声で行います。美しくハモったときの気分は最高。練習の成果は、大学祭などのステージで披露しています。



体育系

- 弓道部
- 競技スキー部
- 競技スノーボードサークル
- 剣道部
- 硬式庭球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 水泳部
- 卓球部
- 伝統空手道部
- 軟式テニス部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ハンドボール部
- フットサルサークル
- ヨット部
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部



Pick up 体育系

■ ハンドボール部

経験者から初心者まで様々なメンバーと一緒に活動しています。レギュラーの半数は初心者ですが、医歯薬リーグ1部昇格などの結果も出しています。西日本医科学生総合体育大会(西医体)での優勝を目指しています。



■ 医学部水泳部

医学部サークルで1、2を争う大所帯。「初級・中級・上級者」に分けたメニューで経験者がコース別に指導しているので、みんなメキメキ上達します。西日本医科学生総合体育大会(西医体)での上位入賞を目指しています。



文化系

- ア・カベラサークル Music Glass
- 囲碁部
- ECS (English Conversation Salon)
- 合唱団 Vocal Society
- 華道部
- 管弦楽団
- 救急医療系サークルALFA
- グルメ部
- 軽音楽部 M-ROCK
- 劇団くらげ
- 考古学inフクイ
- 茶道部
- 写真部
- 書道部
- 聖書研究会
- 熱帯医学研究会
- 野ばら会
- 美術部
- FEAL
- ぶちぶら
- 文芸・漫画研究会
- マジックサークル clown



Pick up 文化系

■ 劇団くらげ

新入生歓迎会と暁祭(大学祭)で公演を行っています。脚本はほとんどがオリジナル。脚本を書いた部員が演出も担当し役柄の心情など細かなところまで指示、役者は登場人物に入り込み、一緒になって世界観を創り出します。



■ 救急医療系サークルALFA

ALFA (Advanced Life support Fukui Association) は、医学部の1~6年が参加している緊急医療のサークルです。一次救命処置(BLS)や2次救命処置(ALS)、外傷の応急手当の方法などが身に付きます。他大学との交流も盛んです。



一人ひとりの夢の実現をサポートします

9

連覇

就職に強い! 福井大学!!

高い就職率・定着率を誇っています!

高い就職率

国立大学 9年連続 No.1

大学通信調査の「全国大学就職率ランキング」で、複数学部を有する国立大学において9年連続1位。卒業生1000人以上の国公立大学では5年連続1位となりました。学部別の実績(2015年度卒業生)でも、高い就職率を誇っています。

学部別就職率の実績(2015年度卒業生)

教育地域科学部

91.7%

医学部

94.4%

工学部

98.2%

実就職率=就職者数÷(卒業者数-進学者数)

高い定着率

企業から高評価

就職先企業の質の高さや学生の社会人基礎力の高さから、在籍3年以内の離職率は9.2%^{*1}と全国平均(31.9%)^{*2}に比べ、非常に低い数字となっています。この離職率の低さは、就職先の職場の雰囲気や人間関係が良好でミスマッチが少なく、また、給与・勤務時間・福利厚生などの労働条件が良い企業に就職できている証拠と言えます。

在職3年以内の離職率

全国平均

31.9%

福井大学

9.2%

^{*1}「福井大学の教育と卒業生についてのアンケート調査2016」

^{*2}2016年厚生労働省調査「新規学卒就職者の在職期間別離職率の推移」

高い就職率・高い定着率を支える3つの柱

① 積極的なキャリア形成

各学部では、社会に送り出す人材育成に力を入れた授業・実習などを積極的に取り入れています。

- **教育学部**：新しい学校教育を担う教員を養成
- **医学部**：日々進歩・変化する医療現場への適応能力を育成
- **工学部**：夢を世界でかたちにする技術者育成
- **国際地域学部**：地域創生を担いグローバル社会の発展に寄与する人材を育成



② 学生を支える充実した就職支援体制

全学を挙げて、全ての学生に行き渡る就職支援体制を構築しています。

- ・就職担当教員とキャリアカウンセラーが内定までサポート
- ・大学独自のキャリアサポートシステムの提供



③ きめ細かな就職支援活動の実施

年間を通して60回以上のガイダンス等を開講しており、就職活動に慣れない学生の不安の解消に努めています。

- ・充実した就職支援講座の開講
- ・多くの企業との出会いの場の提供



キャリア支援室

キャリア支援室では、学生一人ひとりに応じたきめ細かな進路選択の支援を行っています。「納得のできる進路決定」に向けて、スタッフ全員でみなさんをサポートします。

■ 個別相談

専門のキャリアカウンセラーが支援します。就職活動中の不安は何でも相談できます。

■ 本・雑誌閲覧コーナー

就職関連本や雑誌などが豊富に揃っており、自由に閲覧できます。

■ DVD閲覧コーナー

エントリーシートの書き方、集団面接、グループディスカッション等のポイントをDVDで分かりやすく解説します。

■ PCコーナー

福井大学キャリアサポートシステムを通じて大学に届いた求人票・パンフレットを検索・閲覧できます。



福井大学キャリアサポートシステム

福井大学独自の就職支援システムです。他大学の学生には得られない貴重な情報を入手できます。

■ メールマガジン

■ 求人情報

■ 就職相談等の予約

■ 学内ガイダンス動画

■ OB・OG就職活動体験記

就職ガイダンス

年間を通じて60回以上のガイダンスを開催しています。開催時間・場所・内容等は学内の掲示板とメールマガジンでお知らせしています。

■ 進路スタートアップ講座

■ 自己分析講座

■ エントリーシート作成講座

■ 面接対策講座

■ グループディスカッション体験講座

■ 筆記試験対策講座

■ 就活マナー講座

■ メイクアップ講座

■ スーツの着こなし講座

■ 業界・企業研究講座

■ 内定者による体験報告会

■ SPI3模擬試験



企業支援対策

企業訪問

夏休み期間中に県内外の企業へ訪問し、職場の見学や卒業生との交流を行っています。就職活動が本格化する前に、様々な企業に触れることができます。

OB・OGとの懇談会

OB・OGの所属する業界・企業について、具体的な話を聞くことで、自分が働くイメージを掴めます。

学内合同・個別企業説明会

県内外の企業の人事担当や卒業生を招いて企業説明会を実施しています。特に個別企業説明会では、1社1教室・少人数でじっくり話ができるため、好評を得ています。

教員採用試験対策

附属教育実践センターとキャリア支援室の共催で、様々なプログラムを準備しています。

■ 論作文

■ 教職教養(教育法規)

■ 教職教養(教育心理)

■ 教職教養(教育時事)

■ 集団討論

■ 志願書添削

■ 模擬面接

■ 二次試験直前対策講座 など

企業経営者との懇談会

福井県内の企業経営者との懇談会を定期的に開催しています。「熱い思い」に直接触れることができ、職業観・企業理解が深まります。



公務員試験対策

福井大学生生活協同組合との共催で、学内公務員試験講座(有料)を10か月にわたって実施しています。

■ 数的処理

■ 人文科学

■ 社会科学

■ 時事・社会政策

■ 自然科学

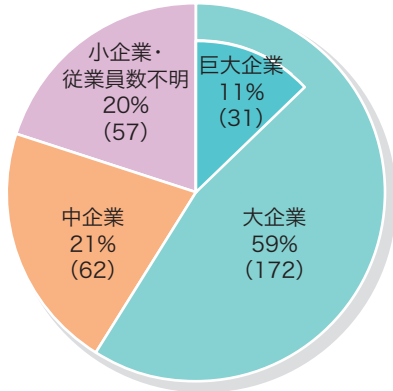
■ 文章理解

■ 資料解釈

■ 面接対策講座 など

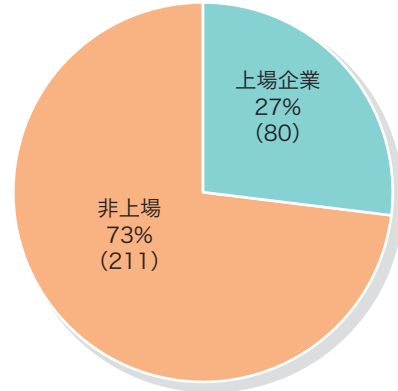
平成28年12月にキャリアセンターを設置し、就職支援室をキャリア支援室に名称変更いたしました。今後、就職支援だけでなくインターンシップ等も含めたキャリア教育の実施体制を強化します。

企業規模別の就職状況



※2015年度卒業生進路状況(2016年5月1日現在)
 巨大企業=従業員3,000人以上、大企業=従業員300~2,999人
 中企業=従業員100~299人、小企業=従業員99人以下
 公務員・教員・医師・看護師は含まない

上場・非上場企業の内訳



※2015年度卒業生進路状況(2016年5月1日現在)

「円グラフ」は平成27年3月卒業生データ、「主な就職先」は過去5年間の集計データから多い順に掲載

教育地域科学部

※平成28年度より教育学部・国際地域科学部に改組・再編のため参考

学校教育課程

進路	割合
教員	53%
企業・施設団体	15%
進学	16%
公務員	8%
未定	8%

■ 主な大学院進学先 福井大学、仁愛大学、横浜国立大学

■ 主な就職先

〈教員〉	〈企業・施設団体〉	〈公務員〉
福井県公立学校教員	株式会社福井銀行	福井県警察
石川県公立学校教員	国立大学法人福井大学	福井市役所
私立仁愛女子高等学校	西日本旅客鉄道株式会社	坂井市役所
啓新高等学校	株式会社北陸銀行	大野市役所
大阪府公立学校教員	福井信用金庫	
学校法人藤島学園藤島幼稚園		

地域科学課程

進路	割合
企業・施設団体	63%
公務員	27%
進学	3%
その他	2%
未定	5%

■ 主な大学院進学先 福井大学

■ 主な就職先

〈企業・施設団体〉	〈公務員〉
JA福井県五連	福井県庁
株式会社福井銀行	福井市役所
株式会社福邦銀行	福井県警察
福井信用金庫	越前市役所
越前たけふ農業協同組合	大野市役所
株式会社アイジーエー	金沢国税局
福井車輛輸送株式会社	
株式会社北陸銀行	
株式会社天晴データネット	
アイシン・エイ・ダブリュ工業株式会社	
花咲ふくい農業協同組合	
株式会社クスリのアオキ	
株式会社日本ピーエス	
株式会社商工組合中央金庫	

医学部

医学科

国家試験合格率	本学	全国
平成28年度	91.3%	88.7%
平成27年度	89.9%	91.5%
平成26年度	93.4%	91.2%

■ 主な卒業臨床研修先

福井大学医学部附属病院	トヨタ記念病院	木沢記念病院
福井県立病院	横浜市立大学附属市民総合医療センター	一宮市立市民病院
福井赤十字病院	横浜市立大学附属病院	京都府立医科大学附属病院
岐阜県総合医療センター	杉田玄白記念公立小浜病院	福井総合病院
福井県済生会病院	東京大学医学部附属病院	市立敦賀病院
金沢大学医学部附属病院	名古屋市立大学病院	石川県立中央病院
小牧市民病院	名古屋掖済会病院	

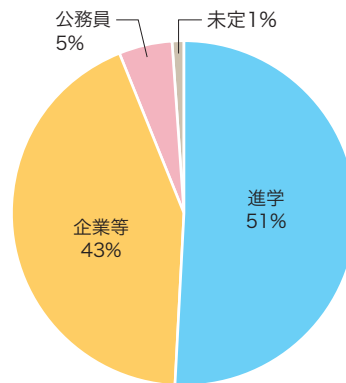
看護学科

国家試験合格率	看護師	保健師	助産師
平成28年度	96.6%	100.0%	100.0%
平成27年度	98.4%	100.0%	100.0%
平成26年度	98.2%	100.0%	100.0%

■ 主な就職先

福井大学医学部附属病院	金沢大学看護教諭特別別科	石川県立中央病院
福井赤十字病院	大阪医科大学附属病院	名古屋第一赤十字病院
福井県立病院	神戸大学医学部附属病院	大津赤十字病院
福井県済生会病院	慶應義塾大学病院	東京医科歯科大学医学部附属病院
金沢大学医学部附属病院	名古屋第二赤十字病院	国立病院機構金沢医療センター
京都大学医学部附属病院	小浜市役所	金沢赤十字病院
名古屋大学医学部附属病院	福井県庁	

国際地域科学部の想定される就職先はP16をご確認ください。



■ 主な大学院進学先

福井大学、東京工業大学、名古屋大学、奈良先端科学技術大学院大学、大阪大学、九州大学、京都工芸繊維大学、京都大学、千葉大学、東京大学、東北大学、北海道大学、北陸先端科学技術大学院大学

■ 主な就職先

〈企業等〉

アイシン・エイ・ダブリュ工業株式会社
 セーレン株式会社
 株式会社アートテクノロジー
 サカイオーベックス株式会社
 株式会社天晴データネット
 ポリマー化成株式会社
 西日本旅客鉄道株式会社
 フクビ化学工業株式会社
 株式会社エイチアンドエフ
 株式会社大林組
 豊田鉄工株式会社
 株式会社ビジュアルソフト
 株式会社鯖江村田製作所
 共同コンピュータ株式会社
 三谷コンピュータ株式会社
 前田工織株式会社
 日東シンコー株式会社
 株式会社メイテック
 株式会社鴻池組
 国立大学法人福井大学
 三谷セキサン株式会社
 酒井化学工業株式会社
 石友ホーム株式会社
 アイシン・エイ・ダブリュ株式会社
 株式会社ミツヤ
 株式会社小松製作所
 株式会社福邦銀行
 山金工業株式会社
 住友電装株式会社
 大東建託株式会社
 大同工業株式会社
 KBセーレン株式会社
 スズキ株式会社
 デンソーテクノ株式会社
 愛知製鋼株式会社
 株式会社ジェイテクト
 株式会社ネスティ

株式会社柿本商会
 株式会社松浦機械製作所
 株式会社長谷工コーポレーション
 株式会社不動産SHOPナカジツ
 株式会社富士通北陸システムズ
 株式会社福井銀行
 金田工業株式会社
 江守商事株式会社
 三谷設備株式会社
 三菱電機ビルテクノサービス株式会社
 小林化工株式会社
 清水建設株式会社
 竹田設計工業株式会社
 中菱エンジニアリング株式会社
 中部テレコミュニケーション株式会社
 福井システムズ株式会社
 北陸電気工事株式会社
 矢作建設工業株式会社
 ウラセ株式会社
 エネックス株式会社
 オカモト鐵工株式会社
 コマツ産機株式会社
 スガキシステムズ株式会社
 トヨタすまいるライフ株式会社
 トヨタ紡織株式会社
 パナソニックエレクトロニクデバイスジャパン株式会社回路部品ディビジョン(金津)
 フタバ産業株式会社
 愛三工業株式会社
 井上商事株式会社
 株式会社システムグラフィ
 株式会社ソフトウェア・サービス
 株式会社テクニカフクイ
 株式会社ミルコン
 株式会社モビテック
 株式会社奥村組
 株式会社共栄データセンター
 株式会社寺本鉄工

株式会社武田機械
 株式会社福井村田製作所
 株式会社別川製作所
 関電プラント株式会社
 喜多ハウジング株式会社
 轟産業株式会社
 三菱自動車工業株式会社
 三菱電機システムサービス株式会社
 三菱電機メカトロニクスソフトウェア株式会社
 春江電子株式会社
 小松ウオール工業株式会社
 新東工業株式会社
 積水ハウス株式会社
 大鉄工業株式会社
 大同メタル工業株式会社
 大豊工業株式会社
 大和ハウス工業株式会社
 東海旅客鉄道株式会社
 東山フィルム株式会社
 日本電産テクノモータ株式会社
 日本特殊陶業株式会社
 菱機工業株式会社
 北陸電力株式会社

〈公務員〉

福井県警察
 福井県庁
 福井市役所
 愛知県警察
 大野市役所

世界を舞台に、学び、体験する 地域・国際社会に貢献できる人材の育成

福井大学では、活発な国際交流および国際水準での教育・研究を推進し、世界的に優れた成果を発信することにより、高度専門職業人として地域の国際化および豊かな国際社会づくりに貢献できる人材の育成を目指しています。この目的を実現するため、充実した海外留学の機会を提供し、また、世界中の国・地域から外国人留学生を受け入れているほか、さらなる交流の拡大を目指し、学術交流協定の新規締結および協定校との連携強化に取り組んでいます。



海外留学

短期留学

本学と学術交流協定を締結している、もしくは個別の協議により実施合意を得た海外の教育機関等との間で、1週間～3カ月程度の「短期海外研修プログラム」を実施しています。学生一人ひとりが留学の目的や関心、外国語や専門分野の学習段階、将来設計等に合わせて適切な時期に最適なプログラムを選択して参加できるよう、多様なプログラムをレベル・内容別の6タイプ(0. 語学研修型、1. 文化体験・交流型、2. グローバル教養型、3. 専門分野型、4. 実践・インターンシップ型、5. 研究・発表型)に分類、体系化して提供しています。

■ 短期海外研修プログラム類型

分類型	主な研修内容・目的	対象学年 (目安)	語学レベル (目安)	重点的強化スキル
0 語学研修型	語学力の向上を目的とした研修	全学年	全レベル	基礎的知識・教養(初・中級)、コミュニケーション能力(初・中級)
1 文化体験・交流型	文化歴史遺産の訪問、文化体験・交流などを通し、グローバルな環境に慣れ理解を深める	学部1、2年	全レベル	基礎的知識・教養(初級)、コミュニケーション能力(初級)、異文化に対する理解・自己アイデンティティの確立(初級)
2 グローバル教養型	特定地域の社会文化に関する講義やフィールドワーク等への参加を通して、グローバル人材としての教養を養う	学部2～4年	TOEIC 400点	基礎的知識・教養(中・上級)、自己学習力・問題解決能力、コミュニケーション能力(中・上級)、異文化に対する理解・自己アイデンティティの確立(中・上級)
3 専門分野型	専門分野の講義や実験への参加、関連企業への訪問等を通して専門分野への理解を深める			専門的知識・能力(初級)、自己学習力・問題解決能力、コミュニケーション能力(中・上級)
4 実践・インターンシップ型	就業体験などの実践を通して、高度専門職業人としての専門性や創造性を高める	学部4年～博士前期2年	TOEIC 600点	専門的知識・能力(中・上級)、創造力、社会的責任・使命感
5 研究・発表型	学会への参加や共同研究、発表などを通して高度専門職業人としての専門性や創造性を高める			

平成27年度派遣国別 派遣者数・プログラム数

	派遣国	派遣者数	プログラム数
1	タイ	57	5
2	アメリカ	46	8
3	中国	28	3
4	オーストラリア	20	2
5	ドイツ	10	4
6	ニュージーランド	9	1
7	マレーシア	8	4
8	イギリス	8	1
9	台湾	6	2
10	韓国	4	3
11	トルコ	3	1
12	インド	2	1
13	オーストリア	1	1
14	オランダ	1	1
15	クロアチア	1	1
16	フィリピン	1	1
17	ベルギー	1	1
	合計	206	40

■ 短期海外研修プログラム実施例



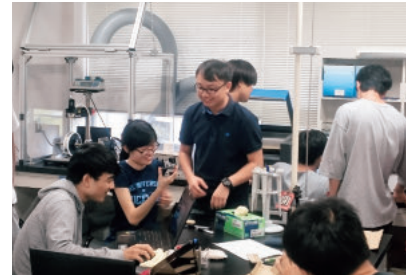
サザンクロス大学 (オーストラリア) 語学研修型プログラム: 1カ月

大学附属の語学学校に通い、滞在中はホームステイを通して英語力の向上を目指します。授業は、ワイルドパークへの訪問、サーフィン体験、地元の学校への訪問および現地学生との交流などのアクティビティを通して英語を学ぶ実践型で、英語が苦手でも楽しみながら語学力を身につけることができます。



タマサート大学 (タイ) グローバル教養型プログラム: 2週間

日本企業が多く進出するASEAN経済の中心国のタイで、タイ語、文化・歴史、産業経済について、授業やフィールドワーク等を通して学びます。滞在中はタイ人学生のパーティと生活を共にし、将来グローバル経済社会で活躍するための広い視野とコミュニケーション能力を身につけます。



アジア地域の連携大学 (中国、台湾、マレーシア等) 研究・発表型プログラム: 2週間

自らの専門とは異なる分野の研究室にて現地学生とともに実験やディスカッションを行います。日々の研究活動や発表会を通じて、論理的に思考し、効果的に伝える力が身につくほか、留学前後に各連携大学の学生を本学で受け入れることにより多国籍の学生と密な相互交流ができます。

中・長期留学

主に3か月以上の比較的長い期間、海外に滞在することにより、語学力を集中的に向上させ、専門性の高い学びや現地の学生や世界各国からの留学生との交流など、多様な経験を得ることができます。学生一人ひとりが最適な形で長期留学を実現できるよう、さまざまな中・長期留学の機会を提供しています。

■ 交換留学

本学と学術交流協定を締結している海外の教育機関等との間で、半年～1年間、相互授業料不徴収にて学生の派遣・受け入れを行う制度です。交換留学先は、原則として交換留学協定のある学術交流協定校のうち、大学間交流協定校および自身が所属する学部・部局間交流協定校です (P.79「学術交流協定校一覧」参照)。交換留学先で取得した単位を福井大学の単位に読み替えることができる制度の利用により、4年間で卒業が可能な場合もあります。

参加学生体験談

フィンドレー大学 (アメリカ)



将来はネイティブレベルの英語力と幅広い視野を兼ね備えた高校の英語教師になることを目標に、フィンドレー大学に留学しています。世界中からの留学生や熱心な教員に囲まれ、たくさんの刺激を受けています。日本文化について大学内外で紹介する機会がとて多く、そのような活動に特に熱心に取り組んでいます。中でも、プロジェクトの主要メンバーとして関わった「日本フェスティバル」では、多くのフィンドレー大学生が日本のパフォーマンスやゲーム、食べ物などを楽しんでおり、大変良い経験になりました。

東亜大学校 (韓国)



韓国語の習得を主な目的として留学しています。語学堂 (大学附属の語学学校) での授業が中心ですが、韓国語を用いる生活全てが学びに繋がっていると感じます。また、韓国の文化はもちろん、他国からの留学生との交流を通して世界の文化についても知ることができ、視野がますます広がりました。

■ UMAP

福井大学はアジア太平洋大学交流機構: University Mobility in Asia and the Pacific (UMAP) に加盟しています。UMAPは、アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進を目的として設立されたコンソーシアムで、UMAP加盟大学の学生は他国の加盟大学への交換留学が可能です。UMAP加盟大学への申請により本学の学術交流協定校ではない大学にも留学できるほか、多くの参加大学は英語での開講科目が豊富ですので、非英語圏でも英語で授業が受けられます。2017年2月現在、日本以外の10カ国・地域、53大学の中から留学先を選択して申請することができます。

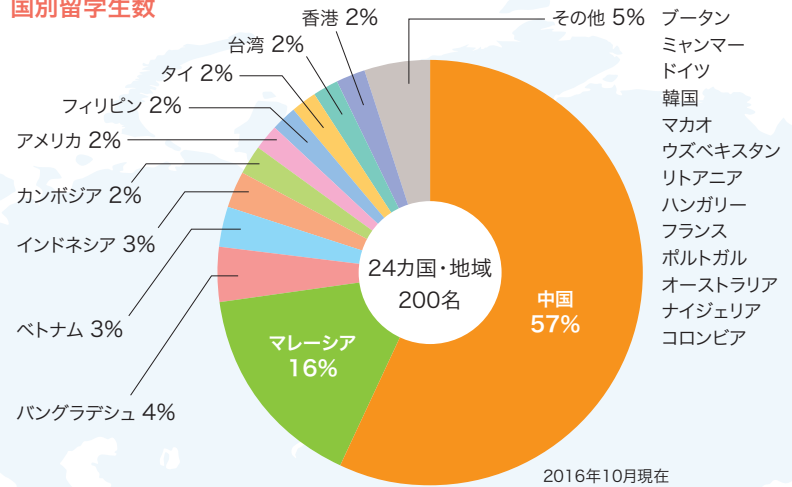
外国人留学生の受け入れ

外国人留学生数

福井大学では外国人留学生の受け入れを積極的に行っています。2016年10月現在、24カ国200名の留学生が、正規生、交換留学生、研究生、科目等履修生として学んでいます。



国別留学生数



外国人留学生への学習・生活支援

日本語教育

外国人留学生を対象に、日本語教育科目を提供しています。日本語を初めて学ぶ方から上級者まで幅広いレベルに対応できるよう、1～5のレベル別日本語授業があるほか、初級者を対象とした漢字・作文・会話の技能クラスを受講することもできます。

チューター

渡日1年以内の外国人留学生はチューター制度を利用することができます。日本人学生や先輩留学生が、学習・生活のサポートを行い、大学生活における相談相手となります。

奨学金

私費留学生を対象に、民間奨学財団の奨学生募集に関する情報の案内、および応募のサポートを行っています。

留学生オリエンテーション

留学生がスムーズに学生生活をスタートできるよう、渡日直後の留学生を対象とした留学生オリエンテーションを実施しています。住民登録や銀行口座開設などをサポートするほか、履修登録や在留資格・生活に関するガイダンスを行っています。

留学生サポーター

留学生サポーター（登録制）は、オリエンテーションやサマープログラムなど、留学生を対象としたイベントの企画や実施をはじめ様々な面で留学生をサポートします。日本人学生と留学生が学内で国際交流できる貴重な機会となっています。

就職支援

日本での就職を希望する留学生に対し、セミナーの開催や就職相談、求人情報の案内をしています。

課外活動

国際センター行事

留学生を対象に、サマーキャンプ（8月）、京都への日帰り旅行（12月）、スキー旅行（1月）を毎年実施しています。



地域での活動

県内の国際交流団体や自治体が主催する活動や地元高校生との交流に関する情報を、随時紹介しています。これまでも多くの留学生が参加し、地域の方々との交流を深めてきました。



世界に広がる学びのフィールド

学術交流協定校一覧

Europe

ドイツ

- カールスルーエ研究センター パルス出力・マイクロ波研究所
- シュトゥットガルト大学プラズマ研究所
- *ハンブルク大学人文科学部アジア・アフリカ研究所

フランス

- *リヨン繊維・化学技術院
- *メーン大学

イタリア

- *ナポリ東洋大学

ロシア

- ロシア科学アカデミー応用物理学研究所
- D.V.Efremov電気物理研究所精密理工学センター
- *ロシア科学アカデミーシベリア地区物理学研究所
- *ロシア医学アカデミーシベリア支部イルクーツク州立再建・移植外科研究センター
- ロシア科学アカデミーカザン科学センター
- イルクーツク州立医科大学

ラトビア

- ラトビア大学固体物理研究所

リトアニア

- *リトアニア教育大学
- *ヴィータウタス・マグヌス大学

ルーマニア

- *ブカレスト大学
- *バベシュ・ボヤイ大学
- *ルーマニア・アメリカ大学

ポーランド

- *ワルシャワ工科大学化学プロセス工学部

ブルガリア

- ブルガリア科学アカデミー電子工学研究所

その他

- *コンソーシアム
(ENEN ASSOCIATION, INSTN, UPB, SCK・CEN)

Africa

ウガンダ

- *マケレレ大学医学部

Oceania

オーストラリア

- シドニー大学 School of Physics
- ディーキン大学
- サザンクロス大学SCUカレッジ

ニュージーランド

- ワイカト大学ワイカト・バスウェイズ・カレッジ

America

アメリカ合衆国

- ラトガース大学
- *クレムソン大学
- *フィンダー大学
- ワシントン大学医学部マリノット放射線医学研究所
- ポートランド州立大学

Asia

中国

- *西安外国語大学
- *西安理工大学
- *浙江大学
- *北京信息科技大学
- *浙江理工大学
- *南昌航空大学
- *江南大学
- *蘇州大学
- *東華大学
- *瀋陽師範大学
- *天津科技大学
- *武漢科技大学
- *上海理工大学
- 中国電子科技大学プラズマ研究所
- *上海師範大学
- *天津工業大学
- *内蒙古工業大学
- *東南大学動力工程系
- *蘭州交通大学機電工程学院
- *蘭州交通大学電子与信息工程学院及び
自動化与電気工程学院
- 西安交通大学核科学与技術学院
- 紹興市人民病院

マカオ特別行政区

- *マカオ大学

韓国

- *東亜大学校
- *嶺南大学校
- *漢陽大学校
- *釜山大学校師範大学
- *延世大学工科大学
- *釜慶大学校工科大学
- *成均館大学校工科大学
- ソウル国立大学テラヘルツバイオ応用システムセンター

モンゴル

- *モンゴル科学技術大学

台湾

- *國立雲林科技大學
- *天主教輔仁大学
- *開南大学
- *國立臺灣科技大学 工程学院
- *國立清華大学 工学院
- 國立清華大学 光電研究センター

カナダ

- *オタワ大学医学部

メキシコ

- *ラ・サール大学

ペルー

- サンマルコス大学地質・鉱業・冶金・地理工学部

タイ

- *キングモンクト工科大学トンブリ校
- スィーパトゥム大学
- アサンブション大学
- *カセサート大学
- タイ王国中央胸部疾患研究所
- *ラジャマンガラ工科大学イサン校工学・建築学部
- タマサート大学東アジア研究所
- *シーナカリンウィロート大学工学部
- チャンカセム・ラチャバット大学人文社会学部
- カレッジ・オブ・アジアンスカラース
- *チュラロンコン大学人文学部

インドネシア

- *インドネシア大学
- *ジャクアラ大学
- *ハル・オレオ大学
- ティボネゴロ大学数理学部
- *アイルランガ大学医学部
- インドネシア共和国高等教育研究技術省

フィリピン

- フィリピン大学物理学研究所
- デ・ラ・サール大学理学部

ベトナム

- ベトナム教育訓練省国際教育開発局
- 電力大学
- ダナン大学
- *ホーチミン市師範大学
- *ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学
- *ホーチミン市外国語情報技術大学
- *ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学
- *ベトナム国家大学ハノイ外国語大学
- 中部電力短大

マレーシア

- *マラヤ大学
- *マレーシア科学大学

インド

- インド国立鉱業医学研究所

バングラデシュ

- *クルナ科学技術大学

カンボジア

- *王立プノンベン大学
- *ベルティ国際大学

トルコ

- オンドクズムス大学医学部

アラブ首長国連邦

- *イティハッド大学

Others

- アジア太平洋大学交流機構 (UMAP)

大学間交流協定 54機関
部局間交流協定 58機関

(2017年3月現在)

*印は、交換留学協定のある学術交流協定校。
但し、交換留学先は毎期変更の可能性があります。

キャンパスで世界に近づく

語学センターには、ESL/EFL/TESOL (英語教授法) の資格を保有した教員・インストラクターが在籍し、グローバルに活躍できる人材育成に向けた語学教育の充実や環境作りを進めてきました。CEFR-J (日本版ヨーロッパ言語共通参照枠) の基準を採用した個人インタビューと語彙テストによるブレースメントテストを導入し、習熟度別の少人数クラス編成による質の高い語学教育を行っています。

グローバル・ハブ

文京キャンパスのグローバル・ハブを拠点として、世界につながる各種の取り組みを行っています。グローバル・ハブには、ソファや雑誌、テレビを設置し、リラックスした雰囲気ですさまざまな交流や情報収集を行うことができます。また、松岡キャンパスでは、マルチラーニングスペース等を活用してイベントを実施しています。

語学学習・留学情報提供／各種イベントの実施

海外留学経験者・外国人留学生の学生スタッフが、海外留学や英語学習の疑問、質問にお答えします。また、各種資料も取り揃えています。また、日本人学生と外国人留学生の交流や、海外留学に関する情報提供、英語を実践する場の提供などを目的に、各種のイベントを実施します。



文京キャンパスのラウンジ「グローバル・ハブ」は気軽に交流、情報収集できる場所です。



イベントを通じて世界とつながることができます。

語学センター主催イベント



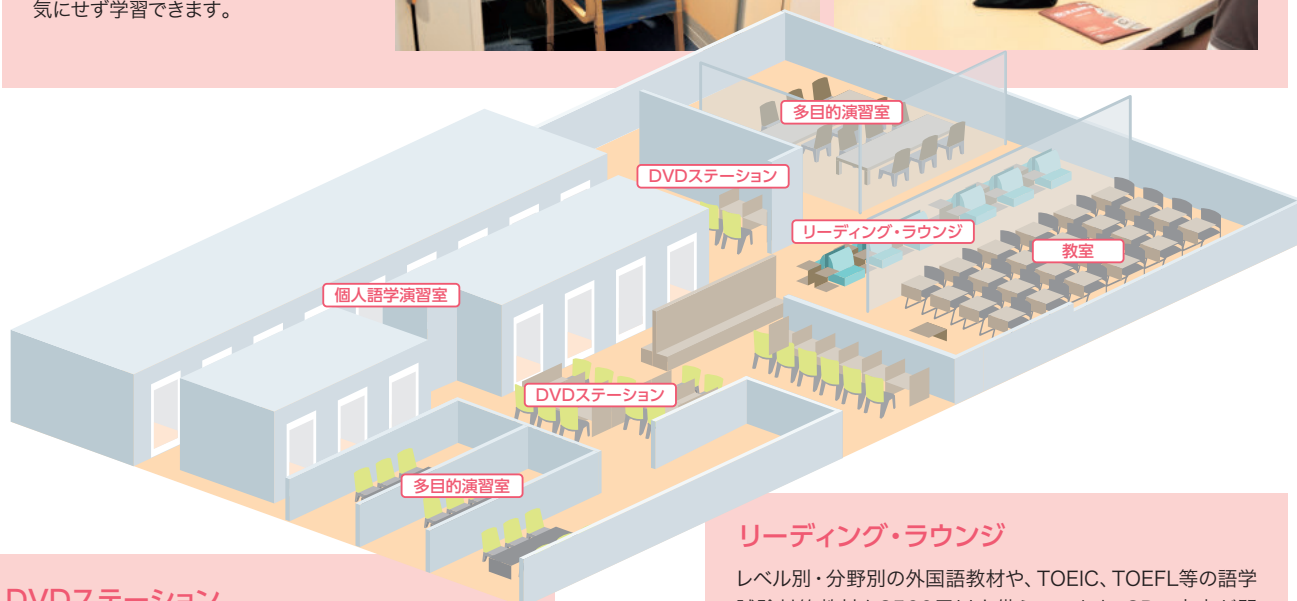
言語開発センター (LDC) での自主学習環境の提供

言語開発センター (Language Development Center : LDC) が文京キャンパスでは総合図書館2階に、松岡キャンパスでは医学図書館に整備されています。ここでは、外国語を個人やグループで自立的に学習するための様々な設備、教材が揃っています。

■ 文京キャンパス

個人語学演習室 / 多目的演習室

個人でもグループでも、学ぶ人数に適した語学演習室は、そのすべてが遮音室です。外国語検定試験やスピーキング・リスニング対策ソフトを導入したパソコン、マイク付きヘッドホンを使い、周囲を気にせず学習できます。



DVDステーション

1,000本以上の洋画・邦画・ドラマ・ドキュメンタリー等各種DVDを視聴可能です。楽しみながらリスニング能力や、会話で使用する語彙力を高めることができます。



リーディング・ラウンジ

レベル別・分野別の外国語教材や、TOEIC、TOEFL等の語学試験対策教材を2500冊以上備えています。CDで音声がかかるものもあります。自宅からでもアクセス可能なe-learningシステム (NetAcademy 2) も導入しています。外国語を自立的に学習するための最高の環境を用意しています。



■ 松岡キャンパス

松岡キャンパスでは医学図書館内にLDCがあり、英語の図書やDVDの閲覧や自主学習に利用できます。DVDは100タイトル以上揃っており、英語・日本語の音声で視聴可能。遮音設備が整った個人語学演習室も設置されています。



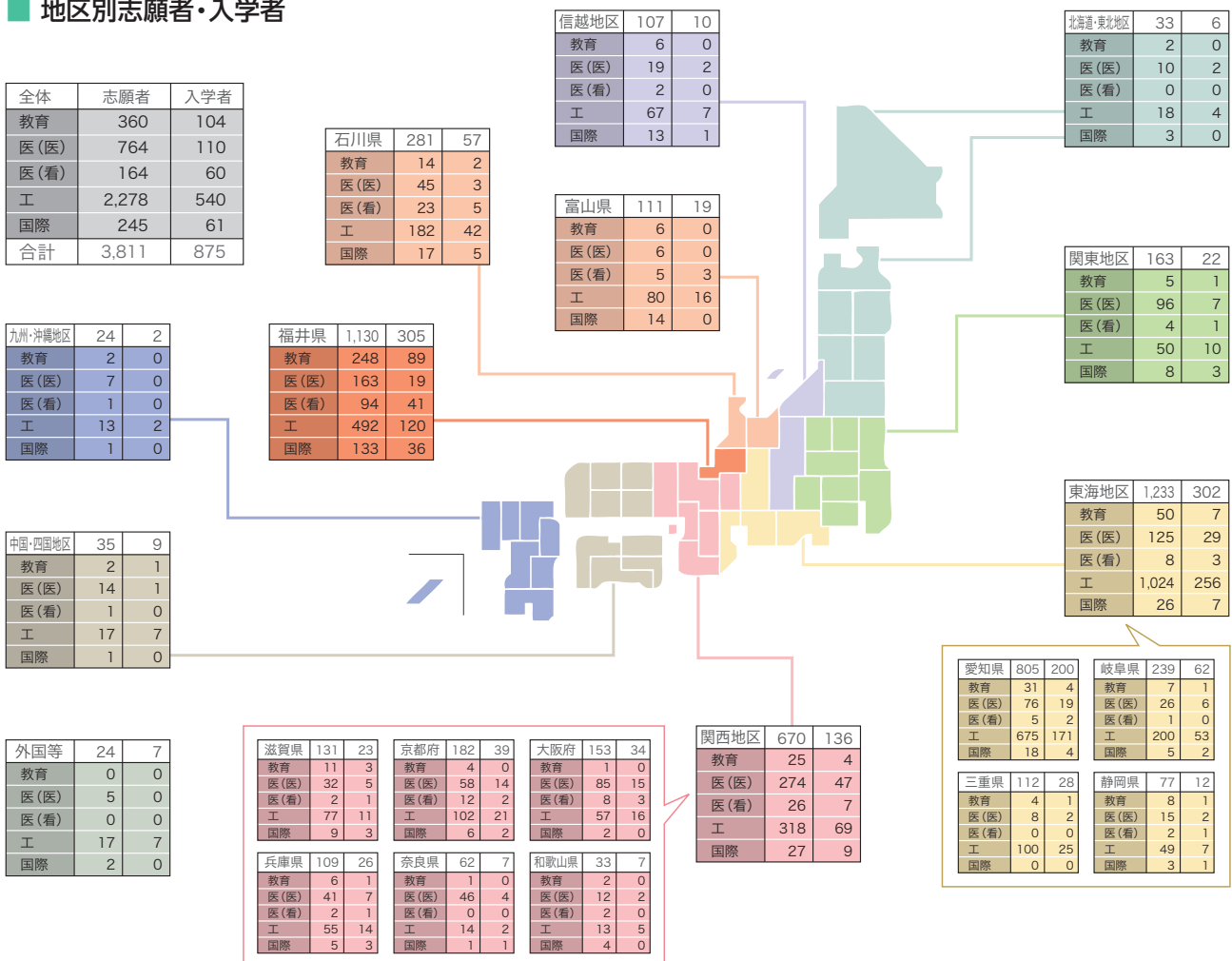
入試情報

平成29年度 福井大学入学試験実施状況

学部	学科・課程・コース等	一般入試(前期)					一般入試(後期)					特別入試(推薦・AO)					特別入試(私外他)					計				
		募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学
教育学部	学校教育課程 初等教育コース	28			39	38	14			14	12	18			13	13	-	-	-	-	-	60			66	63
	中等教育コース	23	177	147	26	25	7	137	49	7	5	10	46	45	11	11	-	-	-	-	-	40	360	241	44	41
	学部計	51	177	147	65	63	21	137	49	21	17	28	46	45	24	24	-	-	-	-	-	100	360	241	110	104
医学部	医学科	55	346	229	55	55	25	266	107	25	25	30	152	89	30	30	-	-	-	-	-	110	764	425	110	110
	看護学科	30	40	38	30	30	10	48	10	10	7	20	76	75	23	23	-	-	-	-	-	60	164	123	63	60
	学部計	85	386	267	85	85	35	314	117	35	32	50	228	164	53	53	-	-	-	-	-	170	928	548	173	170
工学部	機械・システム工学科	78	183	176	83	78	70	301	124	80	71	7	24	24	6	6	若干名	7	7	4	3	155	515	331	173	158
	電気電子情報工学科	68	178	172	75	70	42	342	146	48	42	15	51	31	13	13	若干名	1	1	1	1	125	572	350	137	126
	建築・都市環境工学科	30	118	111	35	33	20	70	28	24	17	10	41	38	10	10	若干名	2	2	2	2	60	231	179	71	62
	物質・生命化学科	95	157	145	108	93	30	258	73	40	35	10	15	15	11	11	若干名	4	2	1	1	135	434	235	160	140
	応用物理学科	20	54	52	23	21	30	471	204	39	32	若干名	1	1	1	1	若干名	0	0	0	0	50	526	257	63	54
	学部計	291	690	656	324	295	192	1442	575	231	197	42	132	109	41	41	若干名	14	12	8	7	525	2278	1352	604	540
国際地域学部	国際地域学科	35	94	78	39	36	15	110	34	18	12	10	40	31	13	13	若干名	1	1	0	0	60	245	144	70	61
合計		462	1347	1148	513	479	263	2003	775	305	258	130	446	349	131	131	若干名	15	13	8	7	855	3811	2285	957	875

※医学部一般入試受験者は2段階選抜後の受験者数。AO入試及び医学部推薦入試受験者は最終選考の受験者数。工学部にはマレーシア政府派遣留学生を含む

地区別志願者・入学者



一般入試(前期日程・後期日程)

大学入試センター試験、個別学力検査及び調査書等を総合して選抜します。詳細は、「一般入試学生募集要項」(10月発表予定)でご確認ください。工学部の前期日程は、京都会場、名古屋会場でも受験できます。

推薦入試

出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除。面接、小論文、実技及び調査書等を総合して選抜します。大学入試センター試験を課さない選抜(推薦I)と課す選抜(推薦II)があります。詳細は「推薦入試学生募集要項」(9~10月発表予定)でご確認ください。なお、医学部医学科では、地域枠(福井県)や福井健康推進枠による募集も行います。

AO入試

専門分野の探求に強い意欲を持つ志願者が対象です。能力、意欲、目的意識等を総合的に評価して選抜します。書類審査と時間をかけた丁寧な面接や口述試験、実技や小論文、模擬講義とその小テスト、プレゼンテーションやグループ討論等を行います。大学入試センター試験を課さない選抜(AOI)と課す選抜(AOII)があり、工学部では、出身学科を分けて選抜を行っています。詳細は「AO入試学生募集要項」(6~7月発表予定)でご確認ください。

※各入試の概要や総合的な案内は、「入学者選抜要項」(7月発表予定)でお知らせします。

※学生募集の概要は、本学ホームページ「受験生の方へ」もご覧ください。様々な入試情報をタイムリーに確認することができます。

平成30年度 募集人員

学部	学科・課程・コース等	入学定員	募集人員									
			一般入試		推薦入試		AO入試I		AO入試II			
			前期	後期	I	II	①	②	①	②		
教育学部	学校教育課程	初等教育コース	60	28	14		18					
		中等教育コース	40	23	7		10					
	学部計	100	51	21		28						
医学部	医学科	110	55	25		30						
	看護学科	60	30	10	20							
	学部計	170	85	35	20	30						
工学部	機械・システム工学科	155	78	70					4	3		
	電気電子情報工学科	125	68	42				5	10			
	建築・都市環境工学科	60	30	20				5	5			
	物質・生命化学科	135	95	30					10		若干名	
	応用物理学科	50	20	30							若干名	
	学部計	525	291	192			10		32			
国際地域学部	国際地域学科	60	35	15		10					若干名	
	合計	855	462	263	20	68	10		32			

※工学部のAO入試I及びAO入試IIにおける①、②の区分は出願要件の違いによります。

※上記の募集人員は予定ですので、7月発表予定の「入学者選抜要項」及び各募集要項で確認してください。

募集要項等の発表時期

入試種別	募集要項	発表時期	
	入学者選抜要項(入試概要)	7月上旬	
一般入試	前期日程	10月中旬	
	後期日程		
推薦入試	推薦入試I	医学部看護学科	9月上旬
	推薦入試II	教育学部 国際地域学部	10月上旬
		医学部医学科 (地域枠・全国枠) (福井健康推進枠)	9月上旬
AO入試	AO入試I・II	工学部	6月下旬
	AO入試I	国際地域学部	7月下旬

・発表時期は変更する場合があります。

・私費外国人の募集要項希望者は、入試課に照会してください。

各募集要項等は、福井大学携帯サイトの「入試情報」にアクセスして、テレメールで請求することができます。また、入試課窓口(平日8:30~17:00)でも請求することができます。

入試情報は
こちらから
(携帯サイト)



平成30年度 入試日程(一般入試)

7月~12月

7月 「入学者選抜要項」公表
8月8日(火) オープンキャンパス(文京)
8月9日(水) オープンキャンパス(松岡)
9月~ 「大学入試センター受験案内」請求
10月~ 大学入試センター試験出願、
「学生募集要項」請求

1月

1月13日(土)、14日(日) 大学入試センター試験

2月

1月22日(月)~1月31日(水)
一般入試出願期間
2月25日(日) 前期日程個別学力検査

3月

※26日(月)(個別学力検査第2日)※医学部のみ
3月6日(火) 前期日程合格発表
3月12日(月) 後期日程個別学力検査
3月20日(火) 後期日程合格発表

編入学、大学院入試について

編入学(3年次:工学部)、学士編入学(2年次:医学部医学科)及び大学院(修士課程、博士課程、博士(前期・後期)課程、教職大学院)の詳細については、個々の学生募集要項及び福井大学ホームページで確認してください。

入試に関するお問い合わせ

学務部入試課(教育学部・工学部・国際地域学部)
TEL 0776-27-9927
学務部松岡キャンパス学務室 入学試験係(医学部)
TEL 0776-61-8246

※問い合わせはできるかぎり、志願者本人が行ってください。
また、必要に応じてメモをとってください。

学費・生活費・住まい・奨学金制度

学費

国立大学ならではの安い初年度納付金

福井大学の初年度納付金額(入学料と授業料の合計額)は817,800円。国立大学の学費は、私立大学の平均と比べ、文系で約37万円、理系で最大約400万円以上の開きがあります。

初年度納付金 **817,800円**
(入学料 282,000円、授業料 535,800円)

免除・猶予制度

学費の納付が困難かつ学業優秀と認められる学生について、本学では以下の制度を設けています。

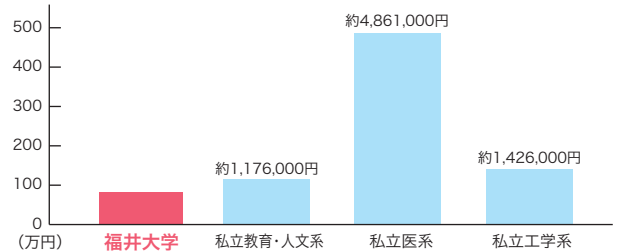
※免除・猶予には、学生本人の申請と審査機関での選考が必要です。

入学料免除制度 入学料の全額もしくは半額を免除します

入学料徴収猶予制度 入学料の徴収を一定期間猶予します(免除ではありませんので納付が必須)

授業料免除制度 授業料の全額もしくは半額を免除します

■ 私立大学(初年度納付金の平均)との比較

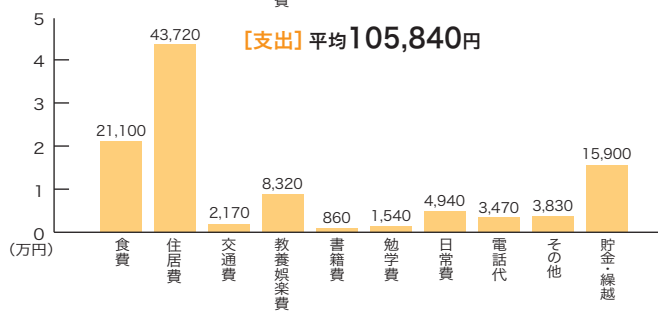
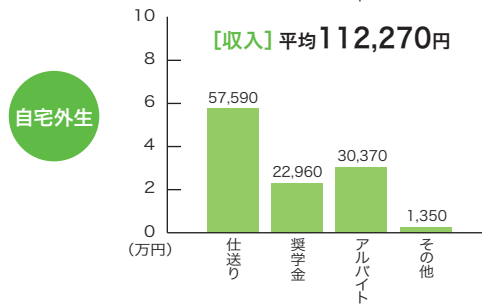
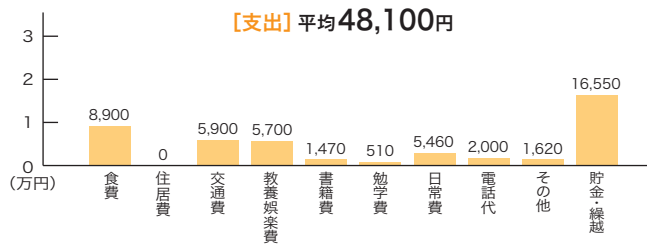
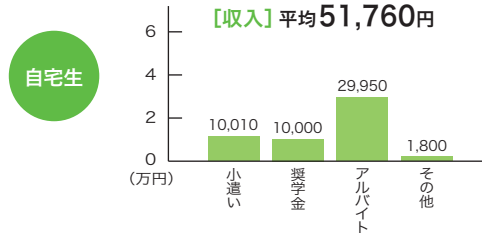


(文部科学省「平成26年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり)」より作成)

生活費

福大生の1カ月の収入と支出(平均)

入学料や授業料以外にかかる「生活費」。自宅から通う学生と、一人暮らしをする学生とではかかる金額も違います。1か月にかかる平均的な生活費をチェック!



(福井大学生生活協同組合「第52回学生生活実態調査」より作成)

住まい

アパート、下宿のサービスは地元企業と連携

一人暮らしを始める学生のために、アパートや下宿などの住まい探しをお手伝いします。福井で初めて暮らす学生も安心のサポート体制が整っています。

アパート・マンション・下宿

アパートやマンションの入居、下宿を希望する学生のために、不動産会社の協力のもと、大学周辺のアパートや下宿のオーナーなど、住まいの紹介サービスを行っています。

福井大学生生活協同組合(TEL 0776-21-2956)にご相談ください。

福井大学国際交流学生宿舎

学生の勉学及び生活のための良好な環境を整備するとともに、日本人学生と外国人留学生との相互理解を深め、国際交流を促進することを目的とした国際交流学生宿舎があります。宿舎生活は入居学生で組織する自治会が支えています。

入居費用 寄宿料4,700円/月額、共益費1,000円/月額、
光熱水料等約10,000円/月額、
自治会費(入会費500円、会費1,000円/年間)、
共用施設費(シャワー100円/1回、ランドリー100円/1回)

居室設備 机、椅子、吊り棚、ワードローブ、ミニキッチン、ユニットトイレ、冷蔵庫、
空調機、時計、カーテン

詳細は、学生サービス課学生企画係(TEL 0776-27-8403)にお問い合わせください。

奨学金制度

学びたい学生を経済面でサポート

大学・大学院に在学する学生で、人物・学業ともに優秀かつ健康であり、経済的理由により修学が困難と認められる者に対して、学費支援や研究者・医療人育成のための大学独自奨学金制度があります。また、独立行政法人日本学生支援機構や都道府県・市町村等の地方公共団体、公益法人等の奨学金制度もあります。

福井大学基金予約型奨学金

福井大学入学後、修学に必要な経済的支援を行うことを目的とした奨学金制度です。入試出願前に奨学金を申請し内定した受験生が、入試に合格し入学した場合、所定の手続きのうえ奨学生として正式に採用され、30万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

※対象となる入試の種類については募集要項で確認してください。

福井大学学生修学支援奨学金

学部学生及び大学院生の授業料免除申請者（外国人留学生除く）のうち、審査の結果半額免除となった者の中から、選考により一時修学支援金として、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

福井大学生協奨学金

福井大学生協生活協同組合からの寄附による奨学金制度です。学部学生の授業料免除申請者（外国人留学生除く）のうち、審査の結果半額免除となった者の中から、選考により一時学費支援金として、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

福井大学教職大学院 次世代教育創生資金

福井大学基金にもとづき実施される、次世代の教育を担う福井大学教職大学院の院生のための財政支援です。

①次世代教員専門性形成スカラシップ

学部を卒業した院生対象の給付型奨学金です。

第1種（若干名）2年間で136万円（1年次 82万円、2年次 54万円）、
第2種（若干名）2年間で40万円（1年次 30万円、2年次 10万円）
が給付されます。いずれも返還の必要はありません。

②次世代教師グローバル経験プログラム支援資金

院生の海外調査・研修のための支援制度です。海外研修に参加するための費用として、1件につき5万円程度給付されます。

独立行政法人日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金は、貸与型の奨学金です。この奨学金は、大学卒業又は退学後、必ず返還しなければなりません。また、この奨学金は大学の在籍状況等で申込要件を満たさない場合、申請できないことがありますので、詳しくは大学の奨学金窓口にお問い合わせください。

※なお、平成29年度より給付型奨学金も創設されました。

種類及び貸与月額

<学部>

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	自宅通学者 45,000円 自宅外通学者 51,000円 又は、30,000円の何れかを選択	無利子
第二種奨学金	希望する月額を次の中から選択 30,000円、50,000円、80,000円、 100,000円、120,000円	有利子（在学期間中は無利子）利率は固定型、又は見直し型より選択

<大学院>

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	修士・博士前期課程 88,000円 又は、50,000円の何れかを選択 博士後期課程 122,000円 又は、80,000円の何れかを選択	無利子
第二種奨学金	希望する月額を次の中から選択 50,000円、80,000円、100,000円、 130,000円、150,000円	有利子（在学期間中は無利子）利率は固定型、又は見直し型より選択

日本学生支援機構が定める基準を満たす場合には、「第一種奨学金」と「第二種奨学金」の併用貸与を受けることもできます。ただし、返還総額が多額になりますので、特に第二種奨学金の月額については、卒業後返還する場合のことを考えて慎重に選択してください。

地方公共団体、公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、奨学生の募集がある場合に学内掲示板で案内しますので、申請を希望する学生は、大学の奨学金窓口にお問い合わせください。

大学の奨学金窓口（問い合わせ先）

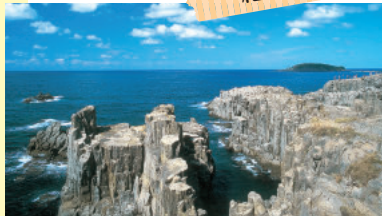
文京キャンパス 学生サービス課（奨学担当） TEL 0776-27-8716
松岡キャンパス 松岡キャンパス学務室学生係 TEL 0776-61-8266

福井の魅力をご案内!!

福井大学のキャンパスのある福井県は自然が豊かで、おいしいものがたくさん。静かで暮らしやすい学びに適した環境であり、海も山も近くアウトドアスポーツやレジャーもたっぷり楽しめます。

SPO> 1 東尋坊

絶景!



断崖絶壁から見下ろす景色はまさに絶景です。

SPO> 2 あわら温泉



「関西の奥座敷」と親しまれ、多くの文人墨客にも愛された温泉街。

SPO> 3 ハピリン



最新スポット

2016年春にオープンし、福井駅前のランドマーク的存在に。1、2階には福井の名物をそえた飲食店やショップがあります。4階の「セーレンブラネット」はドームシアターを備えた宇宙・天文の博物館です。



SPO> 4 足羽川の桜並木

お花見しよう!



桜並木は約2kmにおよび、壮大な桜のトンネルくぐりが楽しめます。

おすすめ 福井のグルメ



越前おろしそば

ソースカツ丼

SPO> 5 福井県立恐竜博物館

スゴイ迫力!



国内最大級の恐竜と古生物・地学専門の博物館は大人も楽しめます。

SPO> 6 西山公園



つつじの名所で、園内動物園のレッサーパンダが人気です。

SPO> 7 水晶浜



粒の細かい白い砂と抜群の透明度を誇る海水が特徴の海水浴場。

SPO> 9 三方五湖



水深が異なる五つの湖は五彩の変化を見せます。

ドライブにぴったり!

SPO> 10 一乗谷朝倉氏遺跡



戦国時代、朝倉氏が103年間にわたって治めた城下町跡。剣豪佐々木小次郎は一乗滝で修行を積んだとされています。CMのロケ地でも有名です。

SPO> 11 スキー場



本格的なスキー場がすぐ近くにあるのも福井の魅力。初心者用のコースもあります。



アクセス



文京



教育学部・工学部・国際地域学部

- 鉄道** えちぜん鉄道福井駅-(約10分)-福大前西福井駅 [JR福井駅東口から出て三国芦原線に乗り] ※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- バス** 京福バス福井駅-(約10分)-福井大学前停留所 [JR福井駅西口バスターミナル2番のりばより乗車]
- タクシー** JR福井駅-(約10分)-福井大学文京キャンパス [必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 自家用車** 北陸自動車道 福井北1.Cから国道416号線で西へ約7km または福井1.Cから国道158号線で西へ約8km

松岡



医学部・附属病院

- バス** 京福バス福井駅-(約35分)-福井大学病院 [JR福井駅西口バスターミナル1番のりばより乗車]
- 鉄道** えちぜん鉄道福井駅-(約20分)-松岡駅-(バス約5分)-福井大学病院 ※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー** JR福井駅-(約30分)-福井大学松岡キャンパス [必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 自家用車** 北陸自動車道 福井北1.Cから北へ約4km、または丸岡1.Cから南へ約5km

敦賀



附属国際原子力工学研究所

- 鉄道** JR敦賀駅から徒歩で約3分
- 自家用車** 北陸自動車道 敦賀1.Cから敦賀バイパス、国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km

※標識やバス停の一部に見られる「福井医大」「福井大学病院」も福井大学医学部を指します

※掲載の地図は略図のため、省略している道路等があります。

創造力、実践力。



文京キャンパス (教育学部・工学部・国際地域学部)
〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号

松岡キャンパス (医学部・附属病院)
〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地

敦賀キャンパス (附属国際原子力工学研究所)
〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1丁目2街区4

入試に関するお問い合わせ

学務部入試課 (教育学部・工学部・国際地域学部)
TEL.0776-27-9927

学務部松岡キャンパス学務室 入学試験係 (医学部)
TEL.0776-61-8246

<http://www.u-fukui.ac.jp>



福井大学広報センター

大学の許可なく、掲載の記事や写真等を複製・転写することを禁じます